

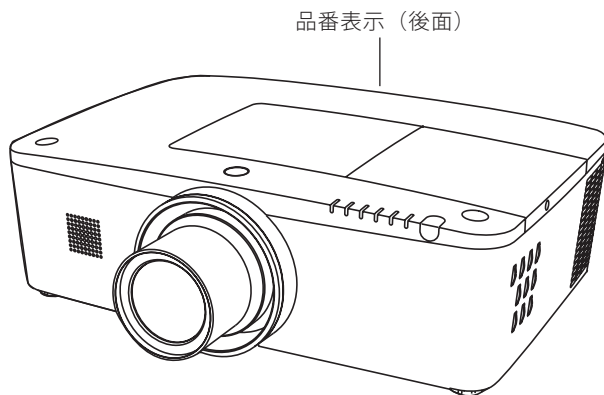
取扱説明書

SANYO

液晶プロジェクター 品番 LP-ZM5000

お買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使い下さい。とくに6～18ページの「安全上のご注意」はかならずお読みください。
お読みになったあとは、保証書とともに、いつでも取り出せるところにかならず保管してください。わからないことがあったときなどにお役に立ちます。
お買い上げ商品の品番は後面の表示でご確認ください。

保証書はかならずお受け取りください



取扱説明書について：

本機のネットワーク機能の操作については、次の別冊の取扱説明書をご覧ください。

■取扱説明書（別冊）

ネットワークの接続と操作のしかた

PJLink™

本機は日本国内用に設計されております。電源電圧の異なる外国ではご使用になれません。
This LCD Projector is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

もくじ

LP-ZM5000の特長	4
--------------	---

安全上のご注意	6
---------	---

正しくお使いいただくために	12
---------------	----

準備	19
----	----

付属品を確認してください	20
--------------	----

本体各部の名称	21
---------	----

機器をつなぐ端子	22
----------	----

操作パネルとインジケータ	24
--------------	----

リモコン	25
------	----

設置・接続	31
-------	----

レンズを交換する	32
----------	----

設置のしかた	33
--------	----

接続の例 ～コンピュータ	36
--------------	----

接続の例 ～ビデオ	37
-----------	----

接続の例 ～オーディオ（音声入出力）	38
--------------------	----

電源コードを接続する	39
------------	----

基本操作	41
------	----

電源を入れる・切る	42
-----------	----

入力信号を選択する	47
-----------	----

投映画面の調整やその他の操作	48
----------------	----

オンスクリーンメニューの操作方法	55
------------------	----

入力の選択・設定・調整	61
-------------	----

入力を切り換える	62
----------	----

システムモードの選択 ～コンピュータ	65
--------------------	----

システムモードの選択 ～ビデオ	67
-----------------	----

PC調整メニュー	69
----------	----

投映画面の調整	73
---------	----

画面サイズの選択・調整	78
-------------	----

設定で詳細な設定・調整をする	88
リモコンのボタンの便利な機能	114

保守とお手入れ 119




ランプの交換	120
お手入れについて	122
エアフィルターについて	123
内部温度の上昇について	127
インジケータ表示とプロジェクターの状態	129
故障かなと思ったら	134

付 録 139

コンピュータシステムモード一覧	140
メニュー内容一覧	146
仕様	150
(別売品	152)

保証とアフターサービス 163

～本説明書中の記号について～

	操作上の注意事項や制限事項を記載しています。
	関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。
	関連事項や、より詳しい説明を記載しているページを示しています。
[ボタン]名	リモコン、またはプロジェクター本体の入出力端子や操作パネルのボタン名称を示しています。 例: [SELECT] ボタン、[COMPUTER IN 1] 端子
「メニュー」名	メニューの項目を示しています。 例: 「入力」、「設定」

* 本説明書に記載されているイラストや図形の形状は実際のものとは異なります。

LP-ZM5000 の特長

高精細

- 1920x1200ドットの高解像度液晶ワイドパネル採用
WUXGA 画像をリアル表示

セキュリティ機能

- 暗証番号を登録してセキュリティ強化
「ロゴ暗証番号ロック」と「暗証番号ロック」機能で、第三者の不正使用や誤作動を防ぐことができます。
- 操作ボタンをロックして、プロジェクターの誤操作を防ぐ「キーロック」機能
- プロジェクター本体にチェーンを取り付け可能な「盗難防止フック」

優れた設置性

- さまざまな設置方法に対応
天吊り
据置
リア投射
垂直方向全方位投射
- 電動レンズシフト機能
ボタン操作でレンズを上下左右にスライドさせ、画面の位置決めを容易にします。
- レンズの交換が可能
別売オプションレンズとの交換により、ご使用場所に合わせた投射が可能。
- ランプの交換時期を画面表示とインジケータでお知らせします
- ランプの明るさが調整できるランプコントロール機能
- 自動エアフィルター交換機能
センサーが検知したとき、エアフィルターをプロジェクターが自動で交換します。また、交換用のエアフィルターが無くなったときには画面とインジケータの表示でエアフィルターカートリッジの交換をお知らせします。
- テストパターン内蔵
外部からの信号源が無くても、プロジェクター本体に内蔵されたテストパターンを投射することができます。
- ダイレクトオフ機能
ご使用後にリモコンや操作パネルのボタンを押さずに、電源コードを抜いたり、ブレーカーを落として電源を切ることができます。

高機能

□ 電力の節約を助ける、パワーマネージメントモード

□ キャプチャー機能で好きな画像を取り込み、オリジナルの起動画面を作ることが可能

□ 2画面投映ができるピクチャーインピクチャー(ピクチャーバイピクチャー)機能

□ プロGRESSスキャン

プログレッシブスキャンの採用により、映像をより高画質に投映します。

□ 快適なプレゼンテーションを支える豊富な機能

コンピュータの信号の判別と最適設定を自動で行なう「マルチスキャンシステム」と「自動PC調整」機能。

見たい部分を瞬時に拡大または縮小して投映できる「デジタルズーム」機能。(コンピュータモード時)

投映画面の台形歪みをスクエアな画面に補正する「デジタルキーストーン(台形補正)」

スクリーンに対して、設置条件によりやむを得ず斜めから投映した場合でも、画面のゆがみを補正する「コーナーキーストーン補正」機能。

画面を一時的に静止させる「FREEZE」機能。

投映光を一時的に遮断する「SHUTTER」機能。

プレゼンテーション時に便利な「P-TIMER(プレゼンテーションタイマー)」機能。

「アンプ・スピーカー」内蔵で音響施設のない出先等でもプレゼンテーションが可能。

音声を一時的に消す「MUTE」機能。

□ 豊富な接続端子群

D-sub15ピン、DVI-D端子、HDMI端子、BNC端子、コンポジットビデオ端子、S映像端子、コンポーネント端子、さらにモニター出力用D-sub15ピンも1系統搭載。

□ DVI-D(デジタルビジュアルインターフェイス)搭載。

デジタルビジュアルインターフェイス(DVI-D)入力端子により、コンピュータの画像をより鮮明に再現。

HDCP技術を用いてコピープロテクトされたデジタル映像を再生、投映できます。

□ ワイヤレス・ワイヤード兼用リモコンを付属

遠隔操作でスマートなプレゼンテーションを可能にします。

プロジェクターおよび接続したコンピュータの両方の操作ができます。

市販のケーブルでワイヤードリモコンとしても使えます。

□ 有線LAN機能

ネットワーク経由でプロジェクターの操作・管理が可能。

別売のPJ-Net Organizer(PJ-ネットオーガナイザー)を装着することによりプロジェクターをネットワーク経由で操作・管理することができ、コンピュータのスクリーン画面を、ネットワークを介してプロジェクターで投映することもできます。

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために

安全に関する重要な内容ですので、ご使用前によくお読みの上、正しくお使いください。

■絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例



注意（警告を含む）をうながす事項を示しています。
△の中に具体的な注意内容が描かれています。



たとえばこの絵表示は「感電注意」を意味します。



してはいけない行為（禁止事項）を示しています。
⊘の中や、近くに、具体的な禁止内容が描かれています。



たとえばこの絵表示は「分解禁止」を意味します。



しなければならない行為を示しています。
●の中に具体的な指示内容が描かれています。



たとえばこの絵表示は「電源プラグをコンセントから抜け」を意味します。

警告



警告

下記のような場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。



電源プラグをコンセントから抜け

- ・煙が出ている
- ・変なおいや音がする
- ・水など液体が本機の内部に入った
- ・金属類や異物が本機の内部に入った
- ・画面が映らない
- ・大きな音が出てランプが消えた



禁止

故障したまま使用しないでください。

火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。



警告

万一、本機を倒したり、キャビネットを破損した場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。



電源プラグをコンセントから抜け

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



分解禁止

本機のキャビネットははずさないでください。

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。



禁止



禁止

表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外の電圧で使用しないでください。

火災・感電の原因となります。

※1つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐタコ足配線もしないでください。



警告



禁止

本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



水ぬれ禁止



風呂、シャワー室での使用禁止

風呂、シャワー室では使用しないでください。

火災・感電の原因となります。



水ぬれ禁止

本機に水を入れたり、ぬらしたりしないでください。

火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用はとくにご注意ください。



禁止

不安定な場所や荷重に耐えられないところに置かないでください。

ぐらついた台の上や、傾いた所、高い棚の上など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



警告

「天吊り」設置をするときは、専用の金具が必要です。

取り付けが不十分なときは落下する危険があり、事故やけがの原因となります。設置工事専門の技術者にご依頼ください。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。



禁止

吸気口・排気口や接点部などに異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

- ・ご使用中は吸気口・排気口の中のファンが回転しています。これらの穴から物などを差し込まないでください。
- ・本機の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
- ・本機や付属の接続コードの接点部に金属類を差し込まないでください。事故や故障の原因となります。とくにお子様にはご注意ください。



禁止

電源コードの取扱に注意してください。

- ・電源コードの上に重い物をのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。またコードを釘などで固定しないでください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードを敷物で覆うと、それに気付かず重い物をのせてしまうことがあります。
- ・電源コードが傷んだら、(芯線の露出、断線など) 販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- ・電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。
- ・コンセント付き延長コードを使う場合は、つなぐ機器の消費電力の合計が延長コードの定格電力を超えない範囲でお使いください。超えて使用すると発熱し、火災の原因となります。
- ・電源プラグとコンセントは定期的に点検し、プラグとコンセントの間にたまったホコリ・ごみ・汚れなどを取り除いてください。それらがたまって湿気を帯びると、火災の原因となります。(結露するところや水槽の近くにはとくにご注意ください。)
- ・電源コードを細かく折り曲げたり、巻いたり、束ねたまま使用しないでください。放熱しにくくなり、発熱やショートを起こし、火災・感電の原因となることがあります。
- ・電源コードや接続ケーブルを床の上にはわせないでください。足を引っ掛けて転倒して、けがの原因となることがあります。



接触禁止

雷が鳴り出したら、本機や電源プラグには触れないでください。

感電の原因となります。



禁止

本機やリモコンを改造しないでください。

火災・感電の原因となります。



アース線を
接続せよ

アース線を接地してください。

本機は接地端子の付いた 3 ピンの電源コードを使用しています。安全のため電源コードの接地端子を接地してください。(詳しくは、40 ページをご覧ください。)

警告



使用中はレンズをのぞかないでください。

強い光が出ていますので、目を傷めるおそれがあります。とくに小さなお子様にはご注意ください。吸気口や排気口ものぞかないでください。

注意



以下のような場所には置かないでください。

火災・感電の原因となることがあります。

- ・湿気やほこりの多い場所に置かないでください。
- ・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。



ご使用のときはファンの吸気口および排気口をふさがないでください。

内部の温度上昇を防ぐため、冷却用のファンを内蔵しています。

吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- ・設置のときは、ファンの排気口を壁から1メートル以上あけてください。
- ・空調設備の排気ダクト付近などに設置しないでください。
- ・次のような使い方はしないでください。
 - * 横倒しなど、指定以外の方向への設置。
 - * 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭いところに押し込む。
 - * じゅうたんや布団の上に置く。
 - * テーブルクロスなどを掛ける。

また、壁など、周囲のものから じゅうぶんにはなし、風通しをよくしてください。(上方 20cm 以上、側面 50cm 以上、排気口・後面各 1m 以上)



キャスター付き台に本機を設置する場合には、キャスター止めをしてください。

動いたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

⚠ 注意



禁止

本機の上に重い物をのせたり、乗らないでください。

とくに小さなお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。



禁止

電源コードを熱器具に近づけないでください。

コードの被ふくが溶けて火災・感電の原因となることがあります。



禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。かならずプラグを持って抜いてください。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

感電の原因となることがあります。



電源プラグを
コンセントから
抜け

移動させる場合は、電源コードにご注意ください。

電源スイッチを切り、かならず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなどをはずしたことを確認の上、移動してください。接続機器が落下や転倒して、けがの原因になることがあります。また、コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



電源プラグを
コンセントから
抜け

お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

感電の原因となることがあります。



電源プラグを
コンセントから
抜け

長期間、機器をご使用にならないときは、安全のためかならず電源プラグをコンセントから抜いてください。

火災の原因となることがあります。

注意



長年のご使用で内部にほこりがたまると火災や故障の原因となることがあります。

掃除は梅雨の前が効果的です。費用などは販売店にご相談ください。

正しくお使いいただくために

持ち運び・輸送上のご注意

液晶プロジェクターは精密機器です。衝撃を与えたり、倒したりしないでください。故障の原因となります。

持ち運ぶときは、レンズの保護のためにレンズキャップをはめ調整脚を収納してから、ケースに納めて持ち運んでください。車両・航空機などを利用し持ち運んだり、輸送したりする場合は、輸送用のケースをご使用ください。

輸送用のケースについてはお買い上げの販売店にご相談ください。

液晶パネルについて

液晶パネルの特性上、長時間同じ画面を表示していると、画面を変えたときに残像（焼き付きのような症状）が発生する場合があります。投射する映像を変えたり、電源を切っておくと回復します。

レンズに向けて強い光を照射しないでください

レーザー光線などの強い光を直接レンズに照射されると、製品性能に影響を与えるおそれがありますので、ご注意ください。

● 電波障害自主規制について ●

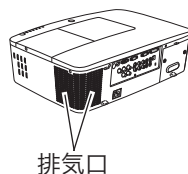
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

設置するときは次のことに注意してください

● 排気口の温風にご注意ください ●

排気口からは温風が吹き出します。温風の当たる所に次のものを置かないでください。

- ・ スプレー缶を置かないでください。熱で缶内の圧力が上がり、爆発の原因となります。
- ・ 金属を置かないでください。高温になり、事故やけがの原因となります。
- ・ 観葉植物やペットを置かないでください。
- ・ 熱で変形したり、悪影響を受けるものを置かないでください。
- ・ 排気口付近には視聴席を設けないでください。



熱で変形や変色の恐れのあるものを上に置かないでください。また、動作中排気口周辺ならびに排気口上部のキャビネットが高温になります。とくに小さいお子さまにはご注意ください。

● こんな場所には設置しないでください ●

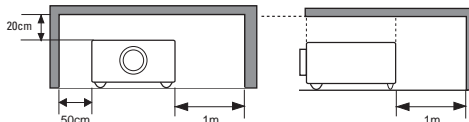
湿気やホコリ、油煙やタバコの煙が多い場所には設置しないでください。レンズやミラーなどの光学部品に汚れが付着して、画質を損なう原因になります。また、高温、低温になる場所に設置しないでください。故障の原因になります。

使用温度範囲	5℃～40℃	保管温度範囲	-10℃～60℃
--------	--------	--------	----------

● 壁などからじゅうぶんな距離をあけて設置してください ●

吸気口・排気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因や、プロジェクターの寿命を縮めたり、故障の原因となることがあります。押し入れ、本箱など風通しの悪い狭いところに押し込んだりしないで、風通しのよい場所に設置してください。

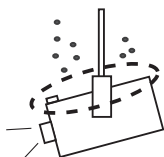
(上方 20cm 以上、側面 50cm 以上、排気口・後面各 1m 以上)



● 結露にご注意 ●

低温の場所から高温の場所へ急に持ち込んだときや、部屋の温度を急に上げたとき、空気中の水分が本機のレンズやミラーに結露して、画像がぼやけることがあります。結露が消えて通常の画像が映るまでお待ちください。

天井から吊り下げてご使用になるときに



天井から吊り下げたり、高いところへ設置してご使用になるときは、吸気口や排気口、エアフィルター周辺の掃除を定期的に行なってください。吸気口や排気口にホコリがたまると、冷却効果が悪くなり、内部の温度上昇を招いて故障や火災の原因となります。吸気口や排気口についたホコリは掃除機などで取り除いてください。



注意

エアフィルターのお手入れ


吸気口のエアフィルターは、プロジェクター内部の光学部品（レンズやミラー）をホコリや汚れから守っています。エアフィルターにホコリがたまるとプロジェクターを冷却する空気の流れが悪くなり、内部の温度が上がり故障の原因となります。本機のエアフィルターは目詰まりを感知すると自動的にフィルター部分を巻き取り（交換）、その状況をインジケータでお知らせします。エアフィルターは掃除がいりませんが、吸気口周辺は定期的に掃除をすることをおすすめします。



エアフィルターの状態をお知らせする表示について

本機には、エアフィルターの状態をお知らせする「フィルター警告」機能があります。詳細については、123、124 ページをご覧ください。



「設定」メニューの「フィルターカウンター」（P. 111～112 ページ）で設定した時間に達すると表示されます。ただし、エアフィルターの巻き取り回数の残りが「0」のときはが表示されます。



エアフィルターの巻き取り回数の残りが「0」になったことをお知らせします。



エアフィルターの交換が必要になったことをお知らせします。この表示が出たら、カートリッジを交換してください。



しばらくお待ち下さい

リモコンまたはメニューから強制巻き取りを行なったときに表示されます。

また、本体天面の [WARNING FILTER] インジケータでも同様にお知らせします。[WARNING FILTER] インジケータ（橙色）は、上記の画面表示と同時期に点灯または、点滅してお知らせします。詳細については、131、132 ページをご覧ください。

※ が表示されたときは、インジケータの点灯・点滅はありません。

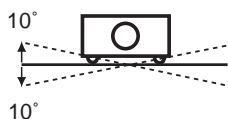
正しい方向に設置してください

プロジェクターを安全にご使用いただくため、プロジェクターはかならず指定の方向でご使用ください。指定以外の方向でご使用になると、プロジェクターの寿命を縮めるだけでなく、故障や火災、事故の原因となります。

本機は、上・下・斜めの方向で投映可能です。ただし、水平方向に 180 度を超えて* 設置するときは、本体底面が上向きになるように設置してください。

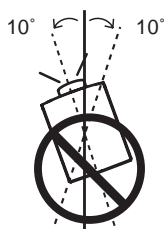
- * レンズを水平方向から下に向けて設置した場合、向きによっては投映画面の設定を「天吊り」にしてください。設定方法は 80、81 ページを参照してください。

以下の方向では使用しないでください



傾きは 10°以内に

プロジェクターの左右方向の傾きは各 10 度以内としてください。

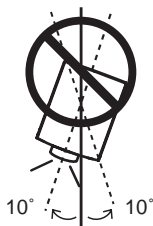


プロジェクターの水平軸を 10 度以上傾けて上方向に投映しないでください。



横置き禁止

プロジェクターを横に立てて使用しないでください。



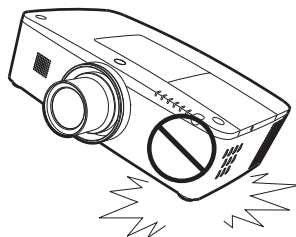
プロジェクターの水平軸を 10 度以上傾けて下方向に投映しないでください。

プロジェクター取り扱い上のご注意



注意

- プロジェクターをたたいたり、衝撃を与えたりしないでください。破損の原因になります。
- プロジェクターを立てて置くときは、はじめに置く場所が水平か、また異物が無いか確認してください。異物があったり、置く場所に突起があると、破損の原因となります。



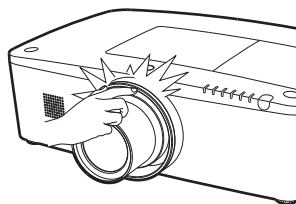
接触禁止



指挟み注意

本機は、レンズシフト機能により、モーターでレンズが上下左右に動きます。

- レンズが動いているときは、レンズに触れないでください。指のはさみ込みによるけがの原因となります。
- お子様が生徒がレンズに触れないように注意してください。



プロジェクターを持ち運ぶときのご注意

プロジェクターを以下の状態にしてから持ち運んでください。



注意

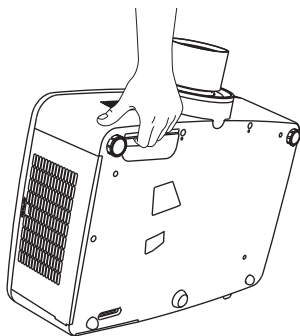
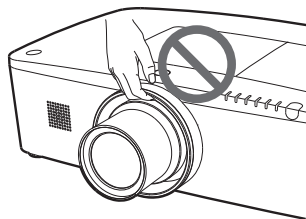
- プロジェクターの接続ケーブルをはずします。ケーブルを取り付けたまま運ぶと、事故の原因になります。
- 調整脚をおさめます。



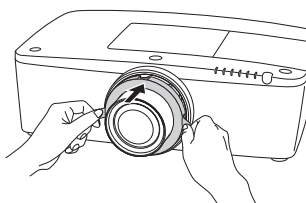
注意

落としたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

- レンズを取り付け後に、プロジェクターを運んだり持ち上げたりするときは、レンズレンズプロテクターを取り付け、レンズ部分は絶対に持たないでください。



本体底面のグリップを持って運びます。



※ レンズプロテクターはプロジェクターの輸送時のみならず取り付けてください。使用時には取りはずしてください。

⚠ ランプについての安全上のご注意

プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。この水銀ランプは次のような性質を持っています。

- 衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態、画像が次第に暗くなる、色合いが不自然になるなどして寿命が尽きたりします。
- ランプの個体差や使用条件によって破裂や不点灯、寿命に至るまでの時間はそれぞれのランプで大きく異なります。使用開始後まもなく破裂したり、不点灯になる場合もあります。
- 交換時期を超えてお使いになると、破裂の可能性が一段と高くなります。ランプ交換の指示が出たら（[LAMP REPLACE] インジケータが点灯したら）すみやかに新しいランプと交換してください。
- 万が一、ランプが破裂した場合に生じたガスを吸い込んだり、目や口に入らないように、ご使用中は排気口に顔を近づけないでください。

⚠ ランプが破裂した場合

プロジェクター内部にガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部のガスや粉じんが排気口から出たりすることがあります。ランプ内部のガスには水銀が含まれています。破裂した場合は窓や扉を開けるなど部屋の換気を行ってください。万一吸い込んだり、目や口に入った場合はすみやかに医師にご相談ください。

ランプが破裂した場合、プロジェクター内部にガラス片が散乱している可能性があります。お客様相談センターへプロジェクター内部の清掃とランプの交換、プロジェクター内部の点検をご依頼ください。

⚠ 使用済みランプの廃棄について

プロジェクターランプの廃棄は、蛍光灯と同じ取り扱いで、各自治体の条例に従って行ってください。

準 備

付属品や本体のボタン、端子の名称などを説明します。

付属品を確認してください……	20
本体各部の名称……………	21
機器をつなぐ端子……………	22
操作パネルとインジケータ……	24
リモコン……………	25

付属品を確認してください

プロジェクター本体のほかに、以下の付属品がそろっているかお確かめください。

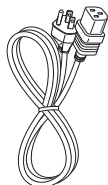
1 リモコン(MXCE)



2 リモコン用アルカリ乾電池
(単4形 2本)



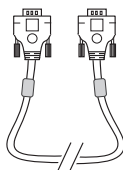
3 電源コード



4 電源プラグアダプタ



5 コンピュータケーブル
(D-sub 用)



6 取扱説明書
(本書+別冊)



7 保証書



8 お客さまご相談窓口一覧



9 保証登録票



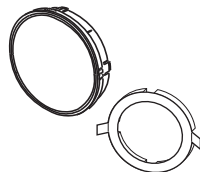
10 PIN code lock シール *



11 レンズ盗難防止用ネジ **



12 レンズキャップ・***
レンズプロテクター



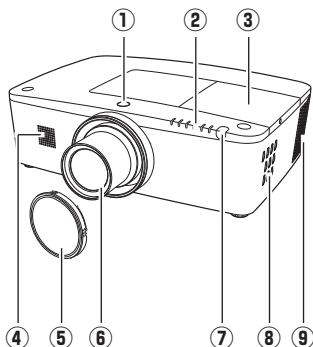
* 暗証番号を登録し、プロジェクターをロックしたとき、プロジェクター本体の目立ちやすい箇所に貼り付け、プロジェクターがロックされていることを表示するのにご使用ください。☞ 155 ページ

** 交換レンズの盗難防止を目的としたネジです。レンズ盗難防止ネジの取り付けについては、販売店にご相談ください。

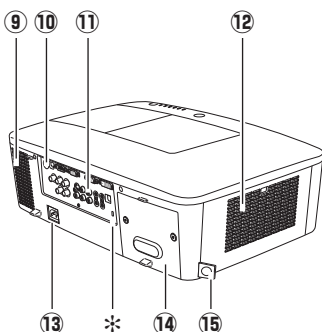
*** プロジェクターの輸送時にはかならず、レンズシフトを中心に戻し、このレンズプロテクターを取り付けてください。
レンズシフトを中心に戻すには、リモコンの [LENS SHIFT] ボタンまたは操作パネルの [LENS] ボタンを 5 秒以上押します。

本体各部の名称

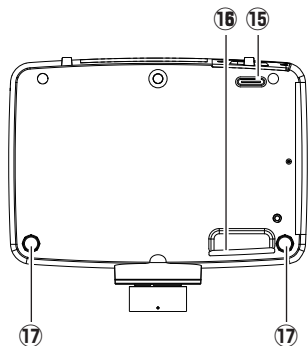
前面



後面



底面



! ご使用中、天面は熱くなります。上に物を置いたりしないでください。変形や火災の原因となります。

- ① レンズ取りはずしボタン
- ② インジケータ
- ③ ランプカバー
- ④ スピーカー
- ⑤ レンズキャップ※1
- ⑥ レンズ※2
- ⑦ リモコン受光部（前面・天面）
- ⑧ 操作パネル
- ⑨ 排気口※3
- ⑩ リモコン受光部（後面）
- ⑪ 後面端子
- ⑫ フィルターカバー・吸気口※4
- ⑬ 電源コード接続ソケット
- ⑭ 後面カバー（オプション部品取り付け部）
- ⑮ 盗難防止フック
- ⑯ キャリングハンドル
- ⑰ 調整脚

* 盗難防止用ロック穴
盗難防止用のチェーンなどを取り付けるときに使用します。

※1 **!** ランプ点灯中はレンズキャップをかならずはずしてください。レンズキャップをつけたまま点灯すると、レンズキャップの変形および火災の原因となります。

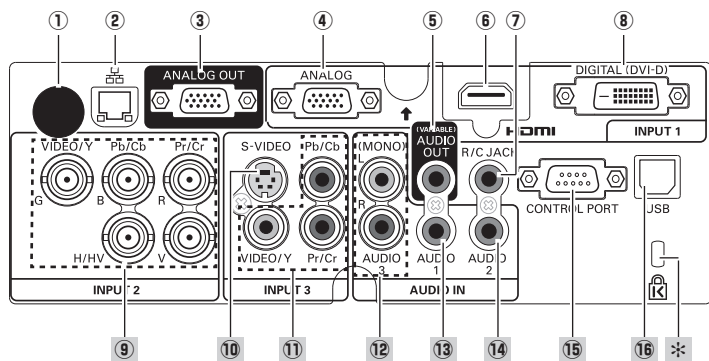
※2 **!** 投映中、レンズ部は非常に熱くなります。投映光を遮らないでください。光を遮ると変形や火災の原因となります。

※3 **!** スプレーなど、引火性のもの、燃えやすいもの、熱で変形しやすいものを近くに置かないでください。火事の原因となります。

※4 **!** 内部に冷却ファンがあります。ここをふさがないでください。

機器をつなぐ端子

後面端子



① リモコン受光部 (後面)

本機前面にも受光部があります。

② LAN 接続端子

有線 LAN ケーブルを接続します。


③ ANALOG OUT 36、37 ページ

INPUT1 ～ 3 に接続されたコンピュータの RGB 信号のモニター出力として使用することができます。接続にはコンピュータケーブル (D-sub 用) を使用します。

④ ANALOG (コンピュータ D-sub 入力端子) 36 ページ

コンピュータからのアナログ信号を接続します。接続には付属のコンピュータケーブル (D-sub 用) を使います。

⑤ AUDIO OUT (音声出力端子)

 38 ページ

投影中のコンピュータまたはビデオ画面の音声を外部のオーディオ機器へ出力する端子です。

⑥ HDMI (HDMI 入力端子)

 36、37 ページ

DVD プレーヤーやハイビジョン受信機などで、HDMI 端子出力のある機器からの信号を入力します。また、コンピュータからのデジタル信号も DVI-HDMI(変換)ケーブルで接続することもできます。

⑦ R/C JACK (リモートコントロール端子) 29 ページ

この端子とリモコンのワイヤードリモコン端子をワイヤードリモコンケーブルでつなぐと、ワイヤードリモコンとなり、リモコンの向きに関係なくプロジェクターの操作ができます。

⑧ DIGITAL (DVI-D) (コンピュータ DVI-D 入力端子) 36、37 ページ

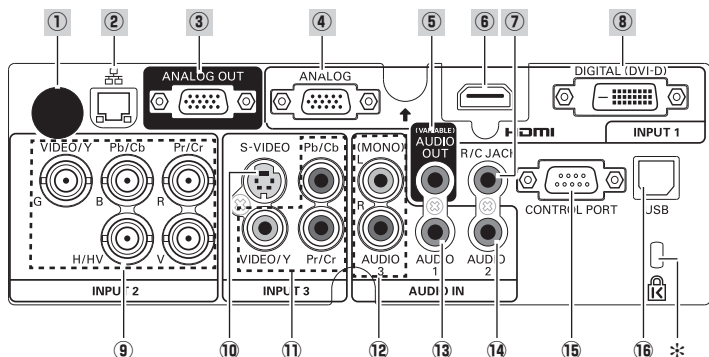
DVI 規格対応の端子を持つコンピュータからのデジタル信号を接続する DVI-D 端子です。接続には市販のコンピュータケーブル (DVI-D 用) を使います。

⑨ 以降は次ページへ

機器をつなぐ端子 (つづき)

準備

後面端子



⑨ 5BNC (ビデオ / コンポーネント入力端子) ☞ 36、37 ページ

コンピュータからのアナログ信号 (G,B,R, H/HV,V)、またはビデオ機器からの映像信号 (VIDEO)、またはコンポーネント信号 (Y,Pb/Cb,Pr/Cr) を入力します。接続には市販の BNC ケーブルを使います。

⑩ S-VIDEO IN (S 映像入力端子)

☞ 37 ページ

ビデオ機器からの S 映像出力をこの端子に接続します。

⑪ VIDEO/Y, Pb/Cb,Pr/Cr (ビデオ入力端子) ☞ 37 ページ

ビデオ機器からのコンジットまたはコンポーネント信号を入力します。

⑫ AUDIO 3 (ビデオ音声入力端子)

☞ 38 ページ

⑩ または ⑪ に接続された、ビデオ機器からの音声出力をこの端子に接続します。モノラルの音声は [L (mono)] 端子へ接続してください。

⑬ AUDIO 1 (音声入力端子)

☞ 38 ページ

④、⑥、⑧ に接続されたコンピュータからまたはビデオ機器からの音声出力 (ステレオ) をこの端子に接続します。

⑭ AUDIO 2 (音声入力端子)

☞ 38 ページ

⑨ に接続されたコンピュータからまたはビデオ機器からの音声出力 (ステレオ) をこの端子に接続します。

⑮ CONTROL PORT

プロジェクターの操作をコンピュータで行なうときに使用します。この端子とコンピュータのシリアルポート (RS-232C) をつなぎます。

⑯ USB (USB 端子 : シリーズ B)

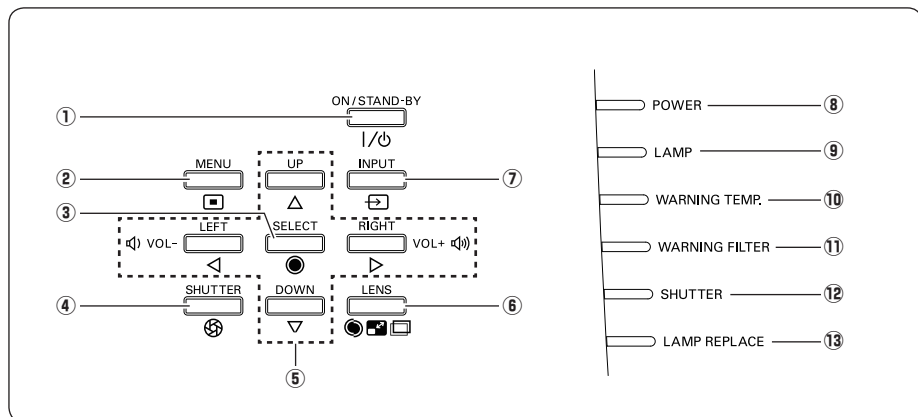
☞ 36 ページ

コンピュータのマウス操作を、プロジェクターのリモコンで行なうときに、この端子とコンピュータの USB 端子を市販の USB ケーブルで接続します。また、サービス用にも使用します。

* 盗難防止用ロック穴

盗難防止用のチェーンなどを取り付けるときに使用します。

操作パネルとインジケータ



① I/⌘ ON / STAND-BY ボタン

☞ 42、45 ページ

電源を入り・切ります。

② MENU ボタン

☞ 55、79 ページ

オンスクリーンメニューを表示します。

③ SELECT ボタン

☞ 54、79 ページ

ポインタの指す項目を選択します。また、デジタルズームモードで画像を拡大または縮小するのに使います。

④ SHUTTER ボタン

☞ 115 ページ

シャッターの開閉をします。投映光を遮断することができます。

⑤ ポイント / VOLUME ボタン

☞ 53、55、79 ページ

オンスクリーンメニューでのポインタの移動や各種メニューの調整、音量の調整に使います。また、デジタルズームモードあるいはリアルモードで画像を上下左右に移動するのに使います。

⑥ LENS ボタン

☞ 48、49 ページ

ボタンを押すたびにズーム、フォーカス、レンズシフトそれぞれの調整モードに入ります。

⑦ INPUT ボタン

☞ 47 ページ

インプット（入力）を切り換えます。

⑧ POWER インジケータ

☞ 127～133 ページ

プロジェクターの状態を示します。

点灯：動作中、またはスタンバイ状態です。
点滅：パワーマネージメントモードが働いています。

⑨ LAMP インジケータ

☞ 129～133 ページ

ランプが正常に点灯しているときに点灯します。

⑩ WARNING TEMP. インジケータ

☞ 127～133 ページ

赤く点滅して、内部の温度が異常に高くなっていることを知らせます。

⑪ WARNING FILTER インジケータ

☞ 124、131～133 ページ

橙色に点滅して、エアフィルターの目詰まりによる清掃時期が近いことを知らせます。また、橙色に点灯して、エアフィルターの交換時期に達していることを知らせます。

⑫ SHUTTER インジケータ

☞ 130～133 ページ

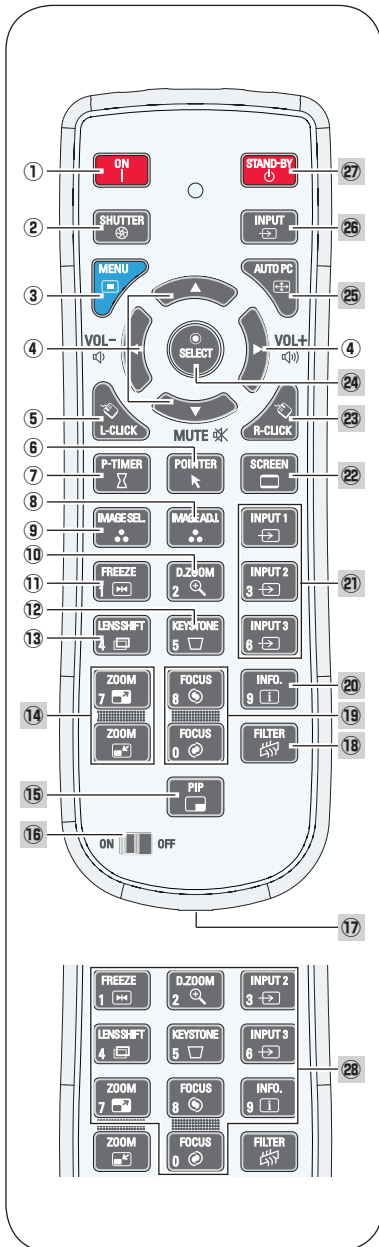
青色に点灯してシャッターが閉じているのを知らせます。点滅しているときは、シャットダウン・スタンバイ中です。

⑬ LAMP REPLACE インジケータ

☞ 120、131～133 ページ

橙色に点灯して、ランプの交換時期を知らせます。

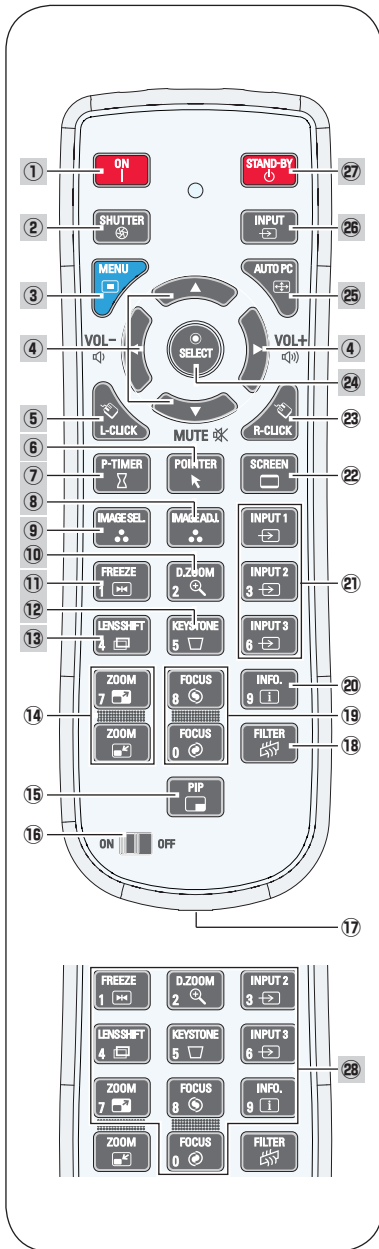
リモコン












- ① **ON ボタン** ㊦ 42 ページ
電源を入れます。
- ② **シャッター SHUTTER ボタン** ㊦ 115 ページ
シャッターを開閉します。
- ③ **メニュー MENU ボタン** ㊦ 55、56 ページ
メニューバーを出します。
- ④ **ポイント ボタン** ㊦ 53、55、79 ページ
オンスクリーンメニューのポインタの移動や、各種メニューの調整に使用します。また、左右ボタンで音量の調整、下ボタンで消音することができます。
- ⑤ **左クリックボタン** ㊦ 114 ページ
コンピュータマウスの左クリックの働きをします。
- ⑥ **ポインタ POINTER ボタン** ㊦ 118 ページ
ポインタ機能を入・切します。
- ⑦ **ピータイマー P-TIMER ボタン** ㊦ 118 ページ
ボタンを押すとボタンを押したときからの経過時間をカウントまたは設定時間からのカウントダウンを画面に表示します。
- ⑧ **イメージアジャスト IMAGE ADJ. ボタン** ㊦ 52 ページ
「イメージ調整」メニューを呼び出し、調整をします。
- ⑨ **イメージセレクト IMAGE SEL. ボタン** ㊦ 51 ページ
イメージモードを選択します。
- ⑩ **デジタルズーム D.ZOOM ボタン** ㊦ 79 ページ
デジタルズームモードに入ります。
- ⑪ **フリーズ FREEZE ボタン** ㊦ 117 ページ
画面を静止させます。
- ⑫ **キーストーン KEYSTONE ボタン** ㊦ 49～51 ページ
画面の台形ひずみ（あおり）を補正します。
- ⑬ **レンズシフト LENS SHIFT ボタン** ㊦ 48、49 ページ
レンズを上下左右にスライドさせて、画面の位置を上下左右に移動させます。

⑭ 以降は次ページへ

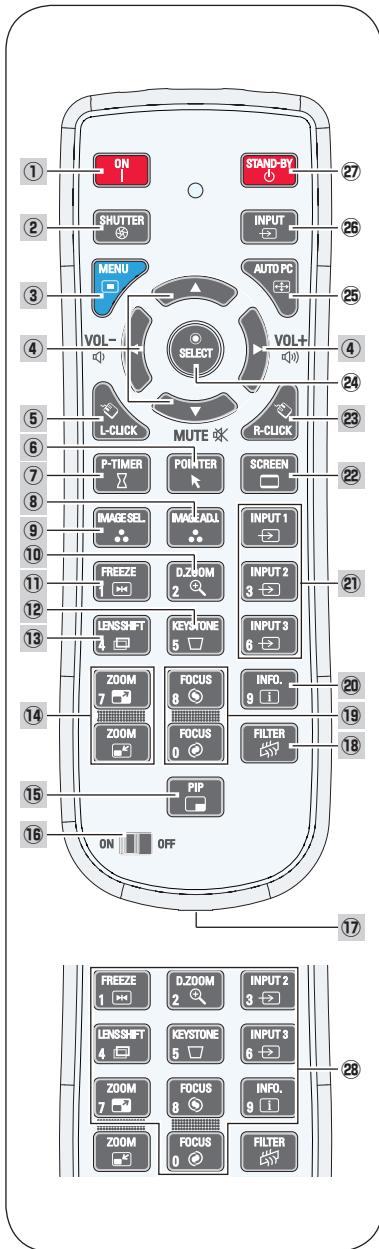
リモコン (つづき)








- ⑭ ズーム
ZOOM ボタン  48 ページ
レンズのズームを調整します。
- ⑮ ピクチャーインピクチャー
PIP ボタン  116、117 ページ
第 2 画面を表示するのに使用します。
- ⑯ オン オフ
ON/OFFスイッチ
リモコンを使用するときは「ON」にセットします。
長時間使用しないときは「OFF」にセットします。
- ⑰ **ワイヤードリモコン端子**  29 ページ
ワイヤードリモコンとして使用するときは、市販のワイヤードリモコンケーブルでこの端子とプロジェクターのリモコン端子 (R/C JACK) を接続します。
※ リモコンに電池が必要です。
※ リモコンをワイヤレスでご使用になるときは、リモコンケーブルをプロジェクターおよびリモコンからはずしてください。リモコンケーブルがプロジェクターまたはリモコンの一方または両方に接続されていると、リモコンはワイヤレスとして動作しません。
- ⑱ フィルター
FILTER ボタン  99、100 ページ
エアフィルターの掃除の予約をするときに使用します。
- ⑲ フォーカス
FOCUS ボタン  48 ページ
フォーカスを調整します。
- ⑳ インフォメーション
INFO. ボタン  58、59 ページ
投映中の信号状況や設定状況を表示します。
- ㉑ インプット
INPUT 1～3 ボタン  47 ページ
入力信号を選択します。
- ㉒ スクリーン
SCREEN ボタン  52 ページ
画面サイズを選択します。ボタンを 5 秒以上長押しすると「スクリーン」メニュー内の設定が工場出荷時に戻ります。
- ㉓ アールクリック
R-CLICK (右クリック) ボタン  114 ページ
コンピュータマウスの右クリックの働きをします。


⑳以降は次ページへ

リモコン (つづき)



- ②④ **SELECT ボタン**  55、79 ページ
ポインタが指す項目を選択します。また、デジタルズームモードでは、画像の拡大・縮小に使用します。
- ②⑤ **AUTO PC ボタン**  69 ページ
トラッキング・総ドット数・水平位置・垂直位置を自動調整します。
- ②⑥ **INPUT ボタン**  47 ページ
INPUT (入力) を切り換えます。
※ ②①と異なり、入力信号は選択できません。
- ②⑦ **STAND-BY ボタン**  45 ページ
電源を切り、待機状態にします。
- ②⑧ **数字ボタン**
 29、30、43、93、94、107、108 ページ
暗証番号またはリモコンコード設定のため、数字を入力するときに使用します。

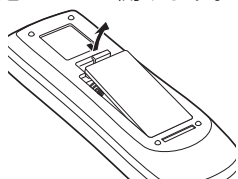
準備

※ リモコンを、一部のボタンだけを有効にする「シンプルモード」に設定することができます。
 100、101 ページ

リモコン (つづき)

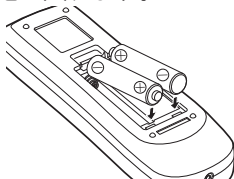
電池の入れかた

1 電池カバーを開けます。



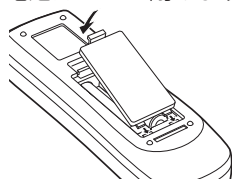
押しながら上に引き上げます。

2 電池を入れます。



＋プラス、－マイナスに注意して付属の乾電池（単4形アルカリ乾電池2本）を入れます。

3 電池カバーを閉めます。



⚠ 電池を使用するときのご注意

電池の破裂や液もれを防ぐために、次のことにじゅうぶんで注意ください。

- ・種類のちがうものや新・旧を混ぜて使わない。
- ・乾電池は充電しない。分解しない。
- ・＋極と－極の向きを正しく入れる。＋極と－極をショートさせない。
- ・可燃ごみに混ぜたり、燃やしたりしない。
- ・電池を廃棄するときは、各自自治体の指示および電池製造者の指示に従って廃棄する。



注意 禁止

また、正しくお使いいただくために次のことをお守りください。

- ・長い間使わないときは乾電池をとりだす。
- ・液もれが起こったときは、電池入れについての液をよくふきとってから新しい乾電池を入れる。

リモコンで操作できる範囲

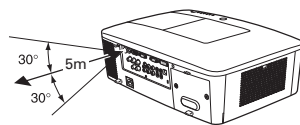
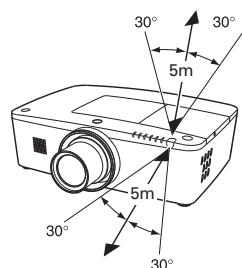
リモコンで離れて操作できる範囲は、本体のリモコン受光部から約5m以内、上下左右30度以内です。

※ 天吊りなどで蛍光灯の近くに設置したときは、「設定」の「リモコン受光部」で蛍光灯から離れている方にあるリモコン受光部を選択することをおすすめします。

☞ 101、102 ページ

⚠ リモコンを使用するときのご注意

- 本体のリモコン受光部に、直射日光や照明器具の強い光が当たらないようにする。
- 液状のものをかけない。
- 落としたり衝撃を与えない。
- 熱や湿気をさける。

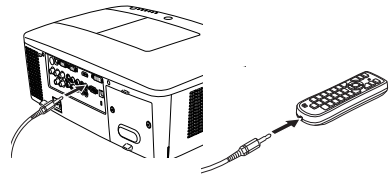


※ 間に障害物があると操作の妨げになります。

リモコン (つづき)

ワイヤードリモコンで操作

市販のワイヤードリモコンケーブルで、後面の [R/C JACK] 端子と、リモコンの [ワイヤードリモコン] 端子を接続します。



準備

- ※ リモコンに電池が必要です。
- ※ リモコンをワイヤレスでご使用になるときは、リモコンケーブルをプロジェクターおよびリモコンからはずしてください。リモコンケーブルがプロジェクターまたはリモコンの一方または両方に接続されていると、リモコンはワイヤレスとして動作しません。

リモコンコードの設定

本機は8種類のリモコンコード（「コード1」～「コード8」）の設定が可能です。複数のプロジェクターを使用するときにはリモコンコードを使い分けて使用できます。リモコンコードを変更する場合には、プロジェクター本体とリモコンの両方を合わせて切り換える必要があります。プロジェクターのリモコンコードの切り換えは「設定」メニューで行ないます。☞ 101 ページ

手順

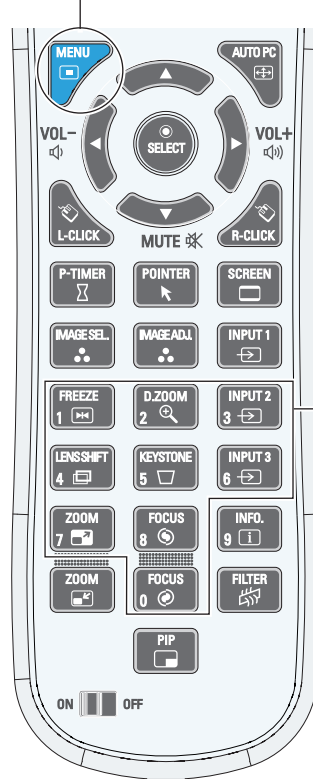
[MENU] ボタンと合わせたいリモコンコードに相当する数字ボタンを同時に5秒以上長押しします。手を離すとコードが切り換わります。

リモコンコード	数字ボタン
コード1	1
コード2	2
コード3	3
コード4	4
コード5	5
コード6	6
コード7	7
コード8	8
コードリセット	0

リモコン (つづき)

準備

[MENU] ボタン



数字ボタン
0～8

※ 設定したリモコンコードを初期化したい場合には [MENU] ボタンと [0] ボタンを同時に 5 秒以上長押しします。

設置・接続

プロジェクターの設置と、コンピュータやビデオ機器との接続について説明します。

レンズを交換する……………	32
設置のしかた……………	33
接続の例 ～コンピュータ……	36
接続の例 ～ビデオ……………	37
接続の例 ～オーディオ （音声入出力）…	38
電源コードを接続する……………	39

レンズを交換する

本機はレンズの交換が可能です。プロジェクターを使用する環境の変化に応じてレンズを選択・交換することができます。レンズの仕様についての詳細は、取扱販売店にご相談ください。

レンズの取りはずしかた

レンズシフトでレンズの位置を中央に戻しておきます。

レンズの交換をするときにはかならず、電源コードがコンセントから抜けて、電源が切れている状態で行なってください。

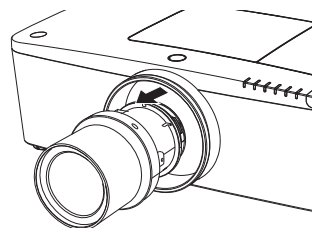
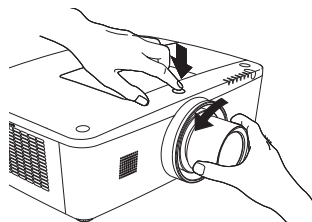
1 キャビネット天面のレンズ取りはずしボタンを押しながら、レンズを反時計回りに回し、ゆっくり引き抜いて取りはずします。

※ レンズは止まるまで回します。

※ 取りはずしたレンズには保護キャップをはめて、ゴミやホコリ、傷が付かないようにしてください。

⚠️ ご注意

レンズを取りはずすときは落とさないようにしてください。



レンズの取り付けかた

1 レンズに付いている、レンズ保護キャップをはずします。

2 レンズにある赤い印とプロジェクターにある赤い印とが合うようにはめ込みます。

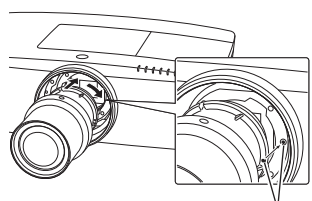
3 レンズを時計回りにゆっくりと回します。カチッと音が出るまで確実に取り付けます。

⚠️ ご注意

レンズを取り付けるときは、レンズ取りはずしボタンは押さないでください。

⚠️ レンズ交換するときのご注意

ほこりの多い場所でのレンズ交換は避けてください。本体内にゴミやほこりが入ると、画質を損なう原因になります。

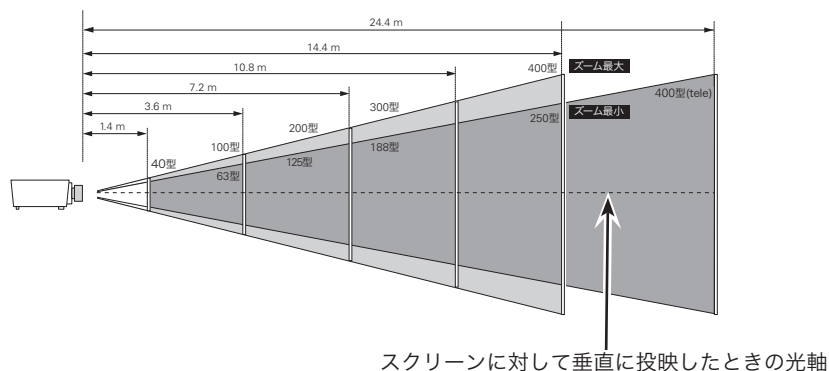


赤い印

設置のしかた

スクリーンからのおよその投射距離と画面サイズの関係

画面サイズは、プロジェクターのレンズからスクリーンまでの距離によって決まります。本機の標準レンズの場合、スクリーンからレンズまでの距離が約 1.4m ~ 24.4m の範囲に設置してください。



設置・接続

画面サイズ (幅×高さ:mm)	40型	100型	200型	300型	400型
投射距離 (ズーム最大:wide)	1.4m	3.6m	7.2m	10.8m	14.4m
投射距離 (ズーム最小:tele)	2.4m	6.0m	12.2m	18.3m	24.4m

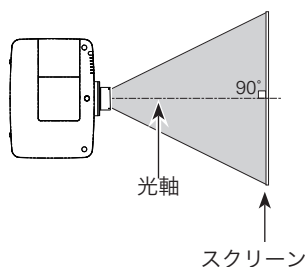
※ 上表はアスペクト比 16 : 10 の画面サイズで映画像の内容により画面サイズが異なる場合があります。☞ 140 ~ 144 ページ

スクリーンに対して直角に設置する

投射したとき光軸がスクリーンに対して直角になるように設置してください。

※ スクリーンに対して過度に斜めに投射すると、部分的にフォーカスが合わなくなることがあります。

上から見た図

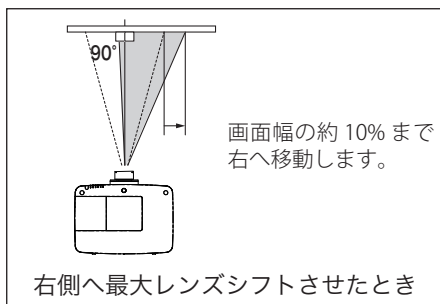
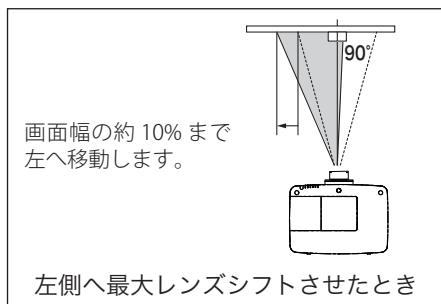
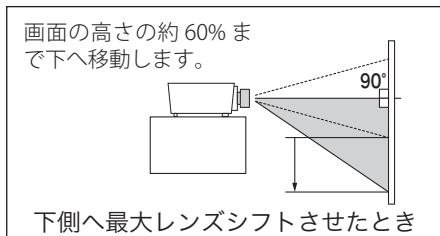
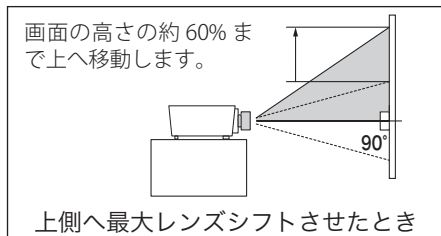


設置のしかた (つづき)

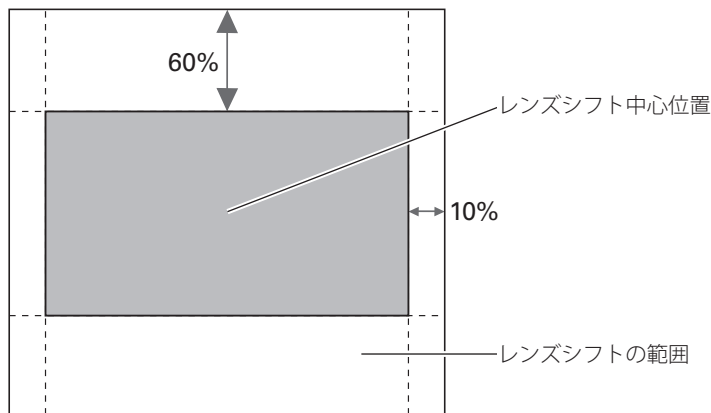
レンズシフト機能で画面の位置を合わせる (例)

本機にはレンズシフト機能が付いており、ボタン操作でレンズを上下左右にスライドさせ、画面位置を上下左右に移動させることができます。操作のしかたについては48、49ページをごらんください。

※ 図は本機の標準レンズを装着したときの例です。



レンズシフトの調整の範囲



設置のしかた（つづき）

テストパターンを投映する

プロジェクターを設置するとき、外部の信号源を使わず内蔵のテストパターンを投映することができます。

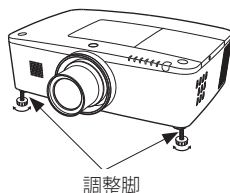
「設定」メニューで「テストパターン」の中から選択して投映します。

☞ 113 ページ

投映画面の高さと傾きを調整する

調整脚をまわして投映画面の高さと傾きを微調整します。最大約 4.0 度まで上がります。

※ 持ち運ぶときはかならず調整脚を収納してください。



☀️ 左右方向の傾きは± 10 度以内に

左右の傾きが± 10 度以内になるように投映してください。傾きが大きいと、ランプの故障の原因となります。



注意

☀️ 画面の台形ひずみ（あおり）

プロジェクターの前面を上げすぎると、投映角度がスクリーンに対して斜めになり、画面が台形にひずみます。ひずみが大きい場合は、本体の設置台の高さなどを調整してください。

※ 画面の台形ひずみは、キーストーン調整でも補正できます。☞ 49～51 ページ

☀️ お使いになる部屋の明るさについて

スクリーンは、太陽光線や照明が直接当たらないように設置してください。スクリーンに光が当たると、白っぽく見にくい画面になります。明るい部屋では、部屋の明るさをやや落としてください。

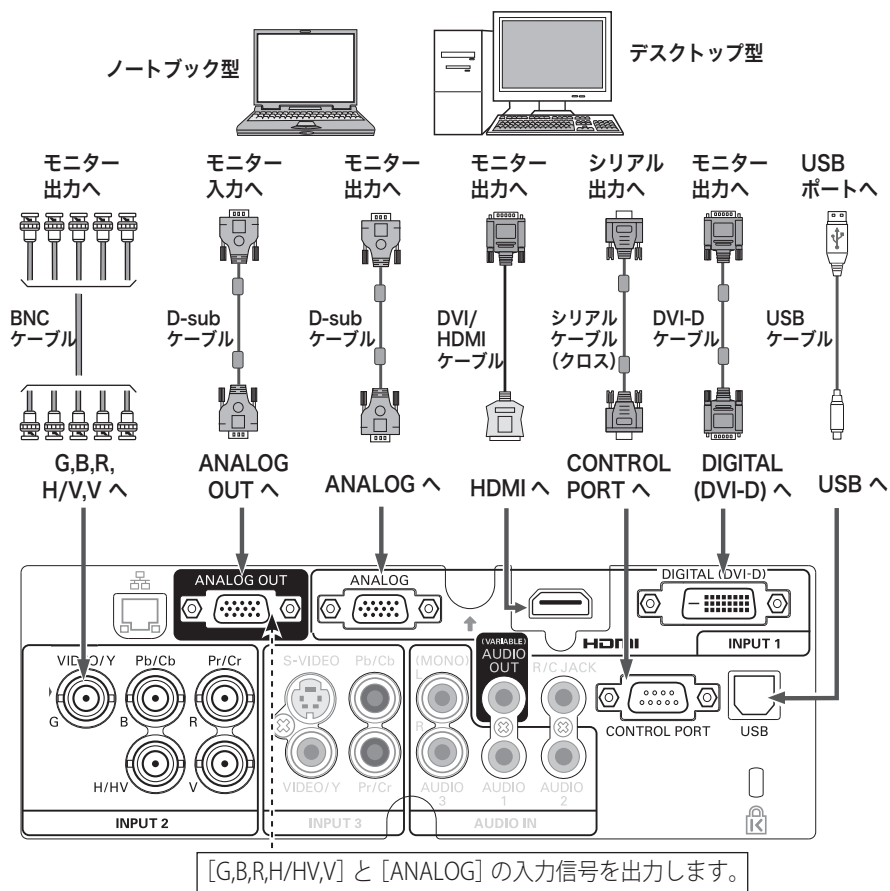
接続の例 ～コンピュータ

接続に使用するケーブル (* = 市販のケーブルをお使いください。)

- D-sub ケーブル
- DVI-D ケーブル*
- DVI/HDMI ケーブル*
- BNC ケーブル*
- USB ケーブル*
- シリアルケーブル (クロス)*

コンピュータの映像を外部出力にする設定は、ケーブルをつないだ後に行なってください。設定方法はコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

※ ノートブック型は、キーボードの [Fn] キーを押しながら、ファンクションキーを押す、などの操作が必要な場合があります。



接続するときのご注意:

接続するときには、プロジェクターと外部機器の両方の電源を切ってから行ってください。

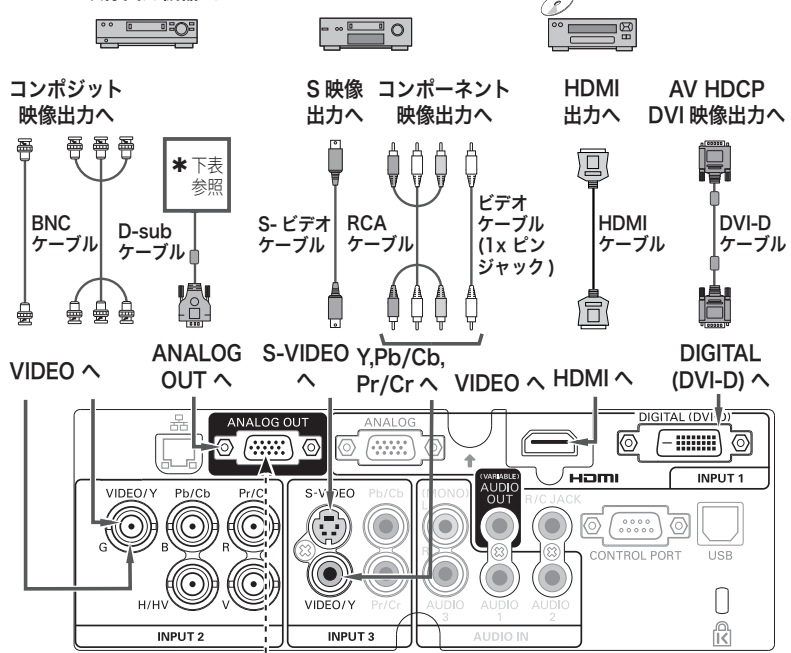
接続の例 ～ビデオ

接続に使用するケーブル

- ビデオ ケーブル (RCAx3、RCAx1)
 - S ビデオ ケーブル
 - BNC ケーブル (BNCx3、BNCx1)
 - D-sub ケーブル (付属)
 - HDMI ケーブル
 - DVI-D ケーブル
- ※ 本機にはビデオ機器と接続するケーブルは付属されていません。市販のケーブルをお使いください。(D-sub ケーブルは 1 本付属されています。)

接続するときの注意：
 接続するときは、プロジェクターと外部機器の両方の電源を切ってから行なってください。

ビデオ、S-ビデオプレーヤ、DVD プレーヤ、HDMI 映像出力機器 など



[VIDEO] と [Y,Pb/Cb,Pr/Cr] の入力信号を出力します。

* MONITOR OUT の仕様

入力端子		出力の可否	接続ケーブル
インプット 1	D-sub15	RGB (PC アナログ)	○
		RGB (Scart)	×
	HDMI	HDMI	×
インプット 2	5BNC	RGB	○
		Video	○
		Y, Cb/Cr	○
インプット 3	RCA	Y, Cb/Cr	○
	S-video	S-video	×
	Video	Video	○
ネットワーク			×

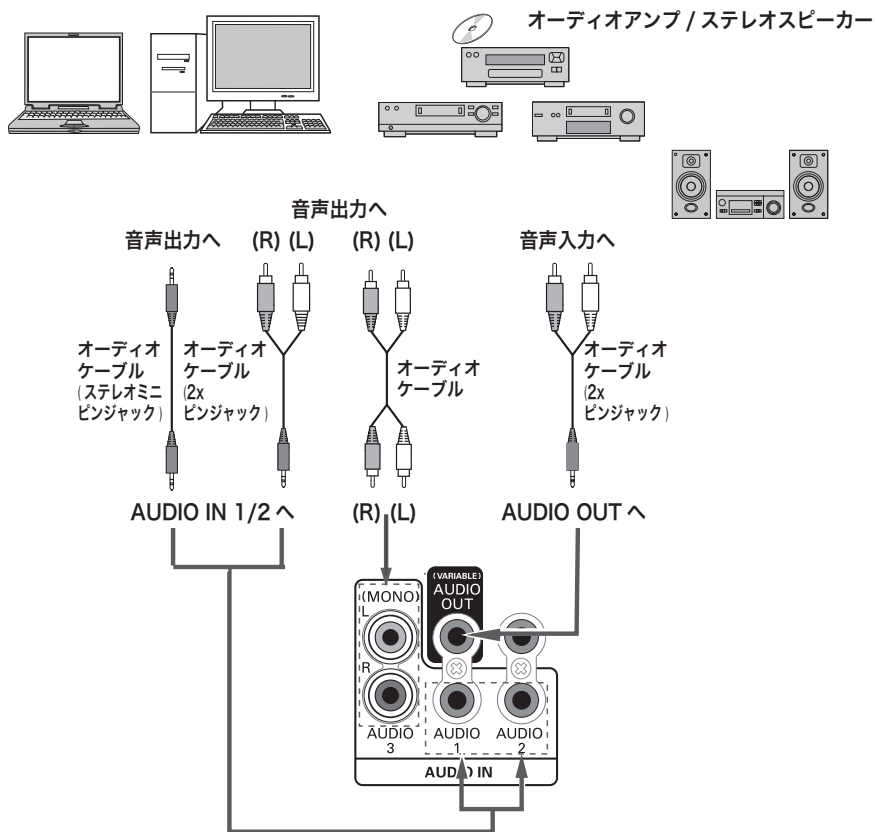
◆ 端子の一方の形状が D-sub であるケーブルが必要です。

接続の例 ～オーディオ（音声入出力）

接続に使用するケーブル

- オーディオ ケーブル

※ 本機にはオーディオ機器と接続するケーブルは付属されていません。市販のケーブルをお使いください。

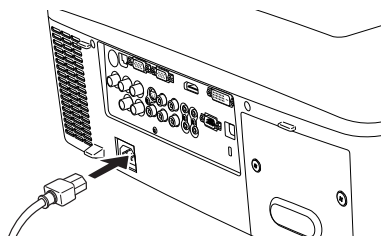


接続するときのご注意：
 接続するときは、プロジェクターと外部機器の両方の電源を切ってから行ってください。

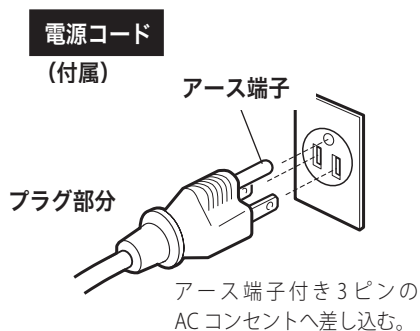
電源コードを接続する

電源コードをつなぐ前に、22、23、36～38 ページを参照してコンピュータやビデオ機器を接続してください。

- 1 電源コードのソケット部分を本体後面の電源コード接続ソケットに差し込みます。



- 2 電源コードのプラグ部分をアース端子付き 3 ピンの AC コンセントに差し込みます。



⚠ 電源コード取扱上の注意

電源コードはかならず本機に付属のものをご使用ください。他の機器に使われているものを絶対にご使用にならないでください。事故や火災の原因となります。また、本機に付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。

⚠ ご使用にならないときは電源コードを抜いてください

本機は、リモコンの [STAND-BY] または操作パネル [ON/STAND-BY] ボタンで電源を切っても待機電力*が消費されています。安全と節電のため、長期間で使用にならないときは電源プラグを AC コンセントから抜いてください。

* 待機中消費電力：0.4/24W（スタンバイモード：エコ/ネットワーク）

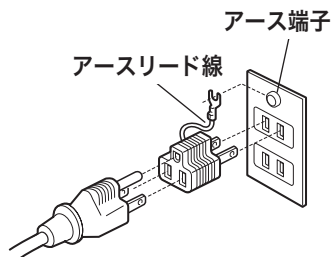
電源コードを接続する（つづき）



安全のために電源プラグアダプタのアースリード線を接地してください

電源コードのプラグはアース端子付き3ピンプラグです。アースは確実に接地してご使用ください。コンセントが2ピン専用（アース端子がない）場合は、アース工事を行ない、付属の電源プラグアダプタを使用して接続してください。アースはコンピュータ使用時の電波障害の防止にもなっています。接地しないと、テレビやラジオに受信障害をおよぼす原因になることがあります。

- 感電の原因となりますので、アース工事はかならず専門業者に依頼してください。
- アースリード線をコンセントに差し込まないでください。感電の原因となります。
- 電源プラグアダプタを使うときは、安全のため、コンセントに電源プラグアダプタを差し込む前にアースリード線をアースへ接地してください。また、はずすときは電源プラグアダプタをコンセントから抜いたあとでアースリード線ははずしてください。



基本操作

電源の入れ方など基本的な操作などを説明します。

電源を入れる・切る	42
入力信号を選択する	47
投映画面の調整や その他の操作	48
オンスクリーンメニューの 操作方法	55

電源を入れる・切る

電源を入れる

電源コードをつなぐ前に、22、23、36～38 ページを参照してコンピュータやビデオ機器を接続してください。

- 1 電源コードを AC コンセントに接続します。
[LAMP] インジケータ (赤) と、[POWER] インジケータ (緑) が点灯します。
- 2 リモコンの [ON] または操作パネルの [ON/STAND-BY] ボタンを押して電源を入れます。
* 正常に起動すると [LAMP] インジケータ (赤) が少し暗めの点灯に変わります。
約 30 秒間のオープニング画面とそのカウントダウン**が終わると画像が映ります。スタート時、「入力モード❖」と「ランプコントロール❖」が約 4 秒間表示されます。

 **カウントダウン中、カウントダウン終了後の動作について**

< カウントダウン中 >

- リモコンの [ON、STAND-BY、ZOOM、FOCUS、LENS SHIFT]、操作パネルの [ON/STAND-BY] ボタン以外は操作することができません。

ただし、暗証番号ロックが設定されているときは、[ZOOM、FOCUS、LENS SHIFT] の操作はできません。

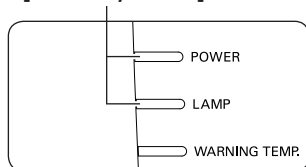
- リモコンまたは操作パネルの [ON/STAND-BY] ボタンを押すと画面に「もう 1 度押すと電源が切れます」の表示が出ます。その後カウントダウンの終了を待たずに上記以外のボタンの操作も可能になります。このとき投映画面は暗く、ランプが安定するにつれて、徐々に明るくなります。

※ ランプが点灯し、安定するまでの間に映像がちらつくことがあります。これはランプの特性上発生するもので故障ではありません。

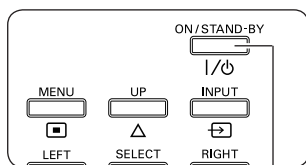
< カウントダウン終了後 >

- 「設定」メニューの「セキュリティ」内の、「暗証番号ロック」(F 107、108 ページ) を「オン」にしているときは、暗証番号を入力する画面が現れます。(入力方法は 43 ページ)
- * 設定メニューで「ダイレクトオン・オン」(F 103 ページ) に設定しているときは、電源コードを接続すると同時にプロジェクターの電源が入ります。
- ** 設定メニューで、
 - 「オンスクリーン表示・オン」(F 90 ページ)、「ロゴ選択・オフ」(F 91 ページ) に設定しているときは、カウントダウンは表示されますがオープニング画面は出ません。

[POWER/LAMP] インジケータ

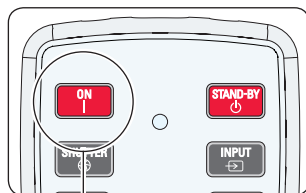


操作パネル

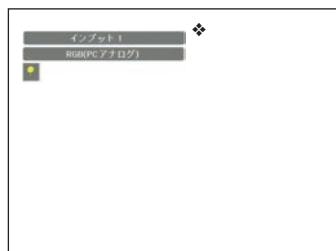


[ON/STAND-BY] ボタン

リモコン



[ON] ボタン



入力モード、信号の種類、ランプコントロールの表示❖

電源を入れる・切る（つづき）

- ・「オンスクリーン表示・オフ、またはカウントダウンオフ」（ 90ページ）に設定しているときは、「ロゴ選択」（ 91ページ）の設定に関係なく、ランプ点灯後すぐに投映されます。

暗証番号の入力

※ 「電源を入れる」（ 42ページ）1・2に続いて・・・

3 「暗証番号ロック」が「オン」のとき、前ページ「手順2」でカウントダウンが終わったあと、暗証番号を入力する画面が現れます。

4 リモコンで入力する

- ① 数字ボタンで「0～9」の数字を選択し、4けた全ての数字を入力します。（入力した数字は「*」で表示されます）
4けた全てが決定すると、ポインタが自動的に「セット」に移動します。

操作パネルから入力する

[ポイント] ボタンの上下で0～9の数字を選択し、[ポイント] ボタン右でポインタを2けた目に移動します。（1けた目の表示が「*」に変わります。）
この操作を繰り返し、4けた全ての数字を入力します。



- ② 下記「手順③」へ

4けた全ての数字を入力したら、ポインタを[ポイント] ボタン右で「セット」に移動します。

- ③ [SELECT] ボタンを押して決定します。

※ 数字の入力をやり直したいときは、[ポイント] ボタンの左右でやり直したいけたを選択し[ポイント] ボタン上下で数字を選び直します。

※ 4けた全ての数字を消したいときは、「クリア」にポインタを合わせて[SELECT] ボタンを押します。

5 正しく入力されていると「OK」が画面に表示され、プロジェクターを操作できます。

※ 暗証番号が入力されないと、約3分後に電源が切れます。

OK

電源を入れる・切る（つづき）

「暗証番号ロック」とは？

管理者以外の暗証番号を知らない、第三者によるプロジェクターの操作を防止します。

詳しくは 107、108 ページの「設定」メニュー、「セキュリティ」内の「暗証番号ロック」を参照してください。



エアフィルターおよびランプに関するお知らせ表示

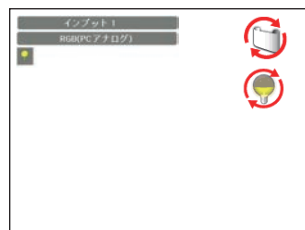
電源を入れた後、プロジェクターの状態により「フィルター警告」および「ランプ交換」のお知らせ表示が出ることがあります。

🗨️ 120、123 ページ

※ 表示は約 4 秒間出ます。



この表示はエアフィルターカートリッジの交換をお知らせしています。エアフィルターカートリッジの交換をせずにプロジェクターを使用し続けると、光学部品の保護のために、電源を入れてから約 3 分後に電源が自動的に切れます。



フィルター警告とランプ交換の表示



電源を切った後、すぐには電源が入りません

電源を切った後、しばらくの間は次の点灯に備え、高温になったランプを冷却しています。この間は [ON] または [ON/STAND-BY] ボタンを押しても電源は入りません。

電源を入れる・切る（つづき）

電源を切る

- 1 リモコンの [STAND-BY] または操作パネルの [ON/STAND-BY] ボタンを押すと、画面に「もう1度押すと電源が切れます」の表示が出ます。

もう1度押すと電源が切れます

- 2 表示が出ている間に再度ボタンを押すと画面が消え、電源が切れます。電源が切れると [POWER] インジケータが消え、ランプの冷却を始めます。
※ 表示は約4秒間出ます。



ダイレクトオフ機能について

- ご使用後リモコンの [STAND-BY] または操作パネルの [ON/STAND-BY] ボタンを押さずに電源コードを抜いて、電源を切ることができます。
※ 会議が終了してすぐに移動したいときなどに便利です。
- 会議室やホールなど電源を集中管理している場所では、ボタンを押さずに電源コードを抜いたり、ブレーカーを落として電源を切ることができます。
※ 天井などで手の届かない位置に設置したときなどに便利です。



電源を切った後、すぐには電源が入りません

電源を切った後、しばらくの間は次の点灯に備え、高温になったランプを冷却しています。この間は [ON] または [ON/STAND-BY] ボタンを押しても電源は入りません。[POWER] インジケータが緑に点灯すれば電源を入れることができます。



ランプを長持ちさせるために

ランプが発光を始め、安定しない状態のまま電源を切ると、ランプの寿命を縮める原因になります。約5分以上点灯させてから電源を切ってください。電源を切るときは [STAND-BY] または [ON/STAND-BY] ボタンで操作してください。



冷却ファンについて

投映している最中、温度によりファンの回転速度が自動的に切り換わりますが、故障ではありません。

電源を入れる・切る（つづき）

パワーマネージメント機能とその働き

本機には、パワーマネージメント機能が搭載されています。

30秒以上信号が入力されず、またプロジェクターも操作されなかった場合、画面に「入力信号なし」とタイマー表示が現れ、カウントダウンを始めます。信号が入力されず、また操作されずカウントダウンが完了すると、ランプが消灯し、電力の節約とランプ寿命を助ける働きをします。

※工場出荷時は「待機・5分」に設定されています。

🔗 102 ページ

動作について

設定が「待機」のとき

- 1) タイマーのカウントダウンが完了するとランプが消灯し、ランプ冷却動作にはいります。ランプ冷却中は[LAMP]インジケータが暗く点灯し、プロジェクターの操作はできません。

※ [POWER] インジケータは消灯しています。

- 2) ランプの冷却が完了すると [POWER] インジケータが点滅を始め、パワーマネージメントモードになっていることを知らせます。([LAMP]インジケータは暗点灯中) この状態のときに、信号が入力されたりプロジェクターが操作されるとランプが点灯し、画像が投映されます。

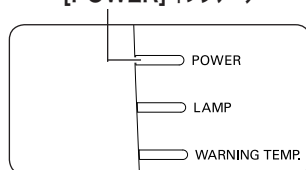
設定が「シャットダウン」のとき

- 1) タイマーのカウントダウンが完了するとランプが消灯し、ランプの冷却が始まります。ランプ冷却中は、プロジェクターの操作はできません。
- 2) ランプの冷却が完了すると、電源が切れます。



ランプ消灯までの時間

[POWER] インジケータ



パワーマネージメントモードになると、[POWER] インジケータが緑の点滅を始めます。（設定が「待機」のとき）

プロジェクターを24時間以上連続して使用する場合は24時間に一度電源を切り、1時間休ませてください。

休ませることによりランプをより長くご使用いただけます。

入力信号を選択する

「インプット 1」「インプット 2」「インプット 3」から投映するインプット（入力）を選択します。

リモコンまたは操作パネルの [INPUT] ボタン

操作パネルまたはリモコンの [INPUT] ボタンを押して、投映するインプットを選択します。 (P. 62, 63 ページ)

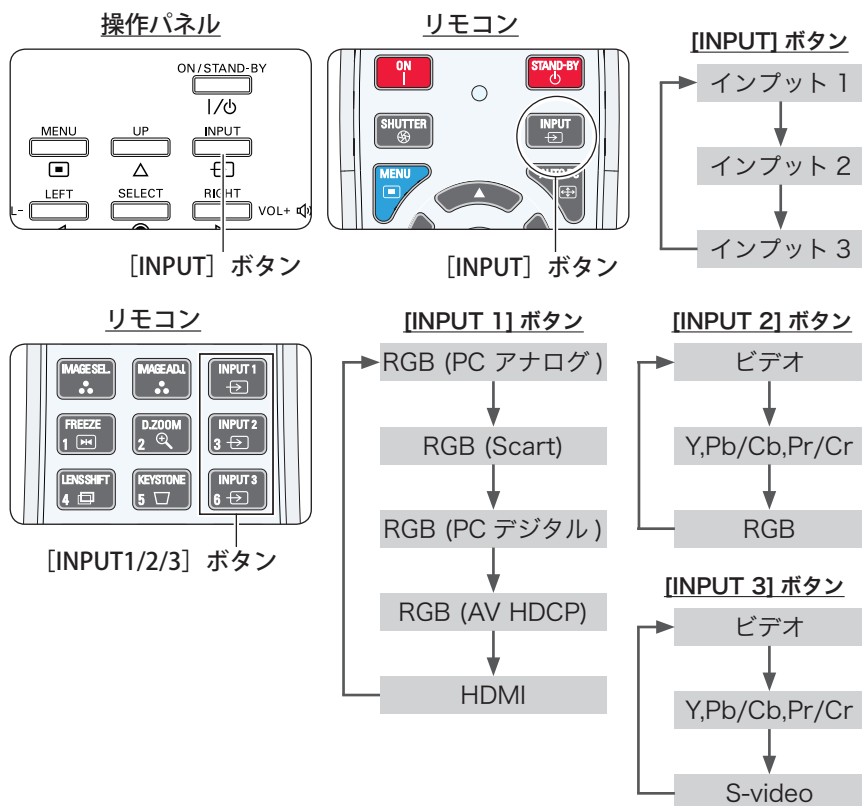
※ ただし、入力信号を選択することはできません。入力を選択したいときは、先に「入力」メニューで各インプットの入力信号を選択しておく必要があります。入力信号の選択が正しく行われていないと [INPUT] ボタンを押しても正しく投映されません。

リモコンの [INPUT 1/2/3] ボタン

ボタンを押すたびに入力信号が切り換わります。希望の入力信号になるまで押します。

※ 以下のときは [INPUT 2、3] ボタンではなく数字キーの「3、6」として働きます。

- ・ 暗証番号入力時
- ・ リモコンコード切り換え時



投映画面の調整やその他の操作

投映画面を調整する

画面の大きさを決める

[LENS]、[ZOOM] ボタン

リモコンで操作するとき


[ZOOM] ボタン上・・・画面が大きくなります。
[ZOOM] ボタン下・・・画面が小さくなります。

操作パネルで操作するとき

[LENS] ボタンを押して「ズーム」を選択します。
表示が出ている間に、
[ポイント] ボタン上・・・画面が大きくなります。
[ポイント] ボタン下・・・画面が小さくなります。

※ 以下のときは [ZOOM] ボタンではなく数字キーの「7」として働きます。
・暗証番号入力時
・リモコンコード切り換え時

ズーム

※ 表示は約4秒間出ます。
※ 「オンスクリーン表示・オフ」
( 90ページ) のときは表示されません。

フォーカスを合わせる

[LENS]、[FOCUS] ボタン

リモコンで操作するとき


[FOCUS] ボタンの上下で、画像がもっとも鮮明に映るように焦点を合わせます。

操作パネルで操作するとき

[LENS] ボタンを押して「フォーカス」を選択します。
表示が出ている間に [ポイント] ボタンの上下で、画像がもっとも鮮明に映るように焦点を合わせます。

※ 以下のときは [FOCUS] ボタンではなく数字キーの「8、0」として働きます。
・暗証番号入力時
・リモコンコード切り換え時

フォーカス

※ 表示は約4秒間出ます。
※ 「オンスクリーン表示・オフ」
( 90ページ) のときは表示されません。

レンズシフト機能で画面の位置を上下左右に動かす

[LENS]、[LENS SHIFT] ボタン

※ 以下のときは [LENS SHIFT] ボタンではなく数字キーの「4」として働きます。
・暗証番号入力時
・リモコンコード切り換え時

投映画面の調整やその他の操作（つづき）

1 リモコンで操作するとき

[LENS SHIFT] ボタンを押して「レンズシフト」を選択し、レンズシフト調整モードに入ります。画面に「レンズシフト」表示が現れます。

操作パネルで操作入力するとき

[LENS] ボタンを押して「レンズシフト」を選択し、レンズシフト調整モードに入ります。画面に「レンズシフト」表示が現れます。

2 表示が出ている間に [ポイント] ボタンの上下左右で、画面の位置を上下左右に動かします。

- ※ 移動中に上下・左右方向の矢印が赤色に変わる位置があります。その位置がレンズの左右方向の中央です。
- ※ 最大のシフト位置で矢印の表示が消えます。
- ※ レンズシフト機能で調整した内容は、電源を切っても記憶されています。
- ※ 画面位置を動かしたときは、多少画面が暗くなることがあります。
- ※ [LENS SHIFT] または [LENS] ボタンを 5 秒以上押しとレンズ位置がセンターに戻ります。



- ※ 表示は約 4 秒間出ます。
- ※ 「オンスクリーン表示」を「オフ」（ 90 ページ）に設定しているときは画面表示は出ません。

キーストーン調整（台形歪みの補正）

[KEystone] ボタン

リモコンの [KEYSTONE] ボタンを押します。ボタンを押すたびに「キーストーン（標準）」と「キーストーン（コーナー補正）」の表示が現れます。

- ※ 操作パネルに [KEYSTONE] ボタンはありません。
- ※ 以下のときは [KEYSTONE] ボタンではなく数字キーの「5」として働きます。
 - ・ 暗証番号入力時
 - ・ リモコンコード切り換え時

標準のキーストーン補正

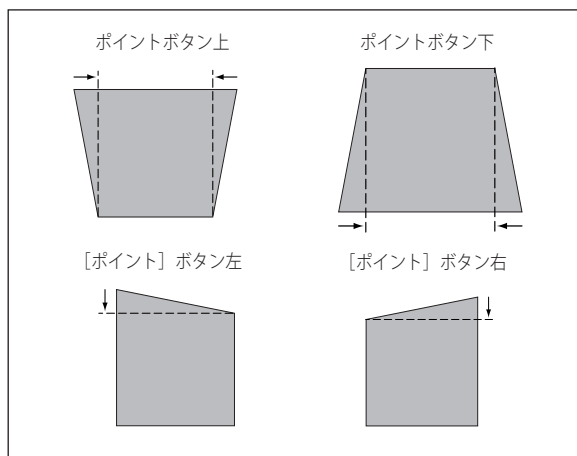
垂直・水平方向のキーストーン補正をします。表示が出ている間に [ポイント] ボタンの上下左右で画面の台形ひずみを補正します。

- 【ポイント】 ボタン上 … 画面上部の幅が縮みます。
- 【ポイント】 ボタン下 … 画面下部の幅が縮みます。
- 【ポイント】 ボタン左 … 画面左部の高さが縮みます。
- 【ポイント】 ボタン右 … 画面右部の高さが縮みます。



[KEYSTONE] ボタン

投映画面の調整やその他の操作（つづき）



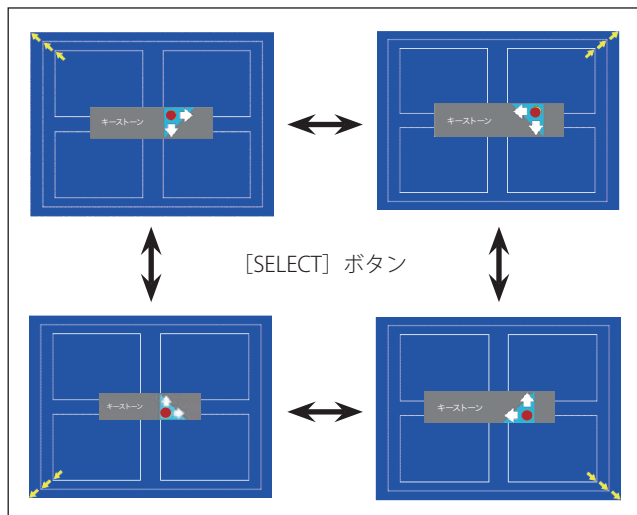
- ※ 表示は約 10 秒出ます。
- ※ 「オンスクリーン表示」を「オフ」(P.90 ページ) に設定しているときは画面表示は出ません。
- ※ 補正された方向の矢印は赤く表示されます。(無補正の場合の表示は白色です。)
- ※ 最大の補正位置で矢印の表示が消えます。
- ※ 表示が現れているあいだに、リモコンの [KEYSTONE] ボタンを 3 秒以上押すと、補正前の状態に戻ります。

コーナー補正

投映画面の角のゆがみを補正をします。

- ① 表示が出ている間に [SELECT] ボタンを押し補正する角を選択します。
※ [SELECT] ボタンを押すたびに選択されている角が右回りで切り換わります。
- ② [ポイント] ボタンの上下左右で補正します。

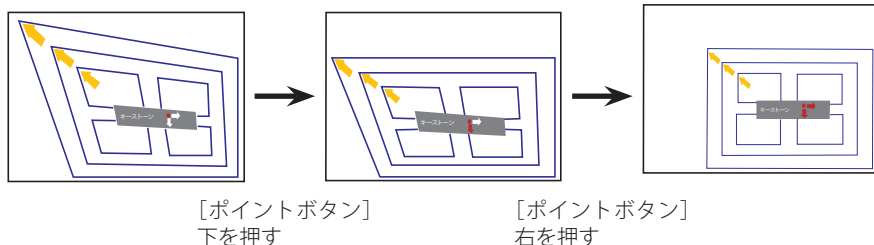
コーナー補正のイメージ



投映画面の調整やその他の操作（つづき）

- ※ 表示は約 10 秒間出ます。
- ※ 「オンスクリーン表示」を「オフ」（☞ 90 ページ）に設定しているときは画面表示は出ません。
- ※ 補正された方向の矢印は赤く表示されます。（無補正の場合の表示は白色です。）
- ※ 最大の補正位置で矢印の表示が消えます。
- ※ 表示が現れているあいだに、リモコンの [KEYSTONE] ボタンを 3 秒以上押しと、補正前の状態に戻ります。

（例）左上の角を補正する。



- ※ キーストーン調整後に「天吊り」を「オン」にすると、補正前の状態に戻ります。
- ※ キーストーン調整で補正した画面は、信号をデジタル圧縮して投映しますので、線や文字がオリジナルの画像と多少異なる場合があります。
- ※ キーストーンの補正量および補正範囲は入力信号によって異なります。
- ※ キーストーンの設定値によっては、一瞬画像が乱れることがあります。
- ※ 「スクリーン」メニュー内の「キーストーン」からも調整することができます。
☞ 84、85 ページ

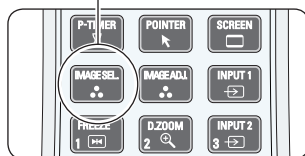
画面イメージを選択する

[IMAGE SEL.] ボタン

[IMAGE SEL.] ボタンを押すと、現在選択されている「画質モード」メニューのモードが表示され、その後ボタンを押すごとにモードが切り換わります。

- ※ 「画質モード」メニューからも調整することができます。
☞ 73、74 ページ

[IMAGE SEL.] ボタン



- ※ 表示は約 4 秒間出ます。
- ※ 「オンスクリーン表示・オフ」（☞ 90 ページ）のときは表示されません。

コンピュータ入力時

ダイナミック→標準→リアル→イメージ 1～10

ビデオ入力時

ダイナミック→標準→ナチュラル→シネマ→イメージ 1～10

投映画面の調整やその他の操作（つづき）

画像イメージを調整する

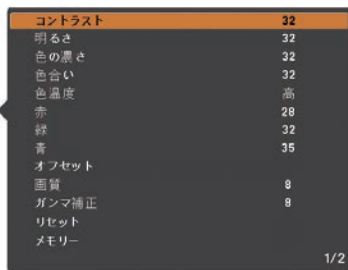
[IMAGE ADJ.] ボタン

[IMAGE ADJ.] ボタンを押すと「画質調整」メニュー（図1）が表示されます。

[POINT] ボタンの上下で調整したい項目を選択し [SELECT] ボタンを押すと調整メニュー（図2）を表示します。

※ メニュー内の項目はページを参照してください。

図1



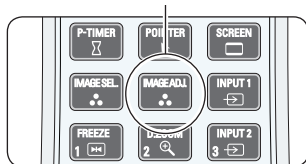
[POINT] ボタン上下

図2



- ※ [POINT] ボタンの左右：表示中の項目を調整する
- ※ [POINT] ボタンの上下：項目を順送りする

[IMAGE ADJ.] ボタン



※ 表示は約4秒間出ます。

※ 「オンスクリーン表示・オフ」 (F78 90ページ) のときは表示されません。

画面サイズを選択する

[SCREEN] ボタン

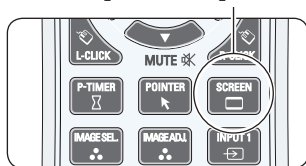
[SCREEN] ボタンを押すと、現在選択されている「スクリーン」メニューのモードが表示され、その後ボタンを押すごとにモードが切り換わります。

※ 「スクリーン」メニューからも調整することができます。

(F78 87ページ)

※ ボタンを5秒以上長押しすると「スクリーン」メニュー内の設定が工場出荷時に戻ります。

[SCREEN] ボタン



※ 表示は約4秒間出ます。

※ 「オンスクリーン表示・オフ」 (F78 90ページ) のときは表示されません。

投映画面の調整やその他の操作（つづき）

音量を調節する・一時的に消音する（MUTE）

音量

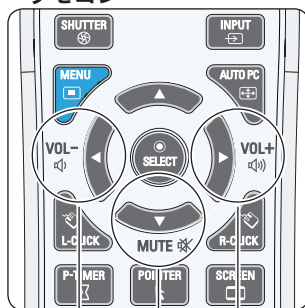
リモコンまたは操作パネルの[ポイント]ボタンの左右（VOL +/-）で音量を調節します。音量バーを目安にして調節してください。

消音

リモコンの[ポイント]ボタン下（▼MUTE）を押すと、表示が「オン」になり、一時的に音が消えます。もう一度[ポイント]ボタン下を押すか、[VOLUME]ボタン（+/-）を押すと解除され、表示が「オフ」になります。

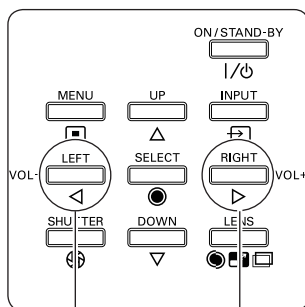
※ [MUTE] ボタンは操作パネルにはありません。

リモコン



[ポイント]ボタンの左右と[MUTE]ボタン

操作パネル



[ポイント]ボタンの左右



— 音量の目安になります。

[MUTE] ボタンを押すと「オン」「オフ」が切り換わります。

※ 表示は約4秒間出ます。

※ 「オンスクリーン表示・オフ」（ 90ページ）のときは表示されません。

投映画面の調整やその他の操作（つづき）

サウンドメニューで音を調節する

- 1 リモコンまたは操作パネルの [MENU] ボタンでメニューバーを出し、[ポイント] ボタン上下で「サウンド」メニューに合わせます。



- 2 [SELECT] ボタンまたは [ポイント] ボタン右で、サブメニュー内に入り、[ポイント] ボタン上下で項目に合わせ、[SELECT] ボタンで選択します。



※ [SELECT] ボタンまたは、[ポイント] ボタン左でサブメニューに戻ります。

音量

[ポイント] ボタン右で音量が大きくなり、[ポイント] ボタン左で音量が小さくなります。

音量のバーを目安に調節してください。

内蔵スピーカー

プロジェクター内蔵のスピーカーの「オン・オフ」の切り換えをします。

[ポイント] ボタンの上下で切り換えます。

オフ・・・内蔵スピーカーから音を出しません。

消音

[SELECT] ボタンで「オン」に切り換えると、一時的に音を消すことができます。「オフ」にすると再び音が出ます。

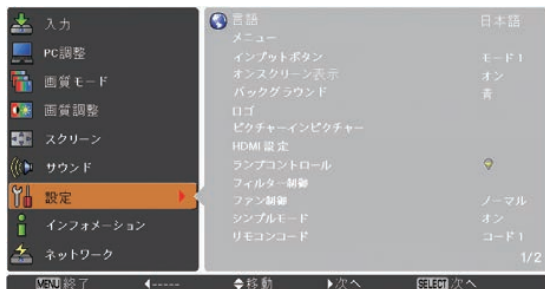
※「オン」を選択していても、「音量」の数値を変更すると、自動的に「オフ」になります。

オンスクリーンメニューの操作方法

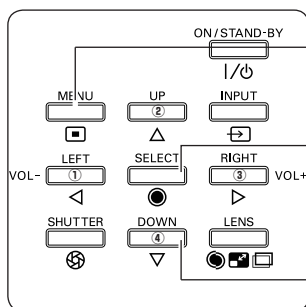
メニュー操作の基本を覚えてください

オンスクリーンメニュー（画面上のメニュー）の操作は、①ポインタを移動し、②ポインタの指す項目を選択するのが基本です。

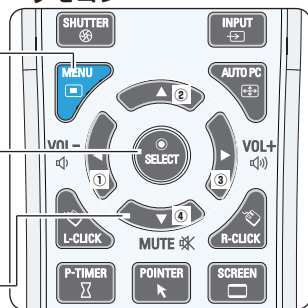
オンスクリーンメニューの例



操作パネル



リモコン



基本操作

[MENU] ボタン	オンスクリーンメニューを表示させます。
[SELECT] ボタン	ポインタの指す項目を選択します。
[ポイント] ボタン	ポインタを上下左右に動かします。

① ポインタの動かし方

ポインタは、[ポイント] ボタンで上下左右に動かします。[ポイント] ボタンはリモコンと操作パネルにあります。

② 項目の選択のしかた

ポインタの指す項目やアイコン（操作をイメージした図）を選択するには、[SELECT] ボタンを押します。[SELECT] ボタンはリモコンと操作パネルにあります。

オンスクリーンメニューの操作方法（つづき）

操作の手順

画面にメニューバーを表示させる

- 1 リモコンまたは操作パネルの [MENU] ボタンを押すと、画面上にメニューが表示されます。（下図）
メニューには選択できる項目が表示されます。


メニューを選択する

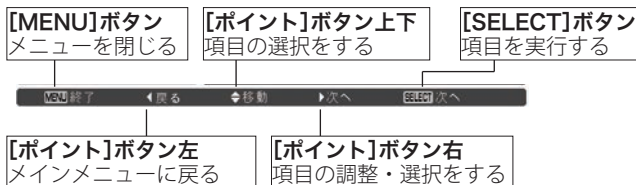
- 2 [ポイント] ボタンの上下で選択したい項目に移動させます。
表示されているメニューの右側に、選択した項目の詳細なメニュー（サブメニュー）が表示されます。

メニュー画面で調整や切り換えを行なう

- 3 [SELECT] ボタンまたは [ポイント] ボタン右でサブメニュー内に入り、調整する項目を [ポイント] ボタン上下で選択します。
- 4 上下左右の [ポイント] ボタンや [SELECT] ボタンで、調整や切換を行ないます。それぞれのメニューの調整については、各メニューの説明の項目を参照してください。また、サブメニューの次にさらに詳細な設定をするメニューが表示される項目もあります。（この説明書内では、サブメニュー1・サブメニュー2などと表現します。）

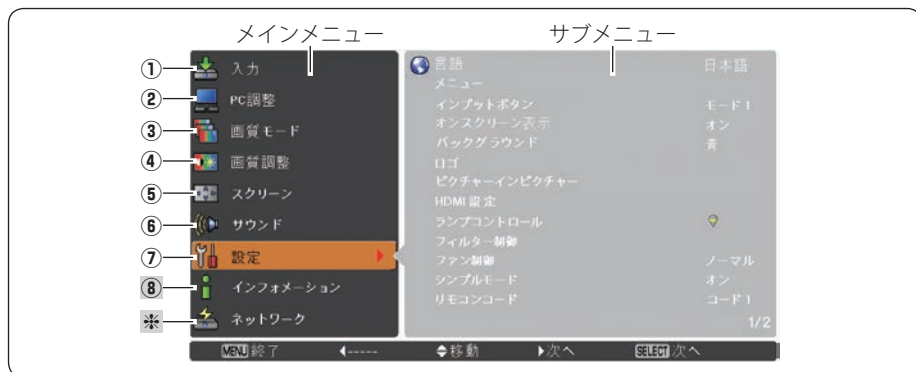


 **ガイド*** について
選択・実行するボタンを表示
しています。
右図はサブメニューのガイド



オンスクリーンメニューの操作方法（つづき）

メニュー一覧



	メインメニュー	サブメニュー
①	入力 (F 62～68 ページ) 入力信号の選択をします。	インプット 1、インプット 2、インプット 3
②	PC 調整* (F 69～72 ページ) お使いのコンピュータに合わせてシステムを調整し、カスタムモードに登録します。	自動 PC 調整、トラッキング、総ドット数、水平位置、垂直位置、コンピュータ情報、クランプ、画面領域 H、画面領域 V、リセット、データ消去、メモリー
③	画質モード (F 73、74 ページ) 画質モード選択します。	ダイナミック、標準、リアル*、ナチュラル**、シネマ**、イメージ 1～10
④	画質調整 (F 74～77 ページ) 画面のイメージをマニュアルで調整します。	コントラスト、明るさ、色の濃さ**、色合い**、アイリス、色温度、ホワイトバランス (赤/緑/青)、オフセット (赤/緑/青)、画質、ガンマ補正、ノイズリダクション**、プログレッシブ**、リセット、メモリー
⑤	スクリーン (F 78～87 ページ) 画面の大きさのモード設定をします。	ノーマル、フル、ワイド (16:9)、ズーム、リアル*、ピットリワイド**、カスタム、カスタム調整、デジタルズーム+/-*、キーストーン、天吊り、リア投影、スクリーンアスペクト、リセット
⑥	サウンド (F 54 ページ) 音量の調節や消音、スピーカー使用の切り換えをします。	音量、内蔵スピーカー、消音
⑦	設定 (F 88～113 ページ) プロジェクターの各種設定を行います。	言語、メニュー、インプットボタン、オンスクリーン表示、バックグラウンド、ロゴ、ピクチャーインピクチャー、HDMI 設定、ランプコントロール、フィルター制御、ファン制御、シンプルモード、リモコンコード、リモコン受光部、パワーマネージメント、スタンバイモード、ダイレクタオン、ポインタ、プレゼンテーションタイマー、セキュリティ、シャッター、クローズドキャプション、映像遅延制御、フィルターカウンター、テストパターン、初期設定

オンスクリーンメニューの操作方法（つづき）



	メインメニュー	サブメニュー
⑧	インフォメーション ⓘ 58、59 ページ 投射中の信号状況と設定の状況を表示します。	入力、システム（モード）、水平周波数、垂直周波数、スクリーン、言語、ランプ状態、ランプカウンター、フィルターカウンター、パワーマネージメント、キーロック、暗証番号ロック、シャッター（2種）、シンプルモード、リモコンコード、SERIAL NO.

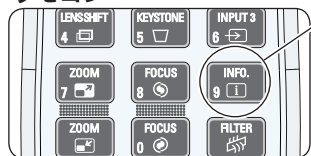
- * コンピュータ画面のときのみ表示、または選択可
- ** ビデオ画面のときのみ表示、または選択可
- * 取扱説明書の『別冊』をご覧ください。

投射中の入力信号の状況やランプの状態を確認する

「インフォメーション」で、投射中の入力信号の状況とランプの状態を画面上で確認することができます。

- 1 リモコンまたは操作パネルの [MENU] ボタンを押してメインメニューを出し、[ポイント] ボタンの上下で [インフォメーション] を選択します。
- 2 サブメニューに、以下の内容が表示されます。

リモコン



[INFO.] ボタン

リモコンの [INFO.] ボタンで直接選択、表示させることができます。

- * [INFO.] ボタンは操作パネルにはありません。
- * 以下のときは [INFO.] ボタンではなく数字キーの「9」として働きます。

- ・暗証番号入力時
- ・リモコンコード切り換え時

オンスクリーンメニューの操作方法（つづき）

インフォメーションの項目

- 入力..... 投映中の信号の種類
- システム（モード）..... 投映中のシステムモードを表示します。
- 水平周波数.....（およその目安の数値です）
- 垂直周波数.....（およその目安の数値です）
- スクリーン..... 選択中の画面サイズ
- 言語..... 選択中の言語
- ランプ状態..... 選択中のランプモード
- ランプカウンター..... ランプの実使用時間を表示します。
- フィルターカウンター..... フィルターの実使用時間を表示します。
- パワーマネージメント..... 設定内容が表示されます。
- キーロック..... キーロックの設定状況が表示されます。
- 暗証番号ロック..... 暗証番号ロックの設定状況が表示されます。
- シャッターマネージメント..... シャッターの設定状況が表示されます。（2種）
- シンプルモード..... シンプルモードの設定状況が表示されます。
- リモコンコード..... 設定されているリモコンコードを表示します。
- SERIAL NO.（英数字）

※ 二画面入力時、入力にはメイン画面の内容が表示されます。

※ ランプは交換推奨時間、フィルターは掃除推奨時間に達すると時間を赤色で表示します。

※ ランプの使用時間や、周波数などが読み取り不可能なときは「---」で表示します。

基本操作




※ 「インフォメーション」を閉じたいときは、

- ・ [ポイント] ボタンの上下を押す と他のメニューに移ります。
- ・ リモコンの [INFO.] ボタンを押すとメニュー画面ごと消えます。1/2 が表示されているときは、ボタンを2回押します。（1回のときは2/2 ページを表示します。）

[ポイントボタン] 左 ↓ ↑ [ポイントボタン] 右



 **こんなときに便利です**

プロジェクターの準備・設置などでうまく投映できないなどのときに、この画面が簡単に問題解決の手助けになります。

入力の選択・設定・調整

入力信号の選択や、メニュー画面の説明と設定の手順を説明します。

入力を切り換える	62
システムモードの選択 ～コンピュータ	65
システムモードの選択 ～ビデオ	67
PC 調整メニュー	69
投映画面の調整	73
画面サイズの選択・調整	78
設定で詳細な設定・ 調整をする	88
リモコンのボタンの 便利な機能	114

入力を切り換える

「入力」メニューで入力を切り換える

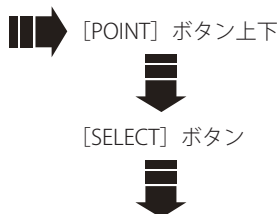
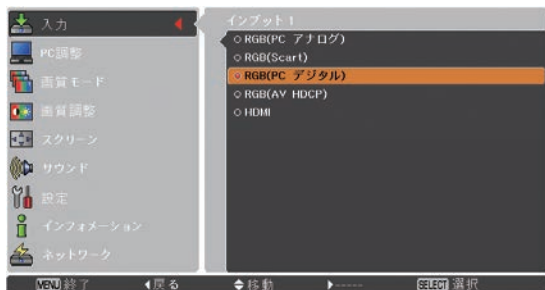
- 1 [MENU] ボタンを押してメインメニューを出し、[ポイント] ボタンの上下で「入力」メニューを選択します。



※ 赤色のボタンが現在選択されている項目です。

- 2 [SELECT] ボタンまたは [ポイント] ボタン右でサブメニュー内に入り、ポイントを投射したい入力に合わせ、[ポイント] ボタン右を押すと、信号選択メニュー(サブメニュー 2)が表示されます。

※ [SELECT] ボタンを押すと、インプットが選択されるだけになります。



- 3 信号選択メニューが表示されたら、[ポイント] ボタンの上下で信号を選択し、[SELECT] ボタンを押します。[ポイント] ボタン左でメニューに戻ります。

インプット 1

RGB (PC アナログ) INPUT 1 の [ANALOG] 端子に、コンピュータのアナログ信号が接続されているときに選択します。

RGB (Scart) INPUT 1 の [ANALOG] 端子に、映像機器の SCART 映像出力*が SCART-VGA ケーブルで接続されているときに選択します。

RGB (PC デジタル) INPUT 1 の [DIGITAL(DVI-D)] 端子に、コンピュータのデジタル信号が接続されているときに選択します。

入力を切り換える（つづき）

- RGB (AV HDCP)** INPUT 1 の [DIGITAL(DVI-D)] 端子に、HDCP 対応のデジタル映像信号が接続されているときに選択します。
- HDMI** INPUT 1 の [HDMI] 端子に、HDMI 対応のデジタル信号が接続されているときに選択します。

* SCART 21 ピン端子は、主にヨーロッパ地域で販売されているビデオ機器に備えられているビデオ出力端子で、この端子の RGB 出力をプロジェクターで見るとするには、ビデオ機器の SCART 21 ピン端子とプロジェクターの [INPUT 1 ANALOG] を専用のケーブルで接続します。[INPUT 1 ANALOG] で再生される RGB SCART 信号は 480i、575i の RGB 信号のみです。コンポジットビデオ信号は再生されません。

インプット 2

- ビデオ** INPUT 2 の [VIDEO/Y] 端子に、ビデオ信号が接続されているときに選択します。
- Y,Pb/Cb, Pr/Cr** INPUT 2 の [Y,Pb/Cb,Pr/Cr] の BNC 端子に、コンポーネントビデオ信号が接続されているときに選択します。
- RGB** INPUT 2 の [R,G,B,H/V,V] の BNC 端子に、コンピュータのアナログ信号が接続されているときに選択します。

※ 一部のアナログ RGB 信号については、RGB と判別できずに Y.Pb/Cb,Pr/Cr と認識されることがあります。このようなときは手動で「RGB」を選択してください。


インプット 3

- ビデオ** INPUT 3 の [VIDEO/Y] 端子に、ビデオ信号が接続されているときに選択します。
- Y,Pb/Cb,Pr/Cr** INPUT 3 の [Y,Pb/Cb,Pr/Cr] の RCA 端子に、コンポーネントビデオ信号が接続されているときに選択します。
- S-video** INPUT 3 の [S-VIDEO] 端子に、S 映像信号が接続されているときに選択します。


入力を切り換える（つづき）

エアフィルターおよびランプに関するお知らせ表示

インプットを切り換えした後、プロジェクターの状態により「フィルター警告」および「ランプ交換」のお知らせ表示が出ることがあります。

 120、123 ページ

※ 表示は約 4 秒間出ます。

 この表示はエアフィルターカートリッジの交換をお知らせしています。エアフィルターカートリッジの交換をせずにプロジェクターを使用し続けると、光学部品の保護のために、電源を入れてから約 3 分後に電源が自動的に切れます。



フィルター警告とランプ交換の表示

システムモードの選択 ～コンピュータ

システムモードが自動選択されます

マルチスキャンシステム

本機は接続されたコンピュータの信号を判別し、適合するシステムモード (VGA、SVGA、XGA、SXGA・・・) を自動で選択しますので、ほとんどの場合、特別な操作をせずにコンピュータ画面を投映することができます。☞ 140～144 ページ
選択されたシステムモードは、サブメニューの「システム」に表示されます。

システムモードを選択する

- 1 [MENU] ボタンを押してメニューを出し、[ポイント] ボタンの上下で「入力」メニューを選択します。
- 2 [ポイント] ボタン右でサブメニュー内に入り、ポインタを「インプット 1 (または 2)」に合わせ [SELECT] ボタンを押します。
- 3 [ポイント] ボタンの上下でポインタを、サブメニューの下方にある「システム」に合わせ、[SELECT] ボタンを押します。
システムモードを選択するサブメニュー 2 が表示されます。



⇒ [SELECT] ボタン
または
[ポイント] ボタン右



設定力
の選
整
・

- 4 [ポイント] ボタンの上下でポインタを、いずれかのモードに合わせて [SELECT] ボタンで選んでください。



⇒ [POINT] ボタン上下



[SELECT] ボタン



※ カスタムモード：お使いのコンピュータに合わせて、お客さまがマニュアルで登録したシステムモードです。☞ 69～72 ページ

システムモードの選択 ～コンピュータ（つづき）

5 [SELECT] ボタンまたは [ポイント] ボタン左でサブメニューに戻ります。

システムに表示されるメッセージ

Auto

… 接続されたコンピュータの信号に合ったシステムモードがプロジェクターに用意されていない場合、自動 PC 調整機能が働き、システムに「Auto」の表示が出ます。画像が正しく投映されないときは、お使いのコンピュータに合わせてマニュアルで調整し、「カスタムモード*」に登録してください。☞ 69～72 ページ

… コンピュータの入力信号がありません。接続を確認してください。☞ 36 ページ

モード 1

… マニュアルで登録された「カスタムモード」が選択されたとき表示されます。

HDMI 端子への接続について

プロジェクターの HDMI 端子とコンピュータをつなぐときは、以下のことにご注意ください。

- コンピュータのデジタル信号を投映するとき、コンピュータの設定によっては映像が正しく投映されないことがあります。このようなときはコンピュータの設定を確認してください。
- DVI 信号を投映するときは、ケーブルを接続し、プロジェクターの電源を入れ、入力を選択してからコンピュータを起動してください。この手順の通りに操作しないと映像が投映されないことがあります。映像が投映されないときはコンピュータを再起動してください。
- プロジェクターの電源が入っているときにケーブルを抜かないでください。一度ケーブルを抜いて、再接続したときに映像が投映されないことがあります。このようなときはコンピュータを再起動してください。

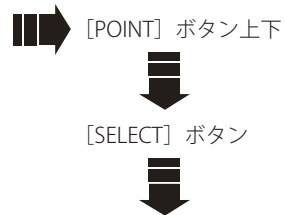
システムモードの選択 ～ビデオ

システムモードを選択する

- 1 [MENU] ボタンを押してメニューを出し、[ポイント] ボタンの上下で「入力」メニューを選択します。
- 2 [ポイント] ボタン右でサブメニュー内に入り、ポインタを「インプット 1 (または 2、3)」に合わせ [SELECT] ボタンを押します。
- 3 [ポイント] ボタンの上下でポインタを、サブメニューの下方にある「システム」に合わせ、[SELECT] ボタンを押します。
システムモードを選択するサブメニュー 2 が表示されます。



- 4 [ポイント] ボタンの上下でポインタを、いずれかのモードに合わせて [SELECT] ボタンで選んでください。



- 5 [SELECT] ボタンまたは [ポイント] ボタン左でサブメニューに戻ります。

設定力
の選
調整
・

システムモードの選択 ～ビデオ（つづき）

VIDEO または S-VIDEO 端子入力選択時

Auto（自動）

入力信号のカラーシステムにプロジェクターが自動で対応します。

※ 「PAL-M」「PAL-N」は自動選択されません。上記「1」「2」の手順で選択してください。

PAL・SECAM・NTSC・NTSC4.43・PAL-M・PAL-N

対応できるカラーシステムの一覧です。日本のカラーシステムはNTSCです。入力信号の状態が悪く、「Auto」に設定してもシステムが自動で選択されないとき（色ムラがある、色が出ないときなど）は、「NTSC」を選んでください。

コンポーネント入力選択時

Auto（自動）

入力信号の走査方式にプロジェクターが自動で対応します。

コンポーネント映像の走査方式

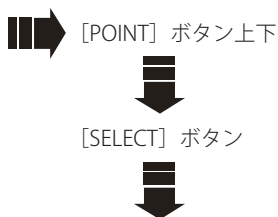
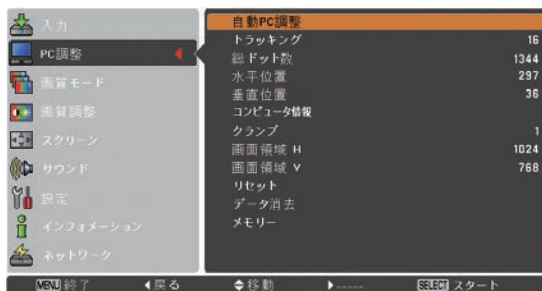
正しい映像が再生されないときは、メニューの中から正しい走査方式を選んでください。

PC 調整メニュー

メニューから調整する

自動 PC 調整

- 1 [MENU] ボタンを押してメインメニューを出し、[ポイント] ボタンの上下で「PC 調整」メニューを選択します。
- 2 [SELECT] ボタンまたは [ポイント] ボタン右でサブメニュー内に入り、ポイントを「自動 PC 調整」に合わせ、[SELECT] ボタンを押すと自動調整を実行します。



- ※ 自動 PC 調整機能で「トラッキング」「総ドット数」「水平位置」「垂直位置」のすべてを完全に調整できないコンピュータもあります。その場合は、マニュアルで調整し、「カスタムモード」に登録してください。 (P. 69～72 ページ)
- ※ 自動調整した内容を一度登録しておく、前述のシステムメニューでそのモードを選択できます。登録のしかたについては、「マニュアル PC 調整の手順 3-3、メモリー」の項目をご覧ください。
- ※ システムメニューで、480p、575p、720p、480i、575i、1035i、1080i、1080p が選択されているときは、自動 PC 調整機能は働きません。
- ※ ご使用のコンピュータまたは、信号の種類によっては、正しく映らないときがあります。

設定
の
調整
・

マニュアル PC 調整 (「カスタムモード」を登録する)

本機は、接続されたコンピュータの信号を判別し、適合するモードを自動選択しますが、コンピュータによっては自動選択できないものもあります。サブメニュー下方にある「システム」に「Auto」と表示され、画像が正しく投映されないときは、PC 調整メニューでマニュアル調整し、「カスタムモード」に登録してください。登録した「カスタムモード」は、サブメニュー 2 で選択できます。「カスタムモード」は 10 個まで登録することができます。

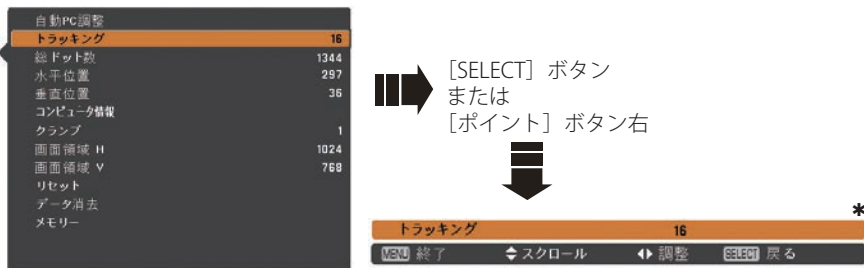
手順

- 1 [MENU] ボタンを押してメインメニューを出し、[ポイント] ボタンの上下で「PC 調整」メニューを選択します。

PC 調整メニュー（つづき）

- 2 [SELECT] ボタンまたは [ポイント] ボタン右でサブメニュー内に入り、ポインタを調整したい項目に合わせ、[SELECT] ボタンまたは [ポイント] ボタン右を押すと調整したい項目の詳細メニュー*が現れます。調整は画面を見ながら [ポイント] ボタンの左右で行ないます。

※ 詳細メニュー表示で [ポイント] ボタンの上下を押すと、調整したい項目を順送りすることができます。



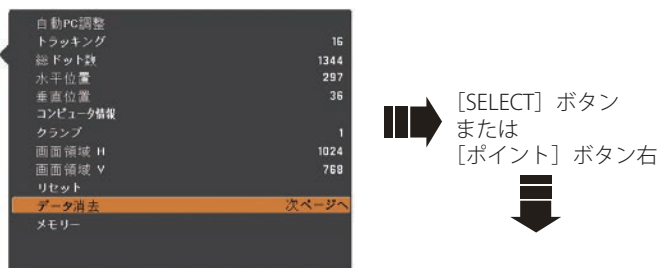
3-1 リセット

- ① ポインタを「リセット」に合わせ、[SELECT] ボタンを押すと「はい、いいえ」の確認メニューが表示されます。
- ② 「はい」を選択し [SELECT] ボタンを押すと、調整した内容をキャンセル（リセット）し、調整前の値を表示します。「いいえ」を選択し [SELECT] ボタンを押すとキャンセル（リセット）を中止することができます。

※ 自動的にサブメニューに戻ります。

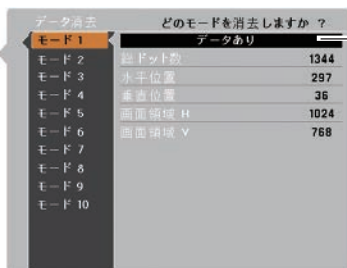
3-2 データ消去

- ① ポインタを「データ消去」に合わせ、[SELECT] ボタンまたは [ポイント] ボタン右を押すと、サブメニュー 2 に各モードの登録内容が表示されます。



PC 調整メニュー（つづき）

- ② [ポイント] ボタンの上下で消去したいモードを選択し [ポイント] ボタン右、または [SELECT] ボタンを押します。「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。



※ 登録されるとモード番号の後ろに「データあり」と表示されます。

- ③ 「はい」を選択し [SELECT] ボタンを押すと登録が解除され、サブメニュー 2 に戻ります。
※ モードの選択をやり直したいときは、「いいえ」を選択し [SELECT] ボタンを押すとサブメニュー 2 へ戻ります。登録したいモードを選び直してください。
- ④ [ポイント] ボタン左を押すとサブメニューに戻ります。

3-3 メモリー ※ 調整した項目は「メモリー」で登録しないと保存されません。

- ① ポインタを「メモリー」に合わせ、[SELECT] ボタンまたは [ポイント] ボタン右を押すと、サブメニュー 2 に各モードの登録内容が表示されます。
- ② [ポイント] ボタンの上下で登録したいモードを選択し [ポイント] ボタン右、または [SELECT] ボタンを押します。「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。
- ③ 「はい」を選択し [SELECT] ボタンを押すと登録が完了し、サブメニュー 2 に戻ります。
※ モードの選択をやり直したいときは、「いいえ」を選択し [SELECT] ボタンを押すとサブメニュー 2 へ戻ります。登録したいモードを選び直してください。
- ④ [ポイント] ボタン左を押すとサブメニューに戻ります。

項目

操作手順

- ① ポインタを項目に合わせ、[SELECT] ボタンを押すと、詳細メニューが表示されます。
- ② [ポイント] ボタンの上下で調整します。
- ③ [SELECT] ボタンまたは [ポイント] ボタン左を押すとサブメニューに戻ります。
※ 詳細メニュー表示で [ポイント] ボタンの上下を押すと、下記項目が順送りで表示されます。

PC 調整メニュー（つづき）

トラッキング

トラッキング（同期）がずれて画面のちらつきがあるときに調整します。
（0 から 31 まで）

※ コンピュータによっては、画面のちらつきが完全に消えない場合があります。

総ドット数

1 水平期間の総ドット数を調整します。

水平位置

画面の水平方向の位置を調整します。

垂直位置

画面の垂直方向の位置を調整します。

コンピュータ情報

現在接続しているコンピュータの水平周波数と垂直周波数の値を表示します。

クランプ

クランプ位置を調整します。

投射している映像に暗い線が出ているときに使います。

画面領域 H

水平解像度を調整します。

[ポイント] ボタンの左右でコンピュータの水平解像度に合わせて調整してください。

画面領域 V

垂直解像度を調整します。

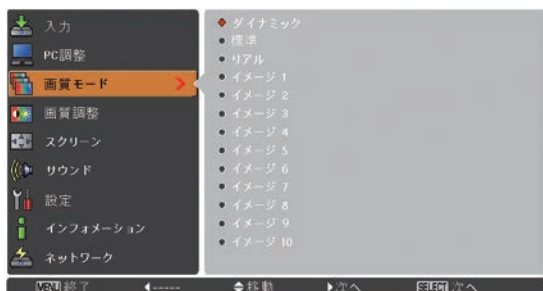
[ポイント] ボタンの左右でコンピュータの垂直解像度に合わせて調整してください。

※ システムメニューで 480p、575p、720p、480i、575i、1035i、1080i、1080p のシステムモードが選択されているときは、「画面領域 H/V」の調整はできません。

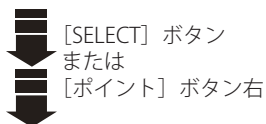
投映画面の調整

画質モードで画像イメージを選択する

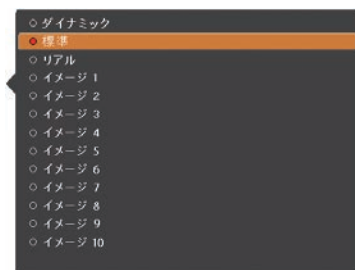
- 1 [MENU] ボタンを押してメインメニューを出し、[ポイント] ボタンの上下で「画質モード」メニューを選択します。
- 2 [SELECT] ボタンまたは [ポイント] ボタン右でサブメニュー内に入り、好みのモードに合わせ、[SELECT] ボタンを押します。



※ 赤色のボタンが現在選択されている項目です。



[SELECT] ボタン
または
[ポイント] ボタン右



[POINT] ボタン上下

[SELECT] ボタン



ダイナミック

「標準」よりもメリハリの効いた画質を再現することができます。

標準

「画質調整」メニューの項目が、工場出荷時の設定値になります。

投映画面の調整（つづき）

リアル ※ コンピュータ入力時のみ選択できます。

このモードは中間調が明るめに補正されるため、明るい場所での見栄えが改善されます。

ナチュラル ※ ビデオ入力またはコンポーネント入力時のみ選択できます。

映像をより自然な色味・階調表現で再現する画質です。

シネマ ※ ビデオ入力またはコンポーネント入力時のみ選択できます。

映画を見るのに適した、階調表現を重視した画質です。

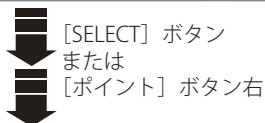
イメージ 1～10 ※ コンピュータ、ビデオのそれぞれで登録できます。

イメージ調整メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。

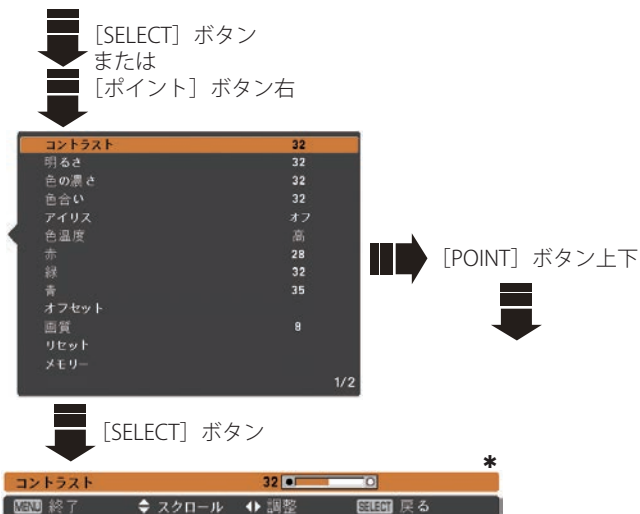
画質調整で画像イメージを調整する

手順

- 1 [MENU] ボタンを押してメインメニューを出し、[ポイント] ボタンの上下で「画質調整」メニューを選択します。
- 2 [SELECT] ボタンまたは [ポイント] ボタン右でサブメニュー内に入り、ポイントを調整したい項目に合わせ、[SELECT] ボタンを押すと調整したい項目の詳細メニュー（次ページ*図）が現れます。調整は画面を見ながら [ポイント] ボタンの左右で行ないます。



投映画面の調整 (つづき)



- ※ [ポイント] ボタンの左右：表示中の項目を調整する
- ※ [ポイント] ボタンの上下：項目を順送りする

3-1 リセット

- ① ポインタを「リセット」に合わせ、[SELECT] ボタンを押すと、「はい、いいえ」の確認メニューが表示されます。
- ② 「はい」を選択し [SELECT] ボタンを押すと、調整した内容をキャンセル（リセット）し、調整前の値を表示します。「いいえ」を選択し [SELECT] ボタンを押すとキャンセル（リセット）を中止することができます。
※ 自動的にサブメニューに戻ります。

3-2 メモリー ※ 調整した項目は「メモリー」で登録しないと保存されません。

- ① ポインタを「メモリー」に合わせ、[SELECT] ボタンまたは [ポイント] ボタン右を押すと、サブメニュー 2 に「イメージ 1～4」の登録内容が表示されます。
- ② [ポイント] ボタンの上下で登録したいモードを選択し [ポイント] ボタン右、または [SELECT] ボタンを押します。「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。
- ③ 「はい」を選択し [SELECT] ボタンを押すと登録が解除され、サブメニュー 2 に戻ります。
※ モードの選択をやり直したいときは、「いいえ」を選択し [SELECT] ボタンを押すと「ユーザーイメージ登録画面」へ戻ります。登録したいモードを選び直してください。

投映画面の調整 (つづき)

項目

操作手順

- ① ポインタを項目に合わせ、[SELECT] ボタンを押すと、詳細メニューが表示されます。
 - ② [ポイント] ボタンの左 (◀) 右 (▶) で調整します。
 - ③ [SELECT] ボタンを押すとサブメニューに戻ります。
- ※ 詳細メニュー表示で [ポイント] ボタンの上下を押すと、下記項目が順送りに表示されます。

コントラスト

◀ うすくなる ▶ こくなる (0 ~ 63)

明るさ

◀ 暗くなる ▶ 明るくなる (0 ~ 63)

色の濃さ

◀ うすくなる ▶ こくなる (0 ~ 63)

※ ビデオ入力またはコンポーネント入力時のみ調整できます。

色合い

◀ 紫がかかる ▶ 緑がかかる (0 ~ 63)

※ ビデオ入力またはコンポーネント入力時のみ調整できます。

※ カラーシステムが PAL、SECAM、PAL-M、PAL-N のときは、「色合い」の調整はできません。

アイリス

「オン」でアイリス機能を動作させます。

※ 画面全体の明るさが暗めのときに、黒を引き締め、コントラストが濃くなるように動作します。

色温度

◀ 超低へ ▶ 高へ (超低—低—中—高)

※ 超低 (赤みがかかる) ~ 高 (青みがかかる)

※ この項目を調整すると「ホワイトバランス」の調整値も変化します。

※ 「ホワイトバランス」(赤/緑/青のどれか1つでも)の調整をすると「調整中」と表示されます。

ホワイトバランス(赤/緑/青)

◀ うすくなる ▶ こくなる (各色 0 ~ 63)

投映画面の調整（つづき）

オフセット（赤/緑/青）

映像の中の暗い部分の「赤/緑/青」を調整することができます。（各色 0～63）

画質

◀ やわらかい ▶ くっきり（0～31）

ガンマ補正

[ポイント] ボタンの左右で映像の白レベルから黒レベルまでのコントラストバランスを調整します。（0～15）

ノイズリダクション

古いビデオやノイズの多い映像を見るとき、ザラつき（ノイズ）が軽減されます。

オフ …… ノイズのない映像を見るときは「オフ」に設定してください。

オン …… ノイズの多い映像を見るとき「オン」にすると、ザラつき（ノイズ）が軽減されます。

※ 入力信号が 1080p のときはグレーで表示され選択できません。

プログレッシブ

オフ …… 動きの多い映像でチラツキや横線が目立つときは「オフ」に設定してください。

オン …… プログレッシブ スキャンを「ON」にします。

フィルム …… 「3-2 プルダウン / 2-2 プルダウン」された映画を投映するときに、映画の質感を損なわずに再生できます。

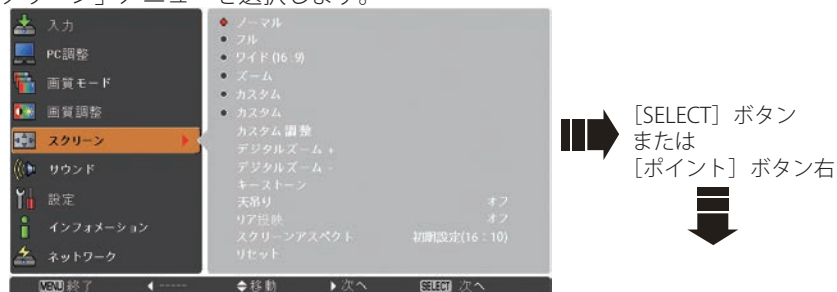
※ 「プログレッシブ」はビデオ信号入力の 480i、575i、1035i、1080i のときに設定できます。

※ 「オン」「オフ」「フィルム」の切り換えの際、一瞬画像が乱れます。

画面サイズの選択・調整

お好みにより、画面サイズを変えることができます。

- 1 [MENU] ボタンを押してメインメニューを出し、[ポイント] ボタンの上下で「スクリーン」メニューを選択します。



※ 赤色のボタンが現在選択されている項目です。

- 2 [SELECT] ボタンまたは [ポイント] ボタン右でサブメニュー内に入り、スクリーンモードを選択し、[SELECT] ボタンまたは [ポイント] ボタン右を押します。
※ リモコンの [SCREEN] ボタンで直接選択、表示させることができます。☞ 52 ページ

スクリーンメニュー

スクリーンメニュー (コンピュータ入力時)

ノーマル

入力信号のアスペクト比を保ったまま、表示できる最大の大きさで表示します。

フル

フルスクリーンサイズで投射します。

※ 入力信号がないときはグレーで表示され選択できません。

ワイド(16:9)

アスペクト比、横 16:縦 9 のワイド画面で投射します。

※ 入力信号がないときはグレーで表示され選択できません。

※ 「スクリーンアスペクト」で「16:9」を選択しているときはグレーで表示され選択できません。

ズーム

「スクリーンアスペクト」で設定したアスペクト比いっぱいに投射します。

※ 入力信号が設定より横に長いときは左右が、縦に長いときは上下の映像が切れます。

※ 入力信号がないときはグレーで表示され選択できません。

画面サイズを選択・調整（つづき）

リアル

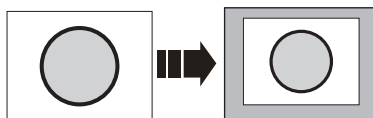
*1920 × 1200 ドット

画像をオリジナルサイズで投射します。

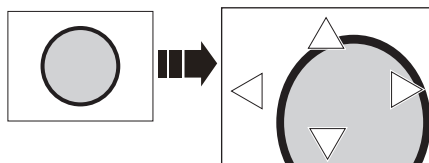
※ 入力信号がないときはグレーで表示され選択できません。

- ① 画像サイズがパネル解像度 * よりも小さいときは、画面の中央に投射し、画面左上に「リアル」の表示が現れます。
- ② 画像サイズがパネル解像度 * と同じときは、画面の左上に「リアル」の表示が現れますが、その後「ノーマル」で投射されます。
- ③ 画像サイズがパネル解像度 * よりも大きいときは、画面の左上に「リアル」の表示が現れ、画面の上下左右に△が表示されます。[ポイント] ボタンの上下左右で画像を移動させます。

パネル解像度 * より小さいとき



パネル解像度 * より大きいとき



※ 補正された方向の矢印は赤く表示されます。

※ 最大の補正位置で矢印の表示が消えます。

カスタム

「カスタム調整」で調整したモードで投射します。

※ 入力信号がないとき「カスタム」は選択できますが「ノーマル」で表示されます。

カスタム調整

水平と垂直の、スケールおよび位置を調整します。（操作手順は 82、83 ページ）

デジタルズーム+

「デジタルズーム+」を選択するとメニューバーが画面から消え、「D.zoom +」表示が現われます。

[SELECT] ボタンを押すごとに画像が拡大します。

[ポイント] ボタンの上下左右で画像を移動させます。

画像の移動機能は、画像サイズがパネル解像度 * よりも大きいときのみ働きます。

デジタルズーム-

「デジタルズーム-」を選択するとメニューバーが画面から消え、「D.zoom -」表示が現われます。

[SELECT] ボタンを押すごとに画像が縮小します。

[ポイント] ボタンの上下左右で画像を移動させます。

画像の移動機能は、パネル解像度 * よりも大きいときのみ働きます。

画面サイズの選択・調整（つづき）

- ※ 入力信号がないときは「デジタルズーム + / -」はグレーで表示され選択できません。
- ※ 「リアル」を選択しているとき、「デジタルズーム + / -」は選択することができません。
- ※ 「デジタルズーム + / -」から抜けるときは [D.ZOOM、SELECT、ポイント] 以外のボタンを押します。
- ※ 「カスタム」を選択しているときは「デジタルズーム -」は「ノーマル」の画面の大きさ以下への縮小ができません。
- ※ PC 調整メニューでマニュアル調整した「カスタムモード」をコンピュータのシステムモードに使用しているときは、「デジタルズーム -」モードのときの画像の移動機能は正しく働かないことがあります。
- ※ システムモード (☰ 65、66 ページ) で「VGA、SVGA、SXGA、WXGA、UXGA」が選択されていて、上部への「キーストーン」調整が最大値のとき、「デジタルズーム -」が正しく働かないことがあります。
- ※ 「スクリーンアスペクト」で「16:9、4:3」を選択しているときは「デジタルズーム + / -」はグレーで表示され選択できません。

キーストーン

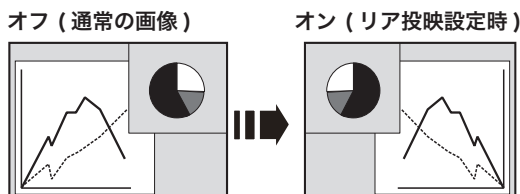
画面の台形ひずみを補正する機能です。(操作手順は 84、85 ページ)

天吊り

この機能を「オン」にすると、画像の上下左右を反転して投射します。天井から逆さに吊り下げて設置するときに設定します。

リア投射

この機能を「オン」にすると、画像の左右を反転して投射します。透過型スクリーンの後ろから投射するときに設定します。



スクリーンアスペクト

入力信号にかかわらず、選択されたスクリーンアスペクトで投射します。(操作手順は 86 ページ)

リセット

「スクリーン」メニュー内で設定したすべての内容が工場出荷時に戻ります。(操作手順は 86 ページ)

画面サイズの選択・調整（つづき）

スクリーンメニュー（ビデオ系入力時）

ノーマル

入力信号のアスペクト比を保ったまま、表示できる最大の大きさで表示します。

フル

フルスクリーンサイズで投映します。

※ 入力信号がないときはグレーで表示され選択できません。

ワイド(16:9)

アスペクト比、横 16 : 縦 9 のワイド画面で投映します。スクイーズ信号（横 16 : 縦 9 の映像を、横 4 : 縦 3 に横方向に圧縮した信号）が適正なサイズで見ることができ設定です。

ズーム

「スクリーンアスペクト」で設定したアスペクト比いっぱい投映します。

※ 入力信号が設定より横に長いときは左右が、縦に長いときは上下の映像が切れます。

※ 入力信号がないときはグレーで表示され選択できません。

ピットリワイド

中心部はあまり変えずに左右を拡大し自然な映像になるように投映します。

（横 16 : 縦 9）

※ 入力信号がないときはグレーで表示され選択できません。

※ 「スクリーンアスペクト」で「16 : 9、4 : 3」を選択しているときはグレーで表示され選択できません。

カスタム

「カスタム調整」で調整したモードで投映します。

※ 入力信号がないとき「カスタム」は選択できますが「ノーマル」で表示されます。

カスタム調整

水平と垂直の、スケールおよび位置を調整します。（操作手順は 82、83 ページ）

キーストーン

画面の台形ひずみを補正する機能です。（操作手順は 84、85 ページ）

天吊り

この機能を「オン」にすると、画像の上下左右を反転して投映します。天井から逆さに吊り下げて設置するときに設定します。

画面サイズを選択・調整（つづき）

リア投映

この機能を「オン」にすると、画像の左右を反転して投映します。
透過型スクリーンの後ろから投映するときに設定します。

スクリーンアスペクト

入力信号にかかわらず、選択されたスクリーンアスペクトで投映します。
（操作手順は 86 ページ）

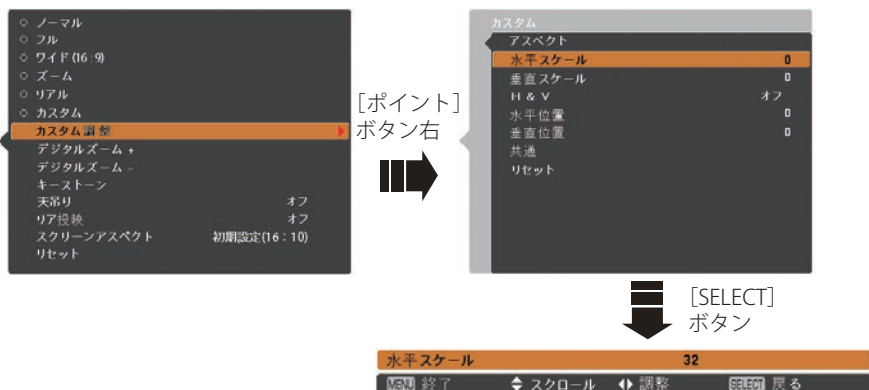
リセット

「スクリーン」メニュー内で設定したすべての内容が工場出荷時に戻ります。
（操作手順は 86 ページ）

操作手順（カスタム調整・キーストーン・スクリーンアスペクト・リセット）

カスタム調整

- 1 [ポイント] ボタン右を押します。
※ [SELECT] ボタンを押すとスクリーンモードの「カスタム」を選択することになります。
- 2 サブメニュー 2 の調整画面が表示されます。
- 3 [ポイント] ボタンの上下で項目を選択し、[SELECT] ボタンまたは [ポイント] ボタン右を押すと詳細メニューが表示されます。



※ 「H&V」は [SELECT] ボタン押して、サブメニュー 2 上で調整します。

※ 詳細メニュー表示で [ポイント] ボタンの上下を押すと、「H&V、共通、リセット」以外のメニューが順送りで表示されます。

- 4 [ポイント] ボタンの左右で調整し、[SELECT] ボタンまたは [ポイント] ボタンの左でサブメニューに戻ります。

画面サイズの設定・調整（つづき）

- ※ 無信号時はグレーで表示され選択できません。
- ※ 無信号時は「アスペクト調整」の調整値は反映されません。
- ※ 調整中に無信号になると、調整値は保持されますが、「アスペクト調整」画面は消えます。

水平スケール

水平のスケールを調整します。

[SELECT] ボタンを押して設定画面に入り、[ポイント] ボタンの左右で調整します。

[SELECT] ボタンでサブメニューに戻ります。

垂直スケール

垂直のスケールを調整します。

[SELECT] ボタンを押して設定画面に入り、[ポイント] ボタンの左右で調整します。

[SELECT] ボタンでサブメニューに戻ります。

H&V

垂直および水平のスケールを調整するときに、垂直と水平のスケールを連動させ、映像のアスペクトを保持したままスケール調整をするときに「オン」を選択します。

[SELECT] ボタンを押すと、▲▼がサブメニュー 2 上に表示されます。[ポイント] ボタンの上下で「オン・オフ」を選択します。[SELECT] ボタンまたは [ポイント] ボタン左でサブメニュー 2 に戻ります。

※ 「水平スケール」で調整し、数値の変化に合わせて「垂直スケール」の数値も変化します。

水平位置

水平位置を調整します。

[SELECT] ボタンを押して設定画面に入り、[ポイント] ボタンの左右で調整します。

[SELECT] ボタンでサブメニューに戻ります。

垂直位置

垂直位置を調整します。

[SELECT] ボタンを押して設定画面に入り、[ポイント] ボタンの左右で調整します。

[SELECT] ボタンでサブメニューに戻ります。

共通

調整した内容を全ての入力に反映します。*

[SELECT] ボタンを押すと「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。「はい」を選択し [SELECT] ボタンを押すと登録されます。
(自動的にサブメニューに戻ります。)

リセット

調整した内容を全てリセットします。

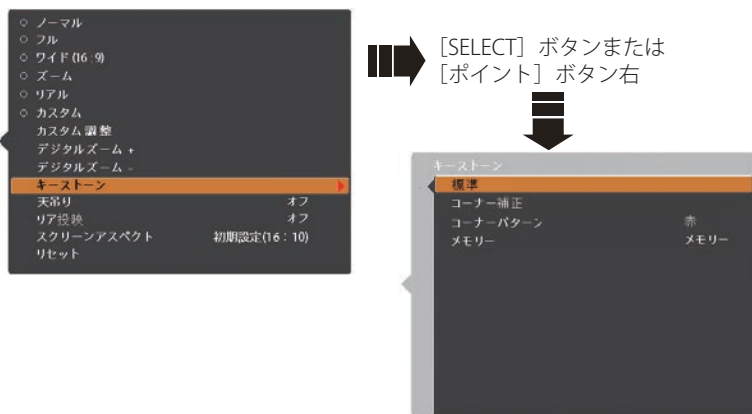
[SELECT] ボタンを押すと「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。「はい」を選択し [SELECT] ボタンを押すとリセットされます。
(自動的にサブメニューに戻ります。)

** たとえば、コンピュータ入力で「水平スケール」を「0」から「2」に変えて登録したとき、ビデオ入力で「カスタム」を表示させたときに「水平スケール」に「2」が表示されているということです。

画面サイズを選択・調整（つづき）

キーストーン

- 1 ポインタを「キーストーン」に合わせて [SELECT] または [ポイント] ボタン右を押します。
- 2 サブメニュー 2 の調整画面が表示されます。



- 3 [ポイント] ボタンの上下で項目を選択し、[SELECT] ボタンまたは [ポイント] ボタン右を押すと詳細メニューが表示されます。
- 4 [ポイント] ボタンの上下左右で調整し、[SELECT] ボタンまたは [ポイント] ボタン左でサブメニューに戻ります。

標準

垂直・水平方向のキーストーン補正をします。

[SELECT] ボタンを押すと、画面からメニュー表示が消えて「キーストーン」表示が現れます。[ポイント] ボタンの上下左右で画面の台形ひずみを補正します。



- ※ 表示は約 4 秒間出ます。
- ※ 「オンスクリーン表示・オフ」(☑ 90 ページ) のときは表示されません。
- ※ 補正された方向の矢印は赤く表示されます。(無補正の場合の表示は白色です。)
- ※ 最大の補正位置で矢印の表示が消えます。
- ※ 表示が現れているあいだに、リモコンの [KEYSTONE] ボタンを押すと、補正前の状態に戻ります。

コーナー補正

映画面の角のゆがみを補正をします。☑ 50、51 ページ

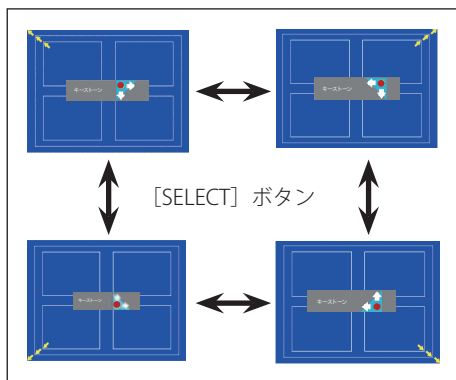
- ① [SELECT] ボタンを押すと、画面からメニュー表示が消えて「コーナー補正バー」と「コーナーパターン」が表示されます。[SELECT] ボタンを押し、補正する角を選択します。

画面サイズの変更・調整（つづき）

※ [SELECT] ボタンを押すたびに選択されている角が右回りで切り換わります。

② [ポイント] ボタンの上下左右で補正します。

コーナー補正のイメージ



※ 表示は約 10 秒間出ます。

※ 「オンスクリーン表示」を「オフ」(90 ページ) に設定しているときは画面表示は出ません。

※ 補正された方向の矢印は赤く表示されます。(無補正の場合の表示は白色です。)

※ 最大の補正位置で矢印の表示が消えます。

※ 表示が現れているあいだに、リモコンの [KEYSTONE] ボタンを 3 秒以上押しすと、補正前の状態に戻ります。

コーナーパターン

コーナー補正をするときに表示する、コーナーパターンのモードを選択します。

投映中の映像に合わせて、コーナーパターンの表示が見えやすくなる色を選択します。

[SELECT] ボタンを押して設定画面に入り、[ポイント] ボタンの上下で選択します。

赤 ... コーナーパターンを赤で表示。

白 ... コーナーパターンを白で表示。

青 ... コーナーパターンを青で表示。

オフ ... コーナーパターンを表示しない。

メモリー

補正した状態を保存します。

[ポイント] ボタンの上下で「リセット」または「メモリー」を選択し、[SELECT] ボタンを押して決定します。

メモリー ... 電源コードを抜いても調整した状態を記憶します。

リセット ... 電源コードを抜くと調整した状態がリセットされます。

※ 「標準」または「コーナー補正」のいずれか、メモリーを実行するときの状態を保存します。

たとえば、「標準」で補正しメモリーした後に「コーナー補正」を補正して、メモリーを実行したときは「標準」はリセットされ、「コーナー補正」の補正状態を保存します。

※ リモコンの [KEYSTONE] ボタンからも「標準」と「コーナー補正」の調整ができます。

90 49～51 ページ

画面サイズを選択・調整（つづき）

スクリーンアスペクト

[SELECT] ボタンを押すと、▲▼がサブメニュー上に表示されます。[ポイント] ボタンの上下で選択します。[SELECT] ボタンまたは [ポイント] ボタン左で、サブメニューに戻ります。

初期設定 (16:10) …… 16:10 スクリーンオリジナル

16:9 …… 16:9 スクリーン固定

4:3 …… 4:3 スクリーン固定

リセット

- 1 ポインタを「リセット」に合わせて [SELECT] ボタンを押します。
- 2 「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。
- 3 「はい」を選択し [SELECT] ボタンを押すと、調整した内容をキャンセル（リセット）し、調整前の値を表示します。「いいえ」を選択し [SELECT] ボタンを押すとキャンセル（リセット）を中止することができます。

※ 自動的にサブメニューに戻ります。

※ リモコンの [SCREEN] ボタンを5秒以上押ししても、リセットされません。☞ 52 ページ

画面サイズを選択・調整（つづき）

投映画面の一覧

※ 下表は「スクリーンアスペクト」が「初期設定（16：10）」のときのイメージです。
 実際の投映画面（画像）とは異なる場合があります。

入力信号	コンピュータ 16:10 WUXGA 1920 x 1200	コンピュータ 4:3 XGA 1024 x 768	4:3 コンポジット・ビデオ・ 480i・480p・575i・575p	16:9 ビデオ 720p・1080i・1080p
元の信号（画像）				
スクリーンモード	ノーマル			
	フル			
	ワイド 16:9			
	ズーム			
	リアル			
	ピッタリワイド			

※「スクリーンアスペクト」が「16:9」または「4:3」のときは、設定したアスペクトにしたがって画面が調整されます。

※「リアル」はコンピュータ入力のおきのみ、「ピッタリワイド」はビデオ入力のおきのみメニューに表示されます。

設定で詳細な設定・調整をする

- 1 [MENU] ボタンを押してメインメニューを出し、[ポイント] ボタンの上下で「設定」メニューを選択します。



⇒ [SELECT] ボタンまたは [ポイント] ボタン右



- 2 [SELECT] ボタンまたは [ポイント] ボタン右でサブメニュー内に入ります。[SELECT] ボタンや「ポイント」ボタンの右で、選んだ項目の設定の切り換えを行ないます。

※ 項目によっては、詳細なサブメニュー 2 が出ます。



言語

画面表示の言語を切り換える機能です。英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、オランダ語、スウェーデン語、ロシア語、中国語、韓国語、日本語の 12 か国語の中から選べます。

- ① [SELECT] ボタンを押すと、サブメニュー 2 (言語選択メニュー) が表示されます。
- ② [ポイント] ボタンの上下で選択します。[SELECT] ボタンで決定します。
- ③ [ポイント] ボタン左でサブメニュー 2 に戻ります。

設定で詳細な設定・調整をする（つづき）

メニュー

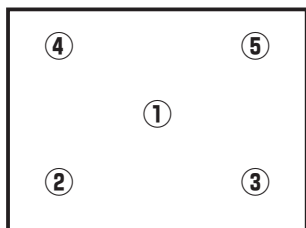
オンスクリーンメニューの表示についての設定を変えることができます。

- ① [SELECT] ボタンを押すと、サブメニュー 2 が表示されます。
- ② [ポイント] ボタンの上下で選択します。[SELECT] ボタンで決定します。
- ③ [ポイント] ボタン左でサブメニューに戻ります。

ポジション

メニューが表示される位置を調整する機能です。

- ① [SELECT] ボタンを押すと、矢印がサブメニュー 2 上に表示されます。
- ② [ポイント] ボタンの上下左右で選択します。
[SELECT] ボタンまたは 10 秒以上操作しないしていると、サブメニュー 2 に戻ります。
※ メニュー位置を変更しても表示位置が移動しないメニューもあります。



[SELECT] ボタンを押すたびに、図の番号順にメニュー画面が移動します。

メニューサイズ

オンスクリーンメニューの大きさを変えることができます。
「倍角」を選択すると通常より 2 倍の大きさで表示されます。

- ① [SELECT] ボタンを押すと、▲▼がサブメニュー 2 上に表示されます。
- ② [ポイント] ボタンの上下で選択します。[ポイント] ボタン左でサブメニューに戻ります。

※ 「スクリーン」メニューの「スクリーンアスペクト」で「4:3」を選択しているときは、グレーで表示され選択できません。

また、「倍角」を選択しているときに「スクリーンアスペクト」で「4:3」を選択したときは、メニューサイズは「ノーマル」になります。「4:3」以外に選択し直すと、「倍角」に戻ります。

入力ボタン

リモコンと操作パネルの入力ボタンの動作について設定します。

- ① [SELECT] ボタンを押すと、サブメニュー 2 が表示されます。
- ② [ポイント] ボタンの上下で選択します。[SELECT] ボタンで決定します。
- ③ [ポイント] ボタン左でサブメニュー 2 に戻ります。

設定で詳細な設定・調整をする（つづき）

モード 1 … 通常の「入力」の動作。

モード 2 … 以下のときに「自動入力切換」が作動。

リモコンまたは操作パネルの [INPUT] ボタンを押したとき。

モード 3 … 以下のときに「自動入力切換」が作動。

① リモコンの [ON] または操作パネルの [ON/STAND-BY] ボタンで電源を入れたとき。

② リモコンまたは操作パネルの [INPUT] ボタンを押したとき。

③ プロジェクターが動作中に選択している信号が入力されなくなったとき。

※ オンスクリーンメニューが表示されているときに信号が入力されなくなったときは自動入力切換は作動しません。その後メニューを消しても作動しません。

※ 「モード 3」設定時に、「FREEZE」または [SHUTTER] 実行中に信号が入力されなくなったときは、それぞれが解除されてから検出動作を開始します。

オンスクリーン表示

画面表示を出す・出さないを選択する機能です。

- ① [SELECT] ボタンを押すと、▲▼がサブメニュー上に表示されます。
- ② [ポイント] ボタンの上下で選択します。
- ③ [SELECT] ボタンまたは [ポイント] ボタン左で、サブメニューに戻ります。

オフ … 以下の画面表示以外は出しません。

- メニュー表示 (☞ 57、58 ページ)
- 電源を切るときの、「もう 1 度押すと電源が切れます」の表示 (☞ 45 ページ)
- プレゼンテーションタイマーのタイマー表示 (☞ 104 ページ)
- 自動 PC 調整の「しばらくお待ち下さい」の表示
- パワーマネジメント時のタイマー表示
- 画面サイズがパネル解像度 (1920 × 1200 ドット) より大きいとき表示される「△」の矢印 (☞ 79 ページ)
- シンプルモードなどが設定されているときに対象外のボタンを押したときに表示されるエラーメッセージ
- ピクチャーインピクチャー設定時の 2 画面赤枠表示
- キーストーンの「コーナーパターン」表示

カウントダウンオフ … ランプ点灯後、約 30 秒間のカウントダウンを表示せず、すぐに投映します。

投映画面が少し暗くても早く映像を投映したいときに選択します。

オン … すべての画面表示を出します。

ある程度投映画面が明るくなってから、映像を投映したいときに選択します。

設定で詳細な設定・調整をする（つづき）

バックグラウンド

信号のないときの背景画面（「青 / ユーザー / 黒」）を選択します。

- ① [SELECT] ボタンを押すと、▲▼がサブメニュー上に表示されます。
- ② [ポイント] ボタンの上下で選択します。
- ③ [SELECT] ボタンまたは [ポイント] ボタン左で、サブメニューに戻ります。

※ 画像の再生前や中断時のノイズの画面を映さずに選択した画面を投映するのに便利です。

※ 「ユーザー」はキャプチャー機能で取り込んだ画像を表示します。

※ キャプチャー画像が無いときは、「ユーザー」は選択できません。

ロゴ

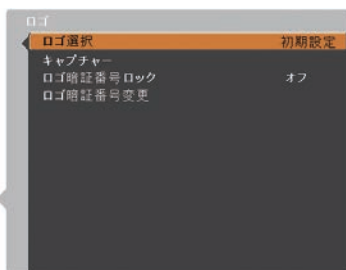
ロゴ選択、画面のキャプチャー、ロゴ選択の暗証番号の設定をします。

- ① [SELECT] ボタンを押すと、サブメニュー 2 が表示されます。
- ② [SELECT] ボタンを押すと、▲▼がサブメニュー 2 上に表示されます。
- ③ [ポイント] ボタンの上下で選択します。
- ④ [SELECT] ボタンまたは [ポイント] ボタン左で、サブメニューに戻ります。

※ 「ロゴ暗証番号ロック」が「オン」のときは、「ロゴ選択」と「キャプチャー」は設定できません。

ロゴ選択

電源を入れたときのロゴ表示を選択することができます。



オフ …… ロゴ表示を画面に出しません。

ユーザー …… キャプチャー機能で取り込んだ画像を表示します。

初期設定 …… 工場出荷時の設定を表示します。

※ キャプチャー機能で取り込んだ画像がないときは「ユーザー」は選択できません。

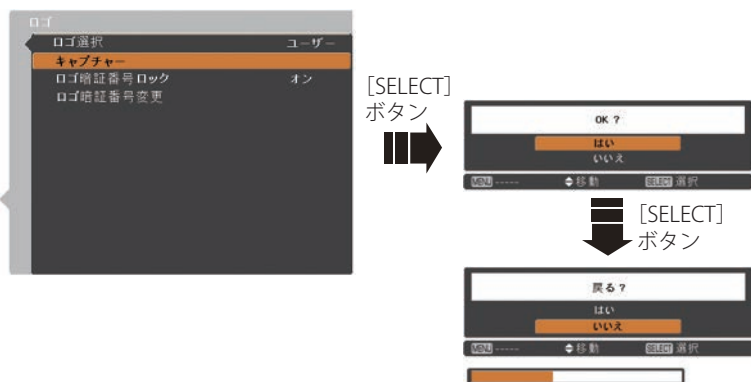
設定で詳細な設定・調整をする（つづき）

キャプチャー

投射している画面を静止画像として取り込むことができます。

取り込んだ画像はスタートアップロゴ（「ロゴ選択」）や、背景画面（「バックグラウンド」）に設定することができます。

- ① [ポイント] ボタンの上下でポイントを「キャプチャー」に合わせ、[SELECT] ボタンを押すと、「はい」、「いいえ」の表示が現れます。



はい …… 画面の取り込みを始めます。

いいえ …… キャプチャー機能を取り消します。

- ② 「はい」を選択すると、取り込みを始めます。
取り込みの進行を示すバーが現れます。
取り込みが完了するとメニュー表示は消えます。
このとき、取り込みを中止したいときは、バーの上にある「戻る？」の「はい」*を選択し [SELECT] ボタンを押します。

!! ご注意 *

「戻る？」で「はい」を選択すると、すでに「ユーザー」に保存していた画像の登録も削除されます。

- ※ 「ユーザー」へ保存できるのは1画面のみです。
- ※ 適切な画面を取り込むために、「画質モード」は「標準」を選択しておいてください。
- ※ 画像を取り込むときは「キーストーン」「カスタム」調整を一時的に解除します。
- ※ 「ピックアップインピックアップ」で「ユーザー1～5」を選択しているときはキャプチャーできません。
- ※ この機能が使えるのは本機パネルの解像度 1920 × 1200 ドット以下の入力信号のときです。

設定で詳細な設定・調整をする（つづき）

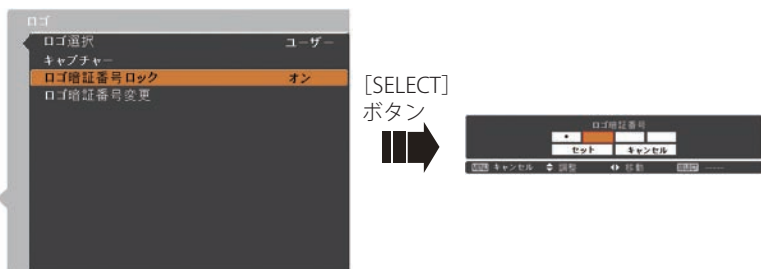
ロゴ暗証番号ロック

「ロゴ」の設定・変更を暗証番号を持つ管理者以外できなくします。設定により以下のモードが選択できます。

オフ … 暗証番号なしで「ロゴ選択」と「キャプチャー」の設定・変更ができます。

オン … 暗証番号を入れないと、「ロゴ選択」と「キャプチャー」の設定・変更はできません。

- ① [ポイント] ボタンの上下でポイントを「ロゴ暗証番号ロック」に合わせ、[SELECT] ボタンを押すと、暗証番号を入力する画面が現れます。
※ 「オン」「オフ」のどちらを選択していても暗証番号の入力画面は表示されます。
- ② 暗証番号を入力します。
※ 次ページの「入力方法」を参照してください。



- ③ 暗証番号が承認されると、サブメニュー 2 に戻り、「ロゴ暗証番号」の「オン・オフ」の設定と、暗証番号の変更ができるメニュー表示が現れます。
- ④ 「オン・オフ」は [ポイント] ボタンの上下で切り換え、選択します。

入力方法

リモコンで入力する

- ① 数字ボタンで「0～9」の数字を選択し、4 けた全ての数字を入力します。（入力した数字は「*」で表示されます）
4 けた全てが決定すると、ポイントが自動的に「セット」に移動します。
- ② 下記「手順③」へ
- ③ [SELECT] ボタンを押して決定します。

操作パネルから入力する

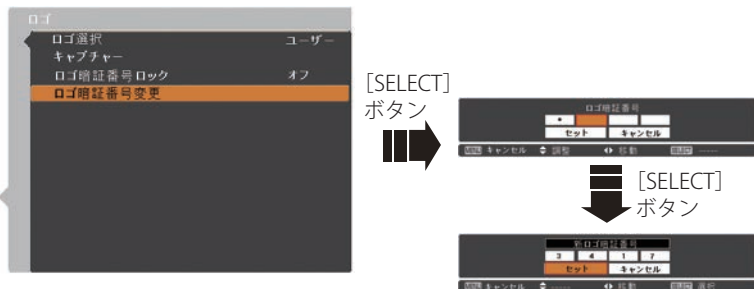
[ポイント] ボタンの上下で 0～9 の数字を選択し、[ポイント] ボタン右でポイントを 2 けた目に移動します。（1 けた目の表示が「*」に変わります。）この操作を繰り返し、4 けた全ての数字を入力します。
4 けた全ての数字を入力したら、ポイントを [ポイント] ボタン右で「セット」に移動します。

- ※ 工場出荷時のロゴ暗証番号の数字は、「4321」です。
- ※ 数字の入力をやり直したいときは、[ポイント] ボタンの左右でやり直したいけたを選択し、数字ボタンまたは [ポイント] ボタン上下で数字を選び直します。
- ※ 「キャンセル」にポイントを合わせて [SELECT] ボタンを押すと、サブメニュー 2 に戻ります。

設定で詳細な設定・調整をする（つづき）

暗証番号変更

- ① [ポイント] ボタンの上下で「ログ暗証番号変更」を選択し、[SELECT] ボタンを押します
- ② 暗証番号を入力します。「新ログ暗証番号」の画面表示が現れます。
- ③ 暗証番号を変更します。



- ④ [SELECT] ボタンを押して決定します。
- ⑤ さらに、「OK？」の表示が現れますので、[ポイント] ボタンの上下で「はい」にポイントを合わせ、[SELECT] ボタンを押します。新しい暗証番号が登録されます。
- ⑥ サブメニュー 2に戻ります。

入力方法

リモコンで入力する

- ① 数字ボタンで「0～9」の数字を選択し、4けた全ての数字を入力します。4けた全てが決定すると、ポイントが自動的に「セット」に移動します。
- ② 下記「手順 4」へ

操作パネルから入力する

[ポイント] ボタンの上下で0～9の数字を選択し、[ポイント] ボタン右でポイントを2けた目に移動します。この操作を繰り返し、4けた全ての数字を入力します。4けた全ての数字を入力したら、ポイントを[ポイント]ボタン右で「セット」に移動します。

※ このときは決定した数字も見えています。変更後の数字をはっきり確認していただけるように、数字を見せています。

メモ

- 入力を中断し、この機能の操作をやめるときは [ポイント] ボタンの左右で「キャンセル」を選択し、[SELECT] ボタンを押します。サブメニュー 2に戻ります。
- 数字の入力をやり直したいときは、[ポイント] ボタンの左右でやり直したいけたを選択し、数字ボタンまたは [ポイント] ボタンの上下で数字を選び直します。
- 「ログ暗証番号」と入力した数字（見た目は「*」）が赤く表示されたときは、エラーを表しています。入力をやりなおしてください。

設定で詳細な設定・調整をする（つづき）

ピクチャーインピクチャー

投映画面（メイン画面）にもう一つの画面（サブ画面）を表示させる設定をします。
[SELECT] ボタンを押すと下図の設定画面が表示されます。



- ※ 項目が「---」で表示されているとき、「メモリー」はグレーで表示され選択できません。
- ※ PC・ビデオの入力信号で、周波数や信号種類によっては解像度が下がったり、「×」が表示され、投映されないことがあります。
145 ページの一覧表を参考にしてください。
- ※ PIP の画面では「スクリーン」メニューの「ノーマル」、「フル」以外の設定は「ノーマル」になります。

ピクチャーインピクチャー

現在選択されているユーザーモードと状態（データあり・データなし・調整中）が表示されます。

データあり …… 保存されている内容から変更していない状態

データなし …… モードが保存されていない状態

調整中 …… モードの内容を編集し「メモリー」を実行していない状態

- ① [ポイント] ボタンの上下で「オフ→ユーザー1～5」の順で切り換わります。
モードを変更すると「メイン画面・サブ画面・フレームロック」が連動して切り換わります。
※ 「オフ」を選択するとその他の項目はグレーで表示され選択・変更はできません。

モード

P in P …… 「ユーザー1」の初期値を表示しています。

※ メイン画面 / サブ画面はスクリーンアスペクトに連動します。サブ画面の黒帯は表示されません。

P by P …… 「ユーザー2」の初期値を表示しています。

※ メイン画面 / サブ画面の画面サイズはアスペクト比横4;縦3に固定です。

- ① [ポイント] ボタンの上下で「P in P・P by P」を切り換えます。

設定で詳細な設定・調整をする（つづき）

メイン画面 / サブ画面

インプットの選択と入力信号の選択、投映画面の大きさ、表示位置を調整します。

インプット … 「インプット 1～3」を選択します。

入力信号 … [ポイント] ボタンの上下で切り換えます。

※ 選択した「インプット」の種類によって表示内容は異なります。

サイズ … 10%単位で投映画面の大きさを調整します。

メイン画面：10～100%

サブ画面：10～50%

※ モードが P by P のときは 50% で固定され調整することができません。

ポジション … 投映される位置を調整します。

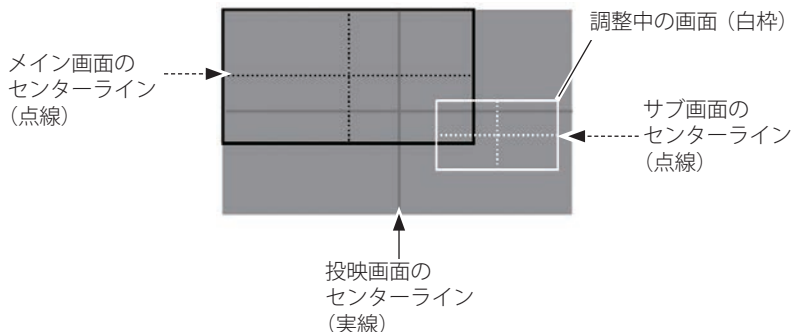
① [SELECT] ボタンを押すと調整画面が表示されます。

② [ポイント] ボタンの上下左右で調整します。(5% 単位)

調整中の画面は白い枠で表示されます。メイン画面・サブ画面のそれぞれで調整することができます。

※ 「モード」が「P by P」のときはグレーで表示され選択できません。

※ 約 10 秒何も操作しないか、[SELECT] ボタンを押すとメニューに戻ります。



フレームロック

メイン画面とサブ画面のどちらに同期を合わせるかを選択します。

① [ポイント] ボタンの上下で切り換えます。

リセット

調整内容をリセットします。

① ポインタを「リセット」に合わせ [SELECT] ボタンを押すと、「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。

設定で詳細な設定・調整をする（つづき）

- ② 「はい」を選択し [SELECT] ボタンを押すと、調整した内容をキャンセル（リセット）し、調整前の値を表示します。「いいえ」を選択し [SELECT] ボタンを押すとキャンセル（リセット）を中止することができます。
- ③ ポインタが PIP 設定画面の「戻る」に移動します。

データ消去

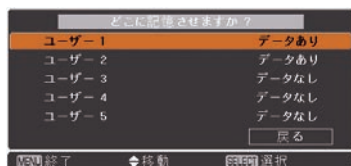
モードの登録内容を消去し「データなし」の状態にします。

※ 登録されているモードが1つしかないときは、全てのモード（ユーザー1～5）がグレーで表示され選択することができません。

- ① ポインタを「データ消去」に合わせ [SELECT] ボタンを押すと「データ消去」メニューが現われます。
- ② 消去したいモード（「ユーザー1から5」のいずれか）にポインタを合わせ、[SELECT] ボタンを押します。「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。
- ③ 「はい」を選択し [SELECT] ボタンを押すと、「モード」の登録が解除され、PIP 設定画面へ戻ります。（ポインタは「戻る」を指しています。）

メモリー

変更した調整内容を登録します。「ユーザー1～5」で、5パターンの登録ができます。



⇒ [POINT] ボタン上下

↓
[SELECT] ボタン

- ① ポインタを「メモリー」に合わせ [SELECT] ボタンを押すと「データ登録」メニューが現われます。
- ② 登録したいモード（「ユーザー1から5」のいずれか）にポインタを合わせ、[SELECT] ボタンを押します。「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。
- ③ 「はい」を選択し [SELECT] ボタンを押すと登録され PIP 設定画面へ戻ります。（ポインタは「戻る」を指しています。）

戻る

サブメニューに戻ります。（ポインタは「ピックアップインピクチャー」を選択しています。）

設定で詳細な設定・調整をする（つづき）

HDMI 設定

[HDMI]端子を使って、DVD プレーヤーなど HDMI 映像出力機器の信号を投映する場合、プロジェクターの HDMI 入力を、DVD プレーヤーなど HDMI 映像出力機器の出力信号に合わせてください。HDMI 映像出力機器の出力形式と、プロジェクターの入力信号形式が合っていないと、最良な映像が投映されない場合があります。

- ① [SELECT] ボタンを押すとサブメニュー 2 が表示されます。
- ② [ポイント] ボタンを上下で設定したい項目を選択し、[SELECT] ボタンを押します。

イメージ

HDMI 映像出力機器から出力される Digital R/G/B 映像レベルの設定を選択します。

ノーマル …… HDMI 映像出力機器の出力が「ノーマル（標準 /NORMAL）」に設定されている場合。

拡張 …… HDMI 映像出力機器の出力が「エンハンスド（ENHANCED）」に設定されている場合。

※ HDMI 映像出力機器の出力設定の呼称は機器によって異なります。詳しくは、HDMI 映像出力機器の取扱説明書をごらんください。

サウンド

HDMI 映像出力機器から出力される音声入力を選択します。

HDMI …… HDMI 出力機器から HDMI ケーブルで接続している場合は、こちらを選択します。映像と音声伝送されますので、別途音声信号を接続する必要はありません。

AUDIO 1 …… コンピュータから DVI-HDMI(変換)ケーブルで接続している場合は、こちらを選択します。映像信号しか伝送されませんので、別途 [AUDIO1] 端子に音声信号を接続する必要があります。

ランプコントロール

ランプモードの切り換え、設定をします。

- ① [SELECT] ボタンを押すと、サブメニュー 2 が表示されます。
- ② [SELECT] ボタンを押すと、▲▼がサブメニュー 2 上に表示されます。
- ③ [ポイント] ボタンの上下で選択します。
- ④ [SELECT] ボタンまたは [ポイント] ボタン左で、サブメニューに戻ります。

ランプコントロール

ランプの明るさを「オート、ノーマル、エコ 1、エコ 2」モードの 4 段階で切り換え・選択することができます。

ご使用環境に合ったモードを選択・ご使用ください。

設定で詳細な設定・調整をする（つづき）

- 💡A 明るい表示に「A」・・・オートモード
- 💡 明るい表示・・・ノーマルモード
- 💡1 上部がグレーの表示に1・・・エコ1モード
- 💡2 上部がグレーの表示に2・・・エコ2モード

※「オート」モードは調光回路が働いて、明るさを自動的に調整します。

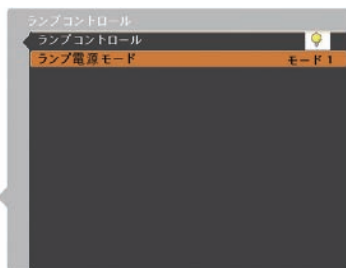
※「エコ2」モードは「エコ1」よりも吸・排気量が大きくなり、ファンの回転音も大きくなります。

※消費電力を抑えたいときには「エコ」モードをおすすめします。

※[ポイント] ボタンの上下で 💡A → 💡 → 💡1 → 💡2 の順に表示が切り替わります。

ランプ電源モード

ランプの寿命を越えたときの、ランプの点灯動作を設定します。



モード1・・・ランプの寿命を越えても点灯できるモードです。

モード2・・・寿命を越えているときに電源を入れると、ランプ交換表示が表示されたまま、約3分後に電源が切れます。

※「オンスクリーン表示・オフ（ 90ページ）」のときは画面表示は出ません。

フィルター制御

エアフィルターを巻き取る機能です。「はい」を選択するとエアフィルターを1回巻き取ります。

※巻き取りを行なうとフィルター使用時間（ 111ページ）は自動的に「0」時間に戻ります。

- ① [ポイント] ボタンの上下で、ポイントを「フィルター制御」に合わせ、[SELECT] ボタンを押すと、「はい」、「いいえ」の表示が現れます。



設定で詳細な設定・調整をする（つづき）

はい … エアフィルターを 1 回巻き取ります。

いいえ … 「メニュー」に戻ります。

- ※ エアフィルターカートリッジの端の部分に巻き取った残りが見えることがありますが、正しく巻き取られていますので、ご使用には問題ありません。
- ※ エアフィルターの巻き取り回数の残りが「0」のときは **!** が表示され、巻き取りは行なわれません。ただし、オンスクリーン表示・オフのときは表示されません。
- ※ 巻き取り異常（巻き取りに失敗する）のときも **!** が表示され、巻き取りは行なわれません。
- ※ エアフィルターカートリッジを取り付けずにプロジェクターの電源を入れたときは、この項目はグレーで表示され選択できません。またこのとき、電源を入れた後にエアフィルターカートリッジを取り付けて「はい」を選択しても、**!** が表示され、巻き取りは行なわれません。

!! **ご注意**

- 「はい」を選択すると、エアフィルターが汚れていなくても巻き取られます。
- 9 回巻き取ったら、新しいエアフィルターカートリッジに交換してください。
- エアフィルターの目詰まりを感知すると自動的に 1 回巻き取りを行ないます。
- 巻き取っている最中に電源が切れるなど、途中で動作が止まったときは、再び電源が入ったときに、残った部分の巻き取りを行ないます。
- エアフィルターの巻き戻しはできません。

ファン制御

プロジェクターの設置場所（高地での使用）などによって、冷却ファンの回転動作を切り換える機能です。

- ① [SELECT] ボタンを押すと、サブメニュー 2 が表示されます。
- ② [SELECT] ボタンを押すと、▲▼がサブメニュー 2 上に表示されます。
- ③ [ポイント] ボタンの上下で選択します。
- ④ [SELECT] ボタンまたは [ポイント] ボタン左で、サブメニューに戻ります。

ノーマル … 通常の回転速度。

お買い上げ時の設定です。通常はこちらでご使用ください。

最大 … 周辺温度が高いときなど、通常より冷却力を高めたいときに選択します。

ファンの回転音は「ノーマル」より大きくなります。

シンプルモード

この機能を「オン」にすると、リモコンの簡単操作モードの対象のボタン（キー）だけが有効になる機能です。

設定で詳細な設定・調整をする（つづき）

- ① [SELECT] ボタンを押すと、サブメニュー 2 が表示されます。
- ② [SELECT] ボタンを押すと、▲▼がサブメニュー 2 上に表示されます。
- ③ [ポイント] ボタンの上下で選択します。
- ④ [SELECT] ボタンまたは [ポイント] ボタン左で、サブメニューに戻ります。

対象のボタン：

ON、STAND-BY、INPUT、MENU、AUTO PC、SCREEN、SHUTTER、P-TIMER、PIP、 POINTER、ポイントボタン上下左右、SELECT、マウスポインタボタン、右・左クリック、




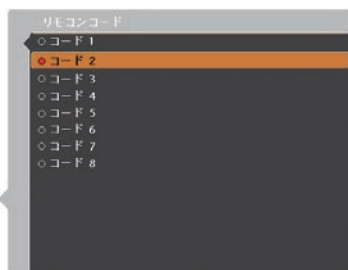
シンプルモード：オン

※ この機能が「オン」のときに、対象外のボタンを押すと表示されます。

リモコンコード

本機は 8 種類のリモコンコード（「コード 1～コード 8」）の設定が可能です。複数のプロジェクターを使用するときリモコンコードを使い分けて使用することができます。

- ① [SELECT] ボタンを押すと、サブメニューが表示されます。
 - ② [ポイント] ボタンの上下で「コード 1～8」のいずれかを選択します。
 - ③ [SELECT] ボタンまたは [ポイント] ボタン左で、サブメニューに戻ります。
- ※ リモコンコードを他のコード（「コード 2～コード 8」）に変更する場合、プロジェクター本体とリモコンの両方をあわせて切り換える必要があります。リモコンのコードの切り換えは、リモコン本体で行ないます。（ 29、30 ページ）



※ 工場出荷時は「コード 1」に設定されています。

リモコン受光部

プロジェクター本体にある、リモコン受光部の、有効・無効を切り換えることができます。

- ① [SELECT] ボタンを押すと、サブメニューが表示されます。
- ② [ポイント] ボタンの上下で受光部を選択します。
- ③ [SELECT] ボタンまたは [ポイント] ボタン左で、サブメニューに戻ります。

設定で詳細な設定・調整をする（つづき）

- すべて** …… 3カ所の受光部すべてを有効にします。
- 前&天面** …… 本体前と上部にある受光部のみ有効にします。
- 天面&後** …… 本体上部と後ろにある受光部のみ有効にします。
- 前&後** …… 本体前と後ろにある受光部のみ有効にします。
- 前** …… 本体前にある受光部のみ有効にします。
- 天面** …… 本体上部にある受光部のみ有効にします。
- 後** …… 本体後ろにある受光部のみ有効にします。

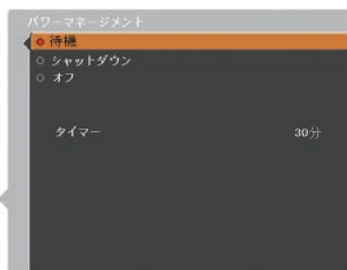
※ 天吊りではなく正立置きで設置しているとき、天面の受光部をオンにしていると、蛍光灯の影響を受けてリモコンが効きにくくなる場合があります。正立置きの場合は天面の受光部をオフにする（「前&後・前・後」のいずれかを選択する）ことをおすすめします。

パワーマネージメント

パワーマネージメント機能の動作設定を行いません。

- ① [SELECT] ボタンを押すと、サブメニュー 2 が表示されます。
- ② [SELECT] ボタンを押すと、▲▼がサブメニュー 2 上に表示されます。
- ③ [ポイント] ボタンの上下で選択します。
- ④ [SELECT] ボタンまたは [ポイント] ボタン左で、サブメニューに戻ります。

※ パワーマネージメント動作詳細については 46 ページを参照してください。



ランプ消灯までの時間

- オフ** …… パワーマネージメント機能を解除します。
- 待機** …… 設定された時間が経つとランプが消灯しランプ冷却動作に入ります。ランプの冷却が完了すると [POWER] インジケータが緑の点滅を始めます。この時信号が入力されたり、プロジェクターが操作されるとランプが点灯し、画像が投射されます。

シャットダウン …… 設定された時間が経つとランプが消灯し電源が切れます。

タイマー …… 1～30分の範囲で設定できます。

設定で詳細な設定・調整をする（つづき）

- ※ 工場出荷時は「待機・5分」に設定されています。
- ※ 「FREEZE (☞ 117 ページ)、SHUTTER (☞ 115 ページ)」機能が働いているときは、パワーマネージメントは動作しません。
- ※ パワーマネージメントが働くと、「プレゼンテーションタイマー (☞ 104、105 ページ)」はリセットされます。

スタンバイモード

待機中の消費電力の設定をする機能です。

- ① [SELECT] ボタンを押すと、サブメニューが表示されます。
- ② [ポイント] ボタンの上下で選択します。
- ③ [SELECT] ボタンまたは [ポイント] ボタン左で、サブメニューに戻ります。

エコ …… 待機電力が小さくなります。

- ※ 電源が切れいている（スタンバイ）状態からネットワーク経由で電源を入れることはできません。電源が入っていればネットワーク経由での操作は可能です。
- ※ このとき以下の動作が制限されます。
 - ・ シリアルコマンド制御、PJ-Net による制御、MONITOR OUT、AUDIO OUT、エアフィルター未挿入検知が制御不可になります。
 - ・ 「リモコン受光部」の設定に関係なく、全てのリモコン受光部が有効になります。電源が入った後は設定が有効になります。

ネットワーク …… 待機電力が大きくなります。

ダイレクトオン

電源コードを接続すると、リモコンの [ON] または操作パネルの [ON/STAND-BY] ボタンを押さなくても自動的にプロジェクターの電源を入れる機能です。

- ① [SELECT] ボタンを押すと、サブメニューが表示されます。
- ② [ポイント] ボタンの上下で選択します。
- ③ [SELECT] ボタンまたは [ポイント] ボタン左で、サブメニューに戻ります。

オフ …… 通常の電源の入り・切りを行いません。電源コードを接続しても、リモコンの [ON] または操作パネルの [ON/STAND-BY] ボタンを押さなければプロジェクターの電源は入りません。

オン …… 電源コードを接続すると同時にプロジェクターの電源が入ります。

※ 工場出荷時は「オフ」に設定されています。

!!! 電源オン・オフは正しい操作で行なってください。

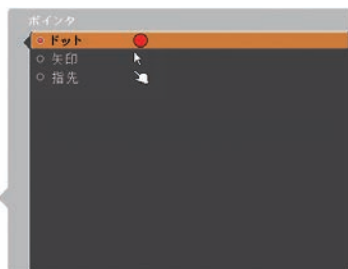
ランプの冷却が終わり再点灯できる状態になるまで、リモコンの [ON] または操作パネルの [ON/STAND-BY] ボタンを押しても電源は入りません。

設定で詳細な設定・調整をする（つづき）

ポインタ

この機能を使うときに表示させるポインタの種類を選択します。

- ① [SELECT] ボタンを押すと、サブメニューが表示されます。
- ② [ポイント] ボタンの上下で選択します。
- ③ [SELECT] ボタンまたは [ポイント] ボタン左で、サブメニューに戻ります。



※ 以下の操作をすると解除されます。

- ・もう一度 [POINTER] ボタンを押したとき。
- ・リモコンまたは操作パネルのいずれかのボタンを押したとき。このときは、そのボタンの機能を実行してから解除されます。
- ・30 秒以上操作しない。

プレゼンテーションタイマー

プレゼンテーションタイマーの設定と選択、実行をする機能です。

- ① [SELECT] ボタンを押すと、サブメニュー 2 が表示されます。
- ② [ポイント] ボタンの上下で選択します。[SELECT] ボタンで決定します。
- ③ [ポイント] ボタン左でサブメニュー 2 に戻ります。

カウントアップ

経過時間を 000 分 00 秒からカウントアップします。

000 分 00 秒から最長 180 分 00 秒まで経過時間を表示します。



※ 画面右下に表示されます。

カウントダウン

経過時間を設定した時間からカウントダウンします。時間は「タイマー」で設定します。

カウントアップ・カウントダウンともに、実行中にカウントアップからカウントダウンに切り換えたり、設定時間を変更すると、その都度変更が反映されます。

※ このとき、カウントしていた時間は変更されますが、「タイマー」の設定時間は変更されません。

タイマー

「カウントダウン」の時間を設定します。

1 ～ 180 分の間の 1 分単位で設定できます。

設定で詳細な設定・調整をする（つづき）

- ① [SELECT] ボタンを押すと、▲▼がサブメニュー上に表示されます。
- ② [ポイント] ボタンの上下で選択します。[SELECT] ボタンまたは [ポイント] ボタン左で、サブメニューに戻ります。
※ 工場出荷時は「10」分に設定されています。
※ 「カウントアップ」選択時はグレーで表示され設定できません。

スタート

[SELECT] ボタンを押すと、メニューが消えてタイマー時計が表示され、カウントアップ（またはカウントダウン）が実行されます。

ストップ

プレゼンテーションタイマー実行中にメニュー画面を表示したときに「スタート」から切り換わって表示されます。

プレゼンテーションタイマーの時間を一時停止することができます。

- ① [ポイント] ボタンの上下で選択し、[SELECT] ボタンで決定します。
- ② タイマー時計が止まった状態を約3秒間表示し、メニュー画面に戻ります。
このときメニュー画面は「ストップ」から「再スタート」に表示が変わっています。

再スタート

「ストップ」で止めたプレゼンテーションタイマーを再開します。

- ① [ポイント] ボタンの上下で選択し、[SELECT] ボタンで決定します。
- ② メニューが消えて、タイマー時計が再度表示され、タイマーが再開されます。
このときメニュー画面は「再スタート」から「ストップ」に表示が変わっています。

リセット

実行中のカウントしていた時間をリセットします。

- ① [ポイント] ボタンの上下で選択し、[SELECT] ボタンで決定します。
 - ② カウントしていた時間をリセットし、終了します。
このときメニュー画面の「ストップ」または「再スタート」は「スタート」に表示が変わっています。
- ※ カウントアップは「000:00」に、カウントダウンはタイマー設定時間に戻ります。

終了

実行中のプレゼンテーションタイマーを終了させます。

- ① [ポイント] ボタンの上下で選択し、[SELECT] ボタンで決定します。
- ② 実行中のプレゼンテーションタイマーが終了します。
メニュー画面はサブメニューに戻ります。

設定で詳細な設定・調整をする（つづき）

💡 メモ

- ・リモコンの [P-TIMER] ボタンからの操作は 118 ページをご覧ください。
- ・タイマー時計は一度開始すると、終了の操作をするまでカウントを続けます。他のメニュー操作を行なっているときでも実行されています。
終了の操作：「リセット」、「終了」、電源を切る
- ・カウントアップで「180:00」、カウントダウンで「000:00」に達したときには、タイマーは停止します。メニュー表示は「ストップ・再スタート」から「スタート」に変わります。

セキュリティ

操作ボタンのロックと、暗証番号でプロジェクターの操作をロックする設定をします。

- ① [SELECT] ボタンを押すと、サブメニュー 2 が表示されます。
- ② [ポイント] ボタンの上下で選択します。[SELECT] ボタンで決定します。
- ③ [ポイント] ボタン左でサブメニュー 2 に戻ります。

キーロック

操作ボタンをロックして、プロジェクターが誤って操作されることを防ぎます。たとえば、リモコンをプロジェクターの鍵として使うこともできます。

- ① [SELECT] ボタンを押すと、▲▼がサブメニュー 2 上に表示されます。[ポイント] ボタンの上下で選択します。



- ② [SELECT] ボタンを押すと「OK？」の表示が現れます。
 - ③ 「はい」を選択し [SELECT] ボタンを押すと、登録が完了し、サブメニュー 2 に戻ります。
- ※ 「いいえ」に合わせ、[SELECT] ボタンを押すと、サブメニュー 2 に戻ります。設定する項目を選び直してください。



… キーロックは「オフ」の状態です。



… 操作パネルからの操作をロックします。



… リモコンの操作をロックします。

※ 工場出荷時は「オフ」に設定されています。

※ 解除できなくなったときは、お買い上げの販売店へご相談ください。

設定で詳細な設定・調整をする（つづき）

暗証番号ロック

暗証番号により、プロジェクターの管理者以外のプロジェクターの操作を防止します。

- オフ** … 「暗証番号ロック」を解除します。通常の操作をすることができます。
- オン1** … 電源を入れるときに暗証番号が要求されます。
- オン2** … 一度入力した暗証番号は、電源コードを抜くまで有効です。一度電源コードを抜くと、その次に電源を入れるときに暗証番号が要求されます。リモコンの [ON] または操作パネルの [ON/STAND-BY] ボタンで電源の入り・切りをするだけで、電源コードを抜かないときは、暗証番号が要求されることなく、通常の操作をすることができます。



暗証番号ロックの「オン1」「オン2」いずれかが選択されていることを表しています。

- ① [ポイント] ボタンの上下でポインタを「暗証番号ロック」に合わせ、[SELECT] ボタンを押すと、暗証番号を入力する画面が現れます。
※ 「オン」「オフ」のどちらを選択していても暗証番号の入力画面は表示されます。
- ② 暗証番号を入力します。
※ 下記の「入力方法」を参照してください。
- ③ 暗証番号が承認されると、サブメニュー 2 に戻り、「ロゴ暗証番号」の「オン・オフ」の設定と、暗証番号の変更ができるメニュー表示が現れます。
- ④ 「オン・オフ」は [ポイント] ボタンの上下で切り換え、選択します。

入力方法

リモコンで入力する

- ① 数字ボタンで「0～9」の数字を選択し、4けた全ての数字を入力します。（入力した数字は「*」で表示されます）
4けた全てが決定すると、ポインタが自動的に「セット」に移動します。
- ② 下記「手順③」へ
- ③ [SELECT] ボタンを押して決定します。

操作パネルから入力する

[ポイント] ボタンの上下で0～9の数字を選択し、[ポイント] ボタン右でポインタを2けた目に移動します。（1けた目の表示が「*」に変わります。）この操作を繰り返し、4けた全ての数字を入力します。
4けた全ての数字を入力したら、ポインタを [ポイント] ボタン右で「セット」に移動します。

設定で詳細な設定・調整をする（つづき）

※ 工場出荷時の暗証番号の数字は、「1234」です。

※ 数字の入力をやり直したいときは、[ポイント] ボタンの左右でやり直したいけたを選択し、数字ボタンまたは、[ポイント] ボタン上下で数字を選び直します。

※ 「キャンセル」にポインタを合わせて [SELECT] ボタンを押すと、サブメニュー 2 に戻ります。

暗証番号変更

- ① [ポイント] ボタンの上下で「暗証番号変更」を選択し、[SELECT] ボタンを押します
- ② 暗証番号を入力します。「新暗証番号」の画面表示が現れます。
- ③ 暗証番号を変更します。
※ 前ページの「入力方法」を参照してください。



- ④ [SELECT] ボタンを押して決定します。
- ⑤ さらに、「OK？」の表示が現れますので、[ポイント] ボタンの上下で「はい」にポインタを合わせ、[SELECT] ボタンを押します。新しい暗証番号が登録されます。
- ⑥ サブメニュー 2 に戻ります。

入力方法

リモコンで入力する

- ① 数字ボタンで「0～9」の数字を選択し、4けた全ての数字を入力します。4けた全てが決定すると、ポインタが自動的に「セット」に移動します。
- ② 下記「手順 4」へ

操作パネルから入力する

[ポイント] ボタンの上下で 0～9 の数字を選択し、[ポイント] ボタン右でポインタを 2 けた目に移動します。この操作を繰り返し、4 けた全ての数字を入力します。4 けた全ての数字を入力したら、ポインタを [ポイント] ボタン右で「セット」に移動します。

※ このときは決定した数字も見えています。変更後の数字をはっきり確認していただけるように、数字を見せています。

メモ

- 入力を中断し、この機能の操作をやめるときは [ポイント] ボタンの左右で「キャンセル」を選択し、[SELECT] ボタンを押します。サブメニュー 2 に戻ります。
- 数字の入力をやり直したいときは、[ポイント] ボタンの左右でやり直したいけたを選択し、[ポイント] ボタンの上下で数字を選び直します。
- 「暗証番号」と入力した数字（見た目は「*」）が赤く表示されたときは、エラーを表しています。入力をやりなおしてください。

設定で詳細な設定・調整をする（つづき）

シャッター

シャッターの動作設定をします。

- ① [SELECT] ボタンを押すとサブメニュー 2 が表示されます。[ポイント] ボタンの上下で設定したい項目を選択します。

保護

操作ボタンをロックして、シャッター操作をロックすることができます。

- ① [SELECT] ボタンを押すと、▲▼ がサブメニュー 2 上に表示されます。[ポイント] ボタンの上下で選択し、[SELECT] ボタンを押して確定します。



・・・ オフ



・・・ リモコンの [SHUTTER] ボタンをロックします。



・・・ 操作パネルの [SHUTTER] ボタンをロックします。



・・・ リモコンと操作パネル両方の [SHUTTER] ボタンをロックします。

解除キー

シャッターを閉じているときの解除ボタンの設定をします。

- すべて …… シャッターを閉じているとき、リモコンまたは操作パネルのボタンを押すとシャッター機能は解除され、その押したボタンの機能が働きます。
- SHUTTER …… リモコンまたは操作パネルの [SHUTTER] ボタン以外では解除できません。
またこのとき、シャッターが閉じた状態で、以下のボタンの機能が働きます。

操作パネル：INPUT、ON-STANDBY

リモコン：INPUT、INPUT1~3、STAND-BY

- ※ 設定時に電源が切れたり、「マネージメント」の設定でランプが消灯した後に、再度電源を入れたときはシャッターは解除されます。選択した項目は設定されています。

マネージメント

シャッターを閉じてから、ランプが消灯するまでの時間を設定します。

[ポイント] ボタンの上下で時間を設定します。

5 ~ 480 分の範囲で設定できます。

マネージメントが働くとランプを消灯し、プロジェクターは冷却動作に移ります。冷却が完了すると、プロジェクターの電源が切れ、[POWER] インジケータが点灯します。この時冷却動作に入ると同時に [SHUTTER] インジケータは青色で点滅します。冷却が完了し、[POWER] インジケータが点灯した後もこの点滅を続けます。プロジェクターの電源を再び入れると点滅は消えます。

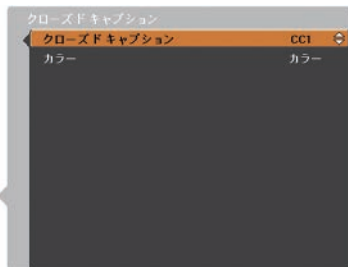
- ※ 「シャッター」で映画画面が遮断されているときは「パワーマネージメント」は動作しません。
※ 工場出荷時は「180分」に設定されています。
※ 時間の設定をするのみで、この機能をオフにはできません。

設定で詳細な設定・調整をする（つづき）

クローズドキャプション

クローズドキャプションの表示の選択と、表示する色を設定します。

- ① [SELECT] ボタンを押すと、サブメニュー 2 が表示されます。
- ② [SELECT] ボタンを押すと、▲▼ がサブメニュー 2 上に表示されます。
- ③ [ポイント] ボタンの上下で選択します。
- ④ [SELECT] ボタンまたは [ポイント] ボタン左で、サブメニューに戻ります。



クローズドキャプション …「オフ / CC1 ~ CC4」

カラー …「カラー / ホワイト」

- ※ 工場出荷時は「オフ」/「カラー」に設定されています。
- ※ この機能が使えるのは入力信号がビデオ、S-ビデオのときです。
- ※ メニュー表示などが現れているときは、表示されません。

映像遅延制御

投射された映像のデジタル処理をより速くしたいときに設定します。

「低→中→高」の順でデジタル処理が速くなります。「高」が最も速くなります。

※ 映像遅延処理をしないときは「オフ」を選択してください。工場出荷時は「オフ」に設定されています。

- ① [SELECT] ボタンを押すと、▲▼ がサブメニュー上に表示されます。
- ② [ポイント] ボタンの上下で選択します。[SELECT] ボタンまたは [ポイント] ボタン左で、サブメニューに戻ります。

※ 項目を選択・設定したとき、以下のメニューがグレーで表示され選択できなくなります。

低 …「スクリーン」の「キーストーン」

中 …「イメージ調整」の「プログレッシブ」と「ノイズリダクション」

高 …「スクリーン」の「キーストーン」と「イメージ調整」の「プログレッシブ」と「ノイズリダクション」



映像遅延制御：オン

※ 「低または高」に設定しているときに、リモコンの [KEYSTONE] ボタンを押すと表示されます。

設定で詳細な設定・調整をする（つづき）

フィルターカウンター

エアフィルターについての設定や使用時間のリセットをします。

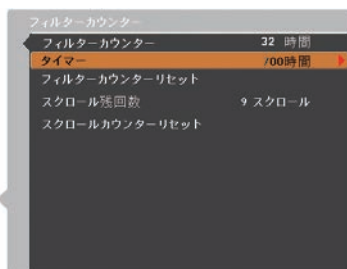
フィルターカウンター

使用時間を表示します。

タイマー

エアフィルターの交換時期を知らせる表示を表示させるまでの時間を設定します。
(オフ /400 時間 /700 時間 /1000 時間)

- ① [SELECT] ボタンを押すと、▲▼ がサブメニュー 2 上に表示されます。[ポイント] ボタンの上下で選択し、[SELECT] ボタンで決定します。

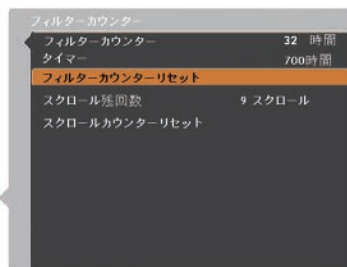


フィルターカウンターリセット

フィルターカウンターのリセットをします。

エアフィルターの交換後はかならずフィルターカウンターをリセットしてください。リセットすると「フィルター警告」のお知らせ表示が消えます。

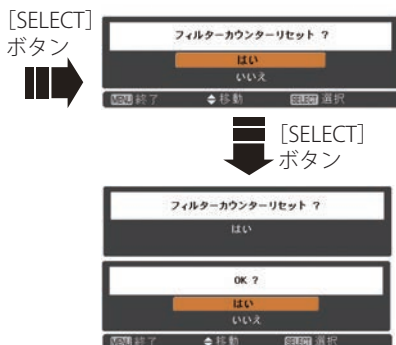
- ① [ポイント] ボタンの上下で「フィルターカウンターリセット」を選択し、[SELECT] ボタンを押すと「フィルターカウンターリセット？」の表示が現れます。
 - ② [SELECT] ボタンを押すと「はい、いいえ」の表示が現れます。「はい」を選択し [SELECT] ボタンを押します。
 - ③ 「OK？」の表示が現れます。「はい」を選択し [SELECT] ボタンを押すと、カウンターがリセットされ、サブメニュー 2 に戻ります。
- ※ 「いいえ」に合わせ、[SELECT] ボタンを押すと、サブメニュー 2 に戻ります。



[SELECT]
ボタン



設定で詳細な設定・調整をする（つづき）



スクロール残回数

エアフィルターの巻き取りの残り回数を表示します。残り回数が「0」のときは、数字が赤色で表示されます。

スクロールカウンターリセット

エアフィルターの巻き取りの残り回数をリセットします。

- ① [ポイント] ボタンの上下で「スクロールカウンターリセット」を選択し、[SELECT] ボタンを押すと「スクロールカウンターリセット？」の表示が現れます。
 - ② [SELECT] ボタンを押すと「はい、いいえ」の表示が現れます。「はい」を選択し [SELECT] ボタンを押します。
 - ③ 「OK？」の表示が現れます。「はい」を選択し [SELECT] ボタンを押すと、カウンターがリセットされ、サブメニュー2に戻ります。
- ※ 「いいえ」に合わせ、[SELECT] ボタンを押すと、サブメニュー2に戻ります。



注意

エアフィルターの交換を行なったとき以外はリセットしないでください。






エアフィルター掃除・交換をお知らせする画面表示について

投映中にエアフィルター掃除推奨時間になったとき、画面右上に表示されます（約10秒間）。また、その後、下記の操作をしたときにも表示されます。



- 電源を入れたとき（約4秒間表示）
- 「入力」を切り換えたとき（約4秒間表示）

※ 「オンスクリーン表示・オフ」（ 90ページ）に設定しているとき「FREEZE」（ 117ページ）または「SHUTTER」（ 115ページ）が動作中のときは、表示されません。

※ 「フィルターカウンター」をリセットすると表示が消えます。

設定で詳細な設定・調整をする（つづき）

テストパターン

外部からの信号源が無くても、プロジェクター本体に内蔵されたテストパターンを投映することができます。プロジェクターを設置するときに便利です。

「カラーバー、16階調 1～4、全白、全黒、格子パターン」の8種類の中から選べます。

- ① [SELECT] ボタンを押すと、メニューが消え、画面にテストパターンとテストパターン名が表示されます。
 - ② テストパターンが表示されている間に [POINT] ボタン上を押すと、1つ前のパターンを、下を押すと次のパターンに切り換わります。
 - ③ テストパターンが表示されている間に、[SELECT] ボタンまたは [MENU] ボタンを押すと、テストパターンは消えてメニュー画面を表示します。
- ※ テストパターン表示中も「ズーム・フォーカス・レンズシフト・シャッター・電源オフ」は各機能の操作が優先されます。「ズーム・フォーカス・レンズシフト」は操作が終わった後、テストパターンに戻ります。
- ※ テストパターン名は約4秒間表示されます。

初期設定

下記の設定以外を、工場出荷状態に戻します。

- ログ暗証番号ロック
- 暗証番号ロック
- ユーザーロゴ
- フィルターカウンター
(タイマー・使用時間・スクロール残回数)
- ネットワーク設定



- ① [SELECT] ボタンを押すと「初期設定へ戻しますか?」の表示が現れます。
 - ② [SELECT] ボタンを押すと「はい、いいえ」の表示が現れます。「はい」を選択し [SELECT] ボタンを押します。
 - ③ 「OK?」の表示が現れます。「はい」を選択し [SELECT] ボタンを押すと、設定が工場出荷時に戻り、サブメニュー 2 に戻ります。
- ※ 「いいえ」に合わせ、[SELECT] ボタンを押すと、サブメニュー 2 に戻ります。

!! ご注意

この設定が実行されると、お客さまが設定された内容はすべて失われ、各設定内容は工場出荷時の状態となります。

リモコンのボタンの便利な機能

リモコンでコンピュータを操作する

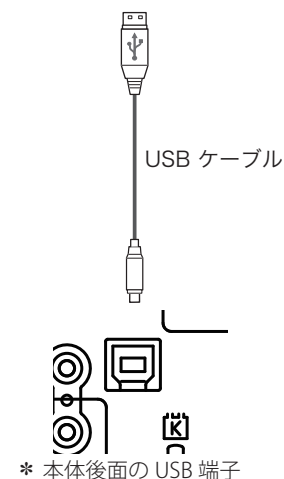
付属のリモコンはコンピュータのワイヤレスマウスとしてお使いいただけます。

準備をしてください

はじめにコンピュータに USB 端子があることを確認してください。
USB 端子以外の端子ではご使用になれません。

- 1 市販の USB ケーブルで、コンピュータの USB 端子と、本機の [USB] 端子*を接続します。
- 2 USB ケーブルを接続したら、はじめにプロジェクターの電源を入れてからコンピュータを立ち上げてください。先にコンピュータを立ち上げると正しく動作しない場合があります。

コンピュータの USB 端子へ



マウス機能を使うときは、以下のことを確認してください。

- ① コンピューター入力が選択されており、その入力信号が入力されている。(下記のいずれか)
 - ・「インプット 1」の「RGB (PC アナログ)」
 - ・「インプット 1」の「RGB (PC デジタル)」
 - ・「インプット 1」の「HDMI」
 - ・「インプット 2」の「RGB」
- ② 電源が「オン」になっていて、ランプが点灯している。

マウスポインタの動かし方

マウスポインタの操作は、「マウスポインタボタン」「左クリックボタン」「右クリックボタン」で行ないます。

マウスポインタボタン

マウスポインタの移動を行ないます。
上下左右方向を押すと、マウスポインタが移動します。

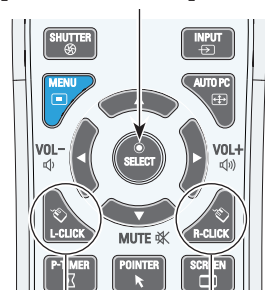
左クリックボタン

コンピュータマウスの左クリックの働きをします。

右クリックボタン

コンピュータマウスの右クリックの働きをします。

[マウスポインタ] ボタン



[L.CLICK] ボタン [R.CLICK] ボタン

リモコンのボタンの便利な機能（つづき）

投映中の光を一時的に遮断する

本機は機械的なシャッターを搭載しています。このシャッターにより投映光を遮断することができます。

[SHUTTER] ボタン

操作パネルまたはリモコンの [SHUTTER] ボタンを押します。

シャッターが閉じて投映光が遮断されます。このとき [SHUTTER] インジケータも青色に点灯します。

もう一度 [SHUTTER] ボタンを押すとシャッターが開き再び投映され、インジケータも消灯します。

※ シャッターが閉じているとき音声は「MUTE」になります。

※ シャッターの動作は設定によって異なります。シャッター動作は「設定」メニューの中「シャッター」で選択します。はじめに「シャッター」で動作の選択を行なってください。

☞ 109 ページ

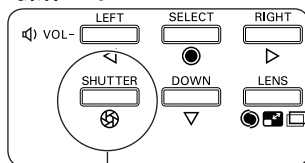
※ リモコンまたは操作パネルの [SHUTTER] ボタンを押したとき、**!**が表示され、シャッターも閉まらないときは、ボタンがロックされています。「シャッター」内の「保護」を確認してください。☞ 109 ページ

※ リモコンまたは操作パネルのボタンを押したときの動作は「シャッター」内の「解除キー」の設定によって異なります。

☞ 109 ページ

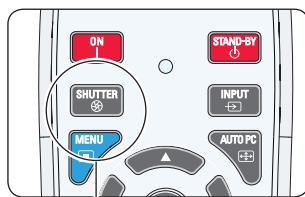
※ パワーマネージメントの動作中に [SHUTTER] ボタンを押すと、パワーマネージメントを中止してシャッターを閉じます。

操作パネル



[SHUTTER] ボタン

リモコン



[SHUTTER] ボタン



こんなときに便利です

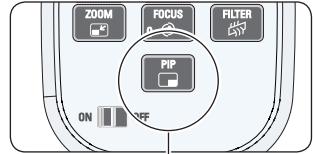
投映光も遮断されるので、まぶしくありません。

リモコンのボタンの便利な機能（つづき）

2画面を同時に投映する

[PIP] ボタン

- 1 [PIP] ボタンを押すごとに「オフ→ユーザー 1～5」と切り換わります。
- 2 表示が出ている間に [SELECT] ボタンを押すと選択されている画面（メインまたはサブ画面）の枠が赤く表示されます。
- 3 赤い枠が出ている間に [INPUT、INPUT1～3] ボタンを押すと入力を変えることができます。



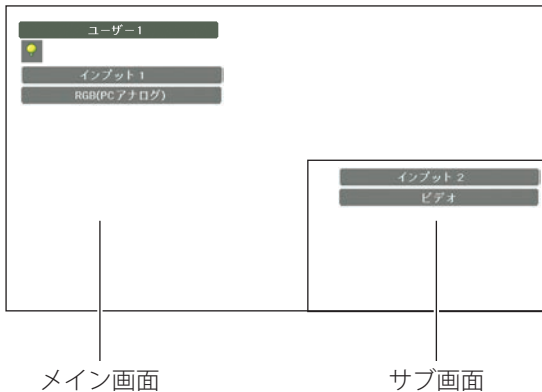
[PIP] ボタン

※ ボタンを3秒以上押すと「ピクチャーインピクチャー」の設定画面が表示されます。

☞ 95～97ページ

※ 操作パネルに [PIP] ボタンはありません。

ユーザー 1 の画面（例）



※ 表示は約 10 秒間出ます。

※ 「設定」の「ピクチャーインピクチャー」を「オフ」に設定しているときは「インプット」と「入力信号」のみが表示されます。

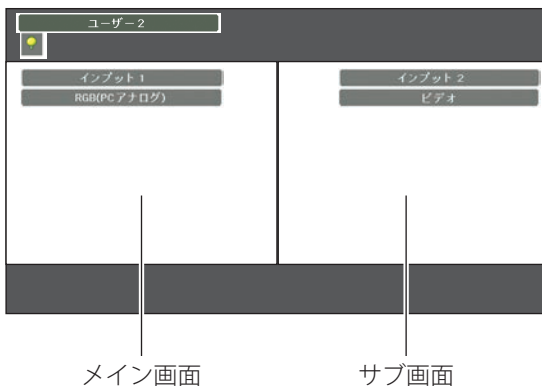
※ 表示中にリモコンまたは操作パネルの [ポイント] ボタン上を押すと、メイン画面とサブ画面が入れ換わります。

※ 「オンスクリーン表示・オフ」(☞ 90ページ) のときは画面表示は出ません。

※ 表示中にリモコンまたは操作パネルの [INPUT、INPUT1～3] ボタンを押すか、メニューから「入力」を操作すると、2画面表示はキャンセルされ選択した「入力」を1画面で表示します。

※ 「クローズドキャプション」はメイン画面のクローズドキャプションを表示します。

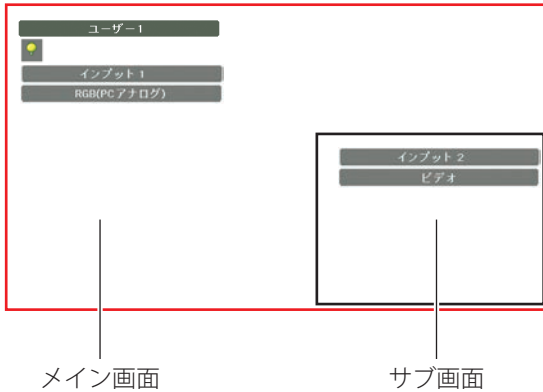
ユーザー 2 の画面（例）



※ 実際の背景は黒で表示されます。

リモコンのボタンの便利な機能（つづき）

赤枠の例（ユーザー 1・メイン画面）



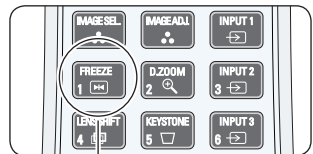
- ※ 表示は約 15 秒間出ます。
- ※ このときもう一度 [SELECT] ボタンを押すとサブ画面に赤枠が移動し、サブ画面を操作することができます。
- ※ 表示中にリモコンまたは操作パネルの [SELECT、ポイント（上下左右）、INPUT、INPUT1～3] 以外のボタンを押すと赤枠が解除されます。
- ※ リモコンの [INPUT1～3] ボタンを押すと「入力」の切り換えができます。
- ※ リモコンまたは操作パネルの [INPUT] ボタンを押すと「入力」の切り換え、または「自動入力切換」が動作します。

画面を一時的に静止させる

[FREEZE] ボタン

リモコンの [FREEZE] ボタンを押すと、再生機器に関係なく投映画面だけが静止します。

- ※ リモコンまたは操作パネルのどのボタンを押しても解除することができます。
- ※ 以下のときは [FREEZE] ボタンではなく数字キーの「1」として働きます。
 - ・暗証番号入力時
 - ・リモコンコード切り換え時



[FREEZE] ボタン



※ 動作中、画面左上に表示されます。



こんなときに便利です

プレゼンターがコンピュータで次の資料の準備をする間、視聴者には [FREEZE] ボタンで一時静止した画面を見てもらいます。準備中の無用な画像を隠して、スマートなプレゼンテーションが行なえます。

リモコンのボタンの便利な機能（つづき）

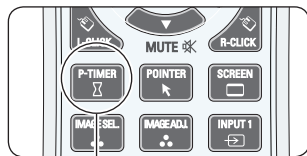
プレゼンテーション時に時間を表示する

[P-TIMER] ボタン

リモコンの [P-TIMER] ボタンを押すとボタンを押したときからの経過時間をカウントまたは設定時間からのカウントダウンを画面に表示します。

もう一度 [P-TIMER] ボタンを押すと時間のカウントを止め、それまでの時間を画面に表示します。さらに [P-TIMER] ボタンを押すと再スタートします。

- ※「設定」メニューの「プレゼンテーションタイマー」で設定します。☞ 104～106 ページ
- ※ ボタンを3秒以上長押しするとカウントしていた時間がリセットされます。カウントアップは「000:00」に、カウントダウンはタイマー設定時間に戻ります。
- ※ 動作中に他のボタンを押すと、そのボタンの機能が動作し、タイマー表示は消えますが、カウントは継続されます。



[P-TIMER] ボタン



💡 こんなときに便利です

プレゼンテーションの持ち時間が決められているときなど、プレゼンターは経過時間を考えながら、スムーズなプレゼンテーションを行なうことができます。

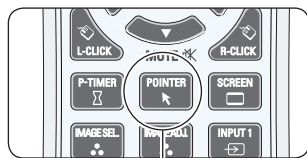
ポインタの表示を切り換える

[POINTER] ボタン

リモコンの [POINTER] ボタンを押すと画面上にポインタを表示させることができます。

リモコンの [左・右クリック / SELECT / ポイント] ボタン以外を押して解除することができます。また約30秒間操作しないしていると、自動的に解除されます。

- ※「設定」メニュー内の「ポインタ」でポインタの種類を変えることができます。☞ 104 ページ

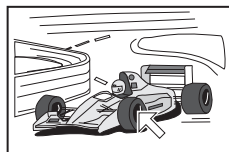


[POINTER] ボタン

💡 こんなときに便利です

プレゼンテーション中の画面で、視聴者にとくに見て欲しい部分を強調したいときなどに便利です。

ポインタ



保守とお手入れ

入力信号の選択や、メニュー画面の説明と設定の手順を説明します。

ランプの交換	120
お手入れについて	122
エアフィルターについて	123
内部温度の上昇について	127
インジケータ表示と プロジェクターの状態	129
故障かなと思ったら	134

ランプの交換

[LAMP REPLACE] インジケータと [ランプ交換] 表示について

[LAMP REPLACE] インジケータ（橙）の点灯は、ランプ交換時期の目安です。[LAMP REPLACE] インジケータが点灯したときは、ランプをすみやかに交換してください。ランプを交換するまで電源「ON(入)」のときに点灯します。なお、点灯する前に寿命が尽きる場合もあります。

また、画面右上に現れる「ランプ交換」のお知らせ表示でもランプ交換時期をお知らせします。

右図の「ランプ交換」が表示されたら、すみやかにランプを交換してください。



※ 画面表示は約 10 秒間です。

※ 「ランプコントロール」の「ランプ電源モード」を「モード2」に設定しているときに、ランプが寿命を越えているときは、ランプ交換表示が表示されたまま、約3分後に電源が切れます。

※ 「オンスクリーン表示」を「オフ」にしているときは上記のどちらのときも表示されません。

ランプ交換のしかた

ランプの交換はランプハウスごとに行ないます。かならず指定のランプハウスを取りつけてください。交換ランプはお買い上げの販売店にご相談ください。また、ご注文の際には、次のことをお知らせください。

プロジェクターの品番	交換ランプの品番（サービス部品コード）
LP-ZM5000	POA-LMP136（610 346 9607）

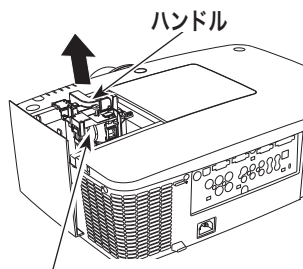
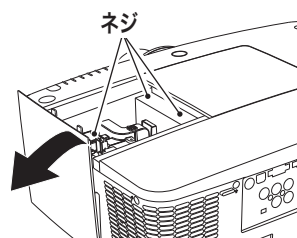
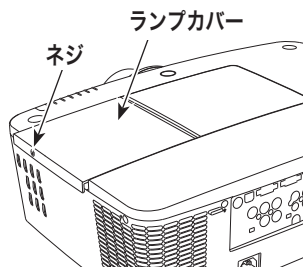


動作中、ランプは大変高温になります。ランプを交換するときは、本機の電源を切り、ファン停止後に電源コードを抜き、45分以上放置してから行なってください。動作停止後すぐに手で触ると、やけどをするおそれがあります。

ランプの交換（つづき）

手順

- 1 電源を切り、電源コードを抜きます。かならず45分以上放置してください。
- 2 (+)ドライバーで1本ネジをゆるめ、ランプカバーを外側にずらし、開きます。
- 3 3本のネジをゆるめ、取っ手を持ってランプハウスごと引き出します。
- 4 ランプの向きに注意しながら、交換用のランプハウスを本体の奥までしっかり押し込み、ネジを締めます。
- 5 ランプカバーを閉じ、ネジを締めて固定します。



ランプハウス

ガラス面を手で触って汚さないでください。

お保
手守
入と
れ

⚠️ ランプが点灯しなくなって交換するときのご注意

ランプが点灯しなくなってから交換するときは、ランプが破裂しているおそれがあります。

とくに、天井から吊り下げてご使用中にランプを交換するときは、ランプカバーの真下に立たずに、横から作業するようにしてください。ランプカバーもそっと開いて下さい。ランプカバーをははずすときにガラスの破片が落ちてくる可能性があります。万一吸い込んだり、目や口に入った場合はすみやかに医師にご相談ください。

※ 18 ページの「ランプについての安全上のご注意」も参照してください。

お手入れについて

本機の性能を維持し、安全にご使用いただくために、注意事項をよくお読みの上、正しくお手入れください。

● 長い間ご使用にならないとき ●

レンズや本体にホコリが付着しないよう、レンズキャップをはめ、ケースなどに納めて保管してください。

● キャビネットのお手入れ ●

キャビネットや操作パネルの部分の汚れはネルなどの柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

● キャビネットをいためないために ●

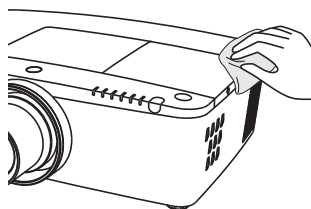
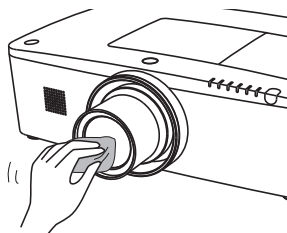
キャビネットにはプラスチックが多く使われています。キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムや粘着テープ、ビニール製品を長期間接触させないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

● ベンジン・シンナーは使わないで ●

ベンジンやシンナーなどでふきますと変質したり、塗料がはげることがあります。また化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。

● レンズのお手入れ ●

レンズ表面の掃除は、カメラ用に市販されているブローブラシやレンズクリーナー（カメラやメガネの掃除用に市販されているクロスやペーパー）で行なってください。レンズの表面は傷がつきやすいので、固いものでこすったり、たいたたりしないでください。



ご注意



可燃性の溶剤やエアースプレーをプロジェクターやその近くで絶対に使用しないでください。ランプの点灯により製品内部は非常に高温になっているため、電源を抜いた後でも、爆発・火災が発生することがあります。また、可燃性のエアースプレーでなくても、冷気により内部部品が故障するおそれがあります。

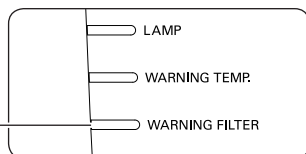
エアフィルターについて

[WARNING FILTER] インジケータと「フィルター警告」表示について

[WARNING FILTER] インジケータ（橙）の点灯・点滅は、エアフィルターの交換（巻き取り）やエアフィルターカートリッジの交換時期の目安です。

また、「フィルター警告」表示でもエアフィルターの状況や、エアフィルターカートリッジの交換時期をお知らせします。

WARNING FILTER
インジケータ



表示の種類

アイコン

 または	<p>「設定」メニューの「フィルターカウンター」で設定した時間に達したことをお知らせします。ただし、巻き取り回数の残りが「0」のときは が表示されます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 最初の表示の後 15 分ごとに繰り返し表示されます。 電源を入れたとき インプットを切り換えたとき 	<ul style="list-style-type: none"> 「オンスクリーン表示・オフ」、「FREEZE」、「SHUTTER」、中は表示されません。
	<p>エアフィルターカートリッジの交換をお知らせします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 最初の表示の後 15 分ごとに繰り返し表示されます。 電源を入れたとき インプットを切り換えたとき 	<ul style="list-style-type: none"> 「オンスクリーン表示・オフ」、「FREEZE」、「SHUTTER」、中は表示されません。
	<p>エアフィルターの巻き取り回数の残りが「0」になったことをお知らせします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 電源を入れたとき インプットを切り換えたとき 	<ul style="list-style-type: none"> 「オンスクリーン表示・オフ」、「FREEZE」、「SHUTTER」、中は表示されません。
	<p>メニューまたはリモコンから、強制巻き取りを行なっていることをお知らせします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 巻き取り実行中に表示されます。 	<ul style="list-style-type: none"> 「オンスクリーン表示・オフ」、「FREEZE」、「SHUTTER」、中は表示されません。

お保
手守
入と
れ

※ エアフィルターの巻き取り回数の残りがあるときは表示せずに自動的に交換（巻き取り）をします。

エアフィルターについて（つづき）

インジケータ

○	（点灯）	・ エアフィルターの巻き取り回数の残りが「0」になったことをお知らせします。
☉	（点滅・ゆっくり）	・ エアフィルターの巻き取り中です。
⊗	（点滅・速い）	・ エアフィルターの巻き取り中に異常が発生しました。 ・ エアフィルターカートリッジが本体にセットされていません。

エアフィルターカートリッジの交換

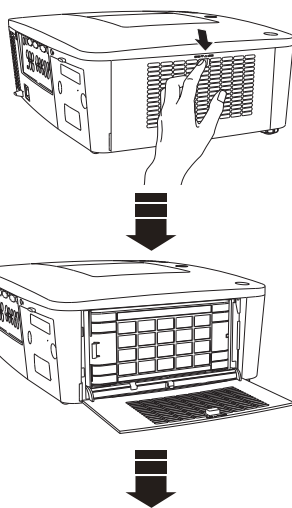
エアフィルターは、内部のレンズやミラーをホコリや汚れから守っています。エアフィルターや吸気口にホコリがたまると冷却効果が悪くなり、内部の温度上昇をまねいて故障の原因になります。エアフィルター周辺の吸気口は、こまめに掃除してください。

エアフィルターカートリッジの

サービス部品コード：610 346 9034

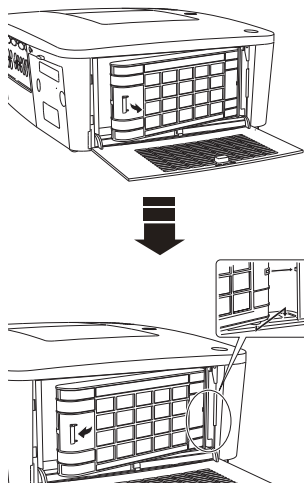
手順

- 1 プロジェクターの電源を切り、冷却ファンの回転が止まったことを確認し、電源プラグをコンセントから抜きます。交換はかならず電源を切ってから行ってください。
- 2 エアフィルターカバーの▼を押し下げて、開きます。（エアフィルターが見えます）



エアフィルターについて (つづき)

- 3 エアフィルターカートリッジのツメの部分をつまみ、引き出し、取り出します。
- 4 新しいエアフィルターカートリッジのリール部分を下にして本体にはめ込みます。
- 5 エアフィルターカバーを閉じます。カチッと音がするまでしっかり押し上げて閉じます。



フィルターカウンターをリセットします

エアフィルターカートリッジ交換後はかならず「使用時間」および「スクロール残回数」をリセットしてください。リセットすると [WARNING FILTER] インジケータ (橙) の点灯、および「フィルター警告」表示が消えます。

各リセットのしかたは、「設定」メニュー内の「フィルターカウンター」を参照してください。☞ 111 ページ


※ エアフィルターカートリッジの交換後は、かならず「使用時間・スクロール残回数」の両方をリセットしてください。

※ 「スクロール残回数」のリセットを行なうと内部のファンが回転して、新しいエアフィルターの調整を行ないます。調整にはしばらく時間がかかりますが、故障ではありません。

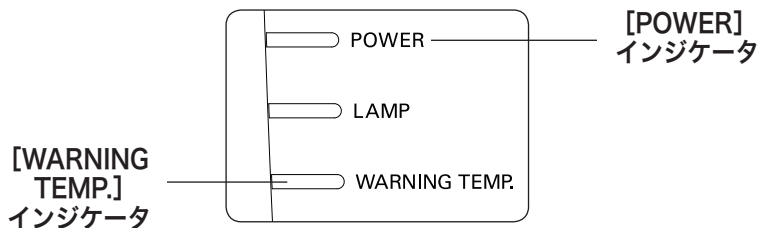
お保
手守
入と
れ

エアフィルターについて（つづき）

エアフィルターについてのご注意

- **エアフィルターカートリッジは再利用できません。**
エアフィルターの掃除などをして、再利用しないでください。使い終わりましたら、すみやかに新しいものと交換してください。
- **エアフィルターは水洗いできません。**
エアフィルターカートリッジが水などで濡れないようにご注意ください。故障の原因となります。
- **エアフィルターを使い切ってからカートリッジ交換をしてください。**
途中で交換したり、他のプロジェクターと使い回しなどをすると、フィルターの残回数を正しく確認できなくなり、故障の原因となります。
- **エアフィルターカートリッジの交換は電源が入っていないときに行なってください。**
電源が入った状態でカートリッジをはずすと、安全のため自動で電源が切れます。
- **エアフィルターカートリッジ交換後、「フィルターカウンターリセット」を忘れずに行なってください。**
リセットを行わないと、エアフィルターの残回数を正しく認識できなくなり、故障の原因となります。
- **エアフィルターカートリッジはていねいに扱ってください。**
エアフィルター部分に穴があいたり、破れたりするとフィルターの効果が損なわれます。
- **エアフィルターカバーの穴から内部へ、ものを差し込まないでください。**
内部には高電圧の部分や回転する部分があり、ふれると感電やけがの恐れがあります。また、冷却ファンの故障にもつながります。
- **エアフィルターを取りはずした状態でプロジェクターを使用しないでください。**
液晶パネル、レンズ、ミラーなどを汚し、画質を損なう原因になります。
- **エアフィルターカートリッジの交換表示にご注意ください。**
 が表示された後も、エアフィルターカートリッジの交換とフィルターカウンターのリセットを行わずに使用を続けると、光学部品を保護するために、電源オンから3分経過すると自動的に電源オフになります。

内部温度の上昇について



[WARNING TEMP.] インジケータの点滅

本機内部の温度が高くなると [WARNING TEMP.] インジケータ (赤) が低速で点滅しはじめます。さらに温度が高くなると、保護のため自動的に電源が切れて [POWER] インジケータ (緑) が消え、[WARNING TEMP.] インジケータは高速の点滅に変わります。([LAMP] インジケータ (赤) は点灯、[WARNING TEMP.] インジケータは高速点滅) 温度が下がると [POWER] インジケータが点灯し、リモコンの [ON] または本体の [ON/STAND-BY] ボタンで電源を入れることができます。電源を入れると [WARNING TEMP.] インジケータの点滅が消えます。

ここを確認してください

- ・ エアフィルター付近にホコリがたまっていますか。エアフィルター付近を掃除してください。
- ・ 排気口や吸気口がふさがれていませんか。通気を妨げるような設置をしないでください。
- ・ 使用温度範囲を超えた温度の場所で使用していませんか。(使用温度範囲：5℃～40℃)
- ・ 上記のいずれでもない場合は、冷却ファンまたは内部回路の故障が考えられます。お買い上げの販売店または修理相談窓口にご相談ください。

電源を入れるときは、[POWER] インジケータが点灯していることを確認してください。内部の温度が下がっていない場合は、再び [WARNING TEMP.] インジケータが点滅して電源が切れます。

お保
手守
入と
れ

内部温度の上昇について（つづき）

プロジェクターの電源が切れ、すべてのインジケータが点灯・点滅しているとき

プロジェクター内部で異常が検出されると、プロジェクターの電源が切れ、[LAMP] インジケータが点灯し、その他のインジケータが点滅を始めます。このとき、リモコンの [ON] および本体の [ON/STAND-BY] ボタンでの「電源入・切」はできなくなります。

このようなときは、電源コードを一旦コンセントから抜いて電源を入れなおし、プロジェクターの動作を確認してください。再び電源が切れて [LAMP] インジケータが点灯し、その他のインジケータが点滅する場合は、プロジェクターの点検をお買い上げの販売店、または修理相談窓口にご依頼ください。電源コンセントを接続したまま放置しないでください。火災や事故の原因となります。

※ エアフィルターカートリッジが本体にセットされていないとき、エアフィルターの巻き取り中に異常が起こったときにも全てのインジケータが点灯または点滅をします。☞ 132ページ

インジケータ表示とプロジェクターの状態

プロジェクターの各インジケータはプロジェクターの動作状態を表示しています。ご使用中うまく動作しないなど、動作が不明なときは下表にしたがい各インジケータでプロジェクターの動作を確認してください。

また、インジケータはメンテナンスをお知らせします。プロジェクターをよりよい性能で長期間ご使用いただくために、これらのインジケータの指示にしたがい適切なメンテナンスを行なってください。

インジケータの状態

○ … 点灯 ● … 暗点灯 ● … 消灯 ◯ … 点滅 (約 1 秒間隔)
 ◯ … 速い点滅 (約 0.5 秒間隔) ◯ … ゆっくりとした点滅 (約 2 秒間隔)

* のときのインジケータの状態について

[WARNING FILTER]、[LAMP REPLACE] インジケータは、点灯または点滅する条件になったときには、他のインジケータの状態に関係なく、点灯または点滅します。

例：

- [WARNING FILTER]、[LAMP REPLACE] インジケータは、点灯または点滅する条件になったときには、他のインジケータの状態に関係なく、点灯または点滅します。
- [LAMP] インジケータが点灯するとき [POWER] インジケータは点灯・点滅・消灯いずれの場合もあります。

正常な動作のとき

インジケータ						プロジェクターの状態
POWER 緑	LAMP 赤	WARNING TEMP. 赤	WARNING FILTER 橙	SHUTTER 青	LAMP REPLACE 橙	
●	●	●	●	●	●	電源コードがコンセントから抜けています。
○	○	●	*	*	*	プロジェクターはスタンバイ状態です。 リモコンの [ON] または操作パネルの [ON/ STAND-BY] ボタンを押すと動作します。
○	●	●	*	*	*	プロジェクターは正常に動作しています。
●	○	●	*	*	*	ランプの冷却中です。 [POWER] インジケータが点灯に変わるまで [ON] または [ON/STAND-BY] ボタンを押 して始動することはできません。
◯	●	●	*	●	*	パワーマネージメントモードになっています。 プロジェクターを操作するとランプが点灯 し、プロジェクターが動作をはじめます。

お保
手守
入と
れ

インジケータ表示とプロジェクターの状態（つづき）

正常な動作のとき（つづき）

インジケータ						プロジェクターの状態
POWER 緑	LAMP 赤	WARNING TEMP. 赤	WARNING FILTER 橙	SHUTTER 青	LAMP REPLACE 橙	
●	●	*	*	●	*	パワーマネジメントモードが働き、ランプの冷却中です。
○	●	●	*	○	*	シャッター機能がオンになっています。
○	●	●	*	○ [⚡]	*	シャッターマネジメントモードになっています。プロジェクターを操作するとランプが点灯し、プロジェクターが動作をはじめます。
●	●	●	*	○ [⚡]	*	シャッターマネジメントモードが働き、ランプの冷却中です。

内部の温度に異常があるとき

インジケータ						プロジェクターの状態
POWER 緑	LAMP 赤	WARNING TEMP. 赤	WARNING FILTER 橙	SHUTTER 青	LAMP REPLACE 橙	
○	●	○ [⚡]	*	*	*	プロジェクターの内部温度が高くなると、[WARNING TEMP.] インジケータが低速で点滅を始めます。
●	○	○ [⚡]	*	*	*	プロジェクターの内部温度がさらに高くなると、[WARNING TEMP.] インジケータが高速の点滅に変わり、[POWER] インジケータが消え、自動的に電源が切れます。リモコンの [ON] または操作パネルの [ON/STAND-BY] ボタンを押しても電源は入りません。プロジェクターが冷却され正常な温度になると [POWER] インジケータが点灯に変わります。リモコンの [ON] または操作パネルの [ON/STAND-BY] ボタンを押してプロジェクターを始動することができます。（[WARNING TEMP.] インジケータは点滅したままです。）エアフィルターの点検などを行なってください。

インジケータ表示とプロジェクターの状態（つづき）

内部の温度に異常があるとき（つづき）

インジケータ						プロジェクターの状態
POWER 緑	LAMP 赤	WARNING TEMP. 赤	WARNING FILTER 橙	SHUTTER 青	LAMP REPLACE 橙	
○	○	⦿	✱	✱	✱	内部の冷却が完了し、正常な温度に戻りました。リモコンの [ON] または操作パネルの [ON/STAND-BY] ボタンを押すと、[WARNING TEMP.] インジケータの点滅は消え、プロジェクターが動作します。エアフィルターの点検などを行なってください。

内部電源に異常があるとき

インジケータ						プロジェクターの状態
POWER 緑	LAMP 赤	WARNING TEMP. 赤	WARNING FILTER 橙	SHUTTER 青	LAMP REPLACE 橙	
⦿	○	⦿	⦿	⦿	⦿	<p>プロジェクターの内部に異常が検出されました。</p> <p>リモコンの [ON] または操作パネルの [ON/STAND-BY] を押しても電源は入りません。一度電源コードをコンセントから抜き、電源を入れなおしてください。</p> <p>再び電源が切れ、インジケータが点灯または点滅するときは、電源コードをコンセントから抜き、点検と修理をお客様相談センターへご依頼ください。点灯または点滅したままで放置しないでください。火災や感電の原因となります。</p> <p>※ エアフィルターカートリッジが本体にセットされていないときにも全てのインジケータが点灯または点滅をします。</p>

エアフィルターに異常があるとき

インジケータ						プロジェクターの状態
POWER 緑	LAMP 赤	WARNING TEMP. 赤	WARNING FILTER 橙	SHUTTER 青	LAMP REPLACE 橙	
○	✱	✱	⦿	✱	✱	エアフィルターの巻き取り中です。
○	●	✱	⦿	✱	✱	エアフィルターの巻き取り中に異常が起きました。

お保
手守
入と
れ


インジケータ表示とプロジェクターの状態（つづき）

エアフィルターに異常があるとき（つづき）

インジケータ						プロジェクターの状態
POWER 緑	LAMP 赤	WARNING TEMP. 赤	WARNING FILTER 橙	SHUTTER 青	LAMP REPLACE 橙	
✳	○	✳		✳	✳	エアフィルターの巻き取り中に異常が起こり、ランプの冷却を行なっています。
○	○	✳		✳	✳	エアフィルターの巻き取り中に異常が起きました。 プロジェクターはスタンバイ状態です。リモコンの [ON] または操作パネルの [ON/STAND-BY] ボタンを押してください。
○	✳	✳	○	✳	✳	画面右上に の表示があるときは、「設定」メニューの「フィルターカウンター」で設定した時間に達し、また巻き取り回数の残りも「0」になったことをお知らせしています。 エアフィルターカートリッジを交換してください。 画面右上に の表示があるときは、巻き取り回数の残りが「0」になり、目詰まりしていることをお知らせしています。 エアフィルターカートリッジを交換してください。 ※「オンスクリーン表示・オフ」(90 ページ) に設定しているとき、「FREEZE」(117 ページ) または「SHUTTER」(115 ページ) が動作中のときは画面表示はありません。
	○					エアフィルターカートリッジが本体にセットされていません。 ※ プロジェクター内部に異常が検出されたときにも全てのインジケータが点灯または点滅をします。
○	✳	✳	○	✳	✳	「フィルターカウンター」の「タイマー」(111 ページ) で設定した時間に到達したことをお知らせしています。 インジケータの点灯とともに、画面右上に が表示されます。

インジケータ表示とプロジェクターの状態 (つづき)

ランプに異常があるとき

インジケータ						プロジェクターの状態
POWER 緑	LAMP 赤	WARNING TEMP. 赤	WARNING FILTER 橙	SHUTTER 青	LAMP REPLACE 橙	
●	○	*	*	*	☉	ランプが点灯しません。(ランプの冷却中です。[POWER] インジケータが再度点灯した後、リモコンの [ON] または操作パネルの [ON/STAND-BY] ボタンを押してください。)
○	○	*	*	*	☉	ランプが点灯しません。(ランプの冷却が完了し、正常な温度に戻りました。リモコンの [ON] または操作パネルの [ON/STAND-BY] を押すと、[LAMP REPLACE] インジケータの点滅は消え、プロジェクターが動作します。)
○	●	*	*	*	☉	ランプが点灯していません。
*	*	*	*	*	○	ランプ交換推奨時間に達しました。また画面右上にも  が表示され交換をお知らせします。速やかにランプを交換してください。交換すると、[LAMP REPLACE] インジケータは消えます。

シャッターに異常があるとき

インジケータ						プロジェクターの状態
POWER 緑	LAMP 赤	WARNING TEMP. 赤	WARNING FILTER 橙	SHUTTER 青	LAMP REPLACE 橙	
*	*	*	*	☉	*	シャッターの開閉ができません。ランプを消灯し、冷却を開始し、スタンバイ状態になります。自動で電源を入れ、再試行を最高3回繰り返します。3回失敗すると、ランプの冷却後スタンバイ状態になります。
●	○	●	●	☉	*	シャッターの開閉の異常が発生し、ランプを消灯し、冷却をしています。
○	○	●	*	☉	*	シャッターの開閉の異常が発生し、ランプを消灯・冷却した後のスタンバイ状態です。

故障かなと思ったら

アフターサービスを依頼される前に、次のことをお確かめください。また「インフォメーション」メニューで、信号の状況や設定状況をお確かめください。


	こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
電源・初期設定	電源が入らない	<input type="checkbox"/> 電源コードは接続されていますか。	39
		<input type="checkbox"/> 電源は入っていますか。[ON] または [ON/STAND-BY] ボタンを押してみてください。	42
		<input type="checkbox"/> [POWER] インジケータが消えているときは、[ON] または [ON/STAND-BY] ボタンを押しても電源が入りません。	129
		<input type="checkbox"/> [WARNING TEMP.] インジケータが赤く点滅しているときは、内部の温度が過度に高くなっており [ON] または [ON/STAND-BY] ボタンを押しても保護のため電源は入りません。温度が下がるまでお待ちください。	127、129～133
		<input type="checkbox"/> 「キーロック」が働いていませんか。リモコンの [ON] または操作パネルの [ON/STAND-BY] ボタンを押してみてください。	106
	<input type="checkbox"/> エアフィルターカートリッジが本体にセットされていますか。本体を確認してみてください。		
	電源を入れたら、暗証番号を要求された	<input type="checkbox"/> 「暗証番号ロック」が設定されています。登録した（または工場出荷時の）暗証番号を入力してください。解除、または設定の変更は「設定」の「暗証番号ロック」を確認してください。	43、107、108
オープニング	オープニング画面が出ない	<input type="checkbox"/> 「オンスクリーン表示」が「オフ」または「カウントダウンオフ」になっていませんか。「設定」を確認してください。	90
	オープニング画面が初期設定の画像とちがう	<input type="checkbox"/> 「ロゴ選択」が「ユーザー」または「オフ」になっていませんか。「設定」を確認してください。	91
	インプットモードとランプコントロール以外の表示が現れた	<input type="checkbox"/> ランプまたはエアフィルターの状態をお知らせしています。ランプまたはエアフィルターを確認してください。	44
画像・画質	画像が映らない	<input type="checkbox"/> コンピュータやビデオ機器は正しく接続されていますか。接続を確認してください。	36～38
		<input type="checkbox"/> 電源を入れたあと約 30 秒間はオープニング画面が出て、画像は映せません。（「オンスクリーン表示・オフ」、「カウントダウン・オフ」のときをのぞく）	90
		<input type="checkbox"/> シャッターが閉じていませんか。[SHUTTER] インジケータが青く点灯していないか確認し、操作パネルまたはリモコンの [SHUTTER] ボタンを押してみてください。	115
		<input type="checkbox"/> コンピュータモードのときはコンピュータのシステムモードが、ビデオモードのときは信号の種類とカラーシステムや走査方式が合っていますか。	65～68
		<input type="checkbox"/> 使用温度範囲（5℃～40℃）から外れていませんか。	
		<input type="checkbox"/> コンピュータが外部出力に切り換わっていますか。出力の切替はコンピュータの取扱説明書をご覧ください。	

故障かなと思ったら (つづき)



	こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
画像・画質 (つづき)	画像が映らない (つづき)	<input type="checkbox"/> コンピュータを再起動してみてください。	
	画像が不鮮明	<input type="checkbox"/> フォーカスは合っていますか。フォーカスを合わせてください。	48
		<input type="checkbox"/> スクリーンとの距離がフォーカスの合う範囲から外れていませんか。	33
		<input type="checkbox"/> スクリーンに対して過度に斜めに投射しているときは、画面に台形ひずみ (あおり) ができ、部分的にフォーカスが合わなくなることがあります。	33
		<input type="checkbox"/> 温度の低い所から急に暖かい所へ持ち込んだとき、空気中の水分がレンズやミラー表面に結露し、画像がぼやけることがあります。しばらくすると通常の画像に戻ります。	
		<input type="checkbox"/> レンズが汚れたり、くもってはいませんか。レンズのお手入れをしてください。	122
	画面が暗い	<input type="checkbox"/> 「コントラスト」や「明るさ」が、正しく調整されていますか。「画質調整」を確認してみてください。	74～77
		<input type="checkbox"/> 画像イメージが、正しく選択されていますか。「画質モード」を確認してみてください。	73、74
		<input type="checkbox"/> 「ランプコントロール」で、「エコ1 (または2) モード」が選択されていませんか。「エコ1 (または2) モード」は他のモードよりも暗くなります。	98、99
		<input type="checkbox"/> ランプ交換時期が来ていませんか。ランプの輝度は寿命が近づくにつれだんだん暗くなる性質があります。「ランプ交換」のお知らせ表示が出たら、新しいランプに交換してください。	120、121
画像の色がおかしい・色が出ない	<input type="checkbox"/> 入力信号の種類、カラーシステムや走査方式、または、コンピュータのシステムモードは合っていますか。また、「画質調整」を確認してください。	65～68 74～77	
逆さまに映っている	<input type="checkbox"/> 「リア投射」や「天吊り」機能が「オン」になっていませんか。「スクリーン」メニューを確認してください。	80	
画像がゆがんだり切れたりする	<input type="checkbox"/> 「PC 調整」や「スクリーン」を確認・調整してください。	69～72 78～87	
画像の端がゆがんで見える	<input type="checkbox"/> レンズシフトを最大まで動かしていませんか。レンズシフトを確認してください。	48、49	
設定・操作・調整	自動 PC 調整が働かない	<input type="checkbox"/> 入力信号を確認してください。入力信号がデジタルのときは選択できません。	140～144
		<input type="checkbox"/> システムメニューで、480p、575p、720p、480i、575i、1035i、1080i、1080p が選択されているときは、自動 PC 調整機能は働きません。	69
	表示されない機能がある	<input type="checkbox"/> 「オンスクリーン表示」が「オフ」になっていませんか。「設定」を確認してください。	90

お保
手守
入と
れ

故障かなと思ったら（つづき）

	こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
設定・操作・調整	電源を切る前の設定が残っていない	<input type="checkbox"/> 項目の調整後に「メモリー登録」を実行しましたか。「メモリー」で登録しないと保存されない項目があります。	71、75
	「パワーマネジメント」が働かない	<input type="checkbox"/> 「FREEZE」が動作中のとき、またはシャッターを閉じて投映画面を遮断しているときは「パワーマネジメント」は動作しません。	102、103
	「キャプチャー」が働かない	<input type="checkbox"/> 無信号状態ではないですか。接続を確認してください。	36、37
		<input type="checkbox"/> 「キャプチャー」を使用できる入力信号は限られています。入力信号の種類を確認してください。	92
		<input type="checkbox"/> 「ピクチャーインピクチャー」で「ユーザー1～5」を選択しているときはキャプチャーできません。	92、95
	選択できないメニューがある	<input type="checkbox"/> コンピュータ入力画面とビデオ入力画面では、選択できるメニューにそれぞれ制限があります。また他のメニューが選択できなくなるメニュー設定もあります。制限されているメニューはグレーで表示され選択できません。	
	自動的に電源が切れる	<input type="checkbox"/> 工場出荷時の設定で「パワーマネジメント」機能が設定されています。「設定」を確認してください。	102
<input type="checkbox"/>  が表示された後、エアフィルターカートリッジの交換とフィルターカウンターのリセットを行わずに使用を続けた場合には、光学部品を保護するために電源を入れてから3分経過すると自動的に電源が切れます。エアフィルターカートリッジの交換とフィルターカウンターのリセットを行なってください。		112、123～125	
操作パネルで操作できない	<input type="checkbox"/> 「キーロック」で操作パネルからの操作をロックしていませんか。リモコンから「設定」を確認してください。	106	
シャッターが動かない	<input type="checkbox"/> 「シャッター・保護」でリモコンまたは操作パネルからの操作をロックしていませんか。「設定」を確認してください。	109	
リモコン	リモコンで操作できない	<input type="checkbox"/> 電池は正しく入っていますか。＋を正しく入れてください。	28
		<input type="checkbox"/> 電池がなくなっていないですか。新しい電池と交換してください。	28
		<input type="checkbox"/> 本体のリモコン受光部とリモコンの間に障害物はないですか。リモコンはリモコン受光部に向けて操作してください。障害物があれば移動させてください。	28
		<input type="checkbox"/> リモコンの受信範囲から、外れていませんか。受信範囲で操作してください。	28
		<input type="checkbox"/> リモコンコードを切り換えていませんか。リモコンコードを確認してください。	29
		<input type="checkbox"/> リモコンの [ON/OFF] スイッチが「ON」側になっているか確認してください。	
		<input type="checkbox"/> 「キーロック」でリモコンからの操作をロックしていませんか。操作パネルから「設定」を確認してください。	106

故障かなと思ったら（つづき）

	こんなときは	ここを確認してください	参照ページ	
リモコン	リモコンで操作できない（つづき）	<input type="checkbox"/> リモコンケーブルが本体またはリモコンに接続されていませんか。ケーブルが接続されているとワイヤレスリモコンとしては働きません。 <input type="checkbox"/> 「リモコン受光部」を前面または後面のいずれか単独にセットしていませんか。	29 101、102	
	コンピュータのワイヤレスマウスとして動作しない	<input type="checkbox"/> USB ケーブルは正しく接続されていますか。 <input type="checkbox"/> 接続するコンピュータにマウスドライバがインストールされていますか。ワイヤレスマウスとして使うにはコンピュータにマウスドライバがインストールされている必要があります。 <input type="checkbox"/> コンピュータ入力を選択されていますか。ワイヤレスマウスとして使えるのは、「インプット 1」の「RGB (PC アナログ)」、「RGB (PC デジタル)」、「HDMI」、あるいは「インプット 2 および 3」の「RGB」のいずれかが選択されているときです。 <input type="checkbox"/> 一旦電源を切り、プロジェクターの電源を先に入れてから、コンピュータを立ち上げてみてください。	114 62、63	
	音声	音が出ない	<input type="checkbox"/> コンピュータやビデオ機器の音声は正しく接続されていますか。接続を確認してください。	38
			<input type="checkbox"/> 音量が最小になっていませんか。[VOLUME +] ボタンを押してみてください。	53
<input type="checkbox"/> 消音状態になっていませんか。[MUTE] ボタンを押すか、[VOLUME +] ボタンを押してみてください。			53	
<input type="checkbox"/> 抵抗内蔵のオーディオケーブルを使用していませんか。抵抗なしのオーディオケーブルを使用してください。				
<input type="checkbox"/> 「入力」で選択した信号の映像が投影されていますか。接続していても映像が投影されていなければ音は出ません。接続を確認してください。			36～38	
<input type="checkbox"/> 「内蔵スピーカー」の設定を「オフ」にしていませんか。「音量」メニューを確認してください。			54	
その他	インジケータが点滅・点灯している	<input type="checkbox"/> 「インジケータ表示とプロジェクターの状態」で、プロジェクターの動作を確認してください。	129～133	
	キーロックの解除ができない ロゴ暗証番号・暗証番号を忘れた	<input type="checkbox"/> お手数ですが、お買い上げの販売店または修理相談窓口へご相談ください。		
	ボタンを押したのに、  が表示された	<input type="checkbox"/> プロジェクターがその操作を受け付けられないことをお知らせする表示です。接続や入力信号などを確認してみてください。		
	 Service が表示された	<input type="checkbox"/> プロジェクター内部に異常が検出されました。電源コードをコンセントから抜き、点検と修理をお買い上げの販売店または修理相談窓口へご相談下さい。		

付 録

コンピュータ	
システムモード一覧……………	140
メニュー内容一覧……………	146
仕様……………	150
(別売品……………)	152)

コンピュータシステムモード一覧

プロジェクターにはあらかじめ以下のシステムモードが用意されています。（「カスタムモード1～10」は含みません。）接続されたコンピュータの信号を判別して、プロジェクターが以下のシステムモードを自動で選択します。

コンピュータの信号がアナログのとき

画面表示	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
VGA 1	640x480	31.470	59.880
VGA 2	720x400	31.470	70.090
VGA 3	640x400	31.470	70.090
VGA 4	640x480	37.860	74.380
VGA 5	640x480	37.860	72.810
VGA 6	640x480	37.500	75.000
VGA 7	640x480	43.269	85.000
MAC LC13	640x480	34.970	66.600
MAC 13	640x480	35.000	66.670
480p	640x480	31.470	59.880
575p	768x575	31.250	50.000
575i	768x576	15.625	50.000
480i	640x480	15.734	60.000
SVGA 1	800x600	35.156	56.250
SVGA 2	800x600	37.880	60.320
SVGA 3	800x600	46.875	75.000
SVGA 4	800x600	53.674	85.060
SVGA 5	800x600	48.080	72.190
SVGA 6	800x600	37.900	61.030
SVGA 7	800x600	34.500	55.380
SVGA 8	800x600	38.000	60.510
SVGA 9	800x600	38.600	60.310
SVGA 10	800x600	32.700	51.090
SVGA 11	800x600	38.000	60.510
MAC 16	832x624	49.720	74.550
XGA 1	1024x768	48.360	60.000
XGA 2	1024x768	68.677	84.997
XGA 3	1024x768	60.023	75.030
XGA 4	1024x768	56.476	70.070
XGA 5	1024x768	60.310	74.920
XGA 6	1024x768	48.500	60.020
XGA 7	1024x768	44.000	54.580
XGA 8	1024x768	63.480	79.350
XGA 9	1024x768	36.000	87.170
XGA 10	1024x768	62.040	77.070

*i

*i

*i

コンピュータシステムモード一覧 (つづき)

コンピュータの信号がアナログのとき (つづき)

画面表示	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
XGA 11	1024x768	61.000	75.700
XGA 12	1024x768	35.522	86.960
XGA 13	1024x768	46.900	58.200
XGA 14	1024x768	47.000	58.300
XGA 15	1024x768	58.030	72.000
MAC 19	1024x768	60.240	75.080
SXGA 1	1152x864	64.200	70.400
SXGA 2	1280x1024	62.500	58.600
SXGA 3	1280x1024	63.900	60.000
SXGA 4	1280x1024	63.340	59.980
SXGA 5	1280x1024	63.740	60.010
SXGA 6	1280x1024	71.690	67.190
SXGA 7	1280x1024	81.130	76.107
SXGA 8	1280x1024	63.980	60.020
SXGA 9	1280x1024	79.976	75.025
SXGA 10	1280x960	60.000	60.000
SXGA 11	1152x900	61.200	65.200
SXGA 12	1152x900	71.400	75.600
SXGA 13	1280x1024	50.000	86.000
SXGA 14	1280x1024	50.000	94.000
SXGA 15	1280x1024	63.370	60.010
SXGA 16	1280x1024	76.970	72.000
SXGA 17	1152x900	61.850	66.000
SXGA 18	1280x1024	46.430	86.700
SXGA 19	1280x1024	63.790	60.180
SXGA 20	1280x1024	91.146	85.024
SXGA+ 1	1400x1050	63.970	60.190
SXGA+ 2	1400x1050	65.350	60.120
SXGA+ 3	1400x1050	65.120	59.900
SXGA+ 4	1400x1050	64.030	60.010
SXGA+ 5	1400x1050	62.500	58.600
SXGA+ 6	1400x1050	64.744	59.948
SXGA+ 7	1400x1050	65.317	59.978
MAC 21	1152x870	68.680	75.060
MAC	1280x960	75.000	75.080
MAC	1280x1024	80.000	75.080
WXGA 1	1366x768	48.360	60.000
WXGA 2	1360x768	47.700	60.000

コンピュータシステムモード一覧 (つづき)

コンピュータの信号がアナログのとき (つづき)

画面表示	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	
WXGA 3	1376x768	48.360	60.000	
WXGA 4	1360x768	56.160	72.000	
WXGA 6	1280 x 768	47.776	59.870	
WXGA 7	1280 x 768	60.289	74.893	
WXGA 8	1280 x 768	68.633	84.837	
WXGA 9	1280 x 800	49.600	60.050	
WXGA 10	1280 x 800	41.200	50.000	
WXGA 11	1280 x 800	49.702	59.810	
WXGA 12	1280x800	63.980	60.020	
WUXGA 1	1920 x 1200	74.556	59.885	**1
WUXGA 2	1920 x 1200	74.038	59.950	
WSXGA+ 1	1680 x 1050	65.290	59.954	
WXGA+ 1	1440 x 900	55.935	59.887	
WXGA+ 2	1440 x 900	74.918	60.000	
UXGA 1	1600x1200	75.000	60.000	
UXGA 2	1600x1200	81.250	65.000	**1
UXGA 3	1600x1200	87.500	70.000	**1
UXGA 4	1600x1200	93.750	75.000	**1
UXGA 5	1600x1200	106.250	85.000	**1
720p	1280x720	45.000	60.000	
720p	1280x720	37.500	50.000	
1035i	1920x1035	33.750	60.000	*i
1080i	1920x1080	33.750	60.000	*i
	1920x1080	28.125	50.000	*i
1080p	1920x1080	33.750	30.000	
	1920x1080	28.125	25.000	
	1920x1080	27.000	24.000	
	1920x1080	67.500	60.000	
	1920x1080	56.250	50.000	
1080psf/30	1920x1080	33.750	60.000	
1080psf/25	1920x1080	28.125	50.000	
1080psf/24	1920x1080	27.000	48.000	

コンピュータシステムモード一覧 (つづき)

コンピュータの信号がデジタルのとき

画面表示	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	
D-VGA	640x480	31.470	59.940	
D-480i	720x480	15.734	60.000	**2
D-575i	720x576	15.625	50.000	**2
D-480p	720x480	31.470	60.000	
D-575p	720x575	31.250	50.000	
D-SVGA	800x600	37.879	60.320	
D-XGA	1024x768	43.363	60.000	
D-WXGA 1	1366x768	48.360	60.000	
D-WXGA 2	1360x768	47.700	60.000	
D-WXGA 3	1376x768	48.360	60.000	
D-WXGA 4	1360x768	56.160	72.000	
D-WXGA 5	1366x768	46.500	50.000	
D-WXGA 6	1280 x 768	47.776	59.870	
D-WXGA 7	1280 x 768	60.289	74.893	
D-WXGA 8	1280 x 768	68.633	84.837	
D-WXGA 9	1280 x 800	49.600	60.050	
D-WXGA 10	1280 x 800	41.200	50.000	
D-WXGA 11	1280 x 800	49.702	59.810	
D-WXGA 12	1280x800	63.980	60.020	
D-SXGA 1	1280x1024	63.980	60.020	
D-SXGA 2	1280x1024	60.276	58.069	
D-SXGA+ 1	1400x1050	63.970	60.190	
D-SXGA+ 2	1400x1050	65.350	60.120	
D-SXGA+ 3	1400x1050	65.120	59.900	
D-SXGA+ 4	1400x1050	64.030	60.010	
D-SXGA+ 5	1400x1050	62.500	58.600	
D-SXGA+ 6	1400x1050	64.744	59.948	
D-SXGA+ 7	1400x1050	65.317	59.978	
D-UXGA	1600 x 1200	75.000	60.000	
D-WUXGA 2	1920 x 1200	74.038	59.950	
D-WSXGA+ 1	1680 x 1050	65.290	59.954	
D-WXGA+ 1	1440 x 900	55.935	59.887	
D-720p	1280x720	45.000	60.000	
D-720p	1280x720	37.500	50.000	
D-1035i	1920x1035	33.750	60.000	*i
D-1080i	1920x1080	33.750	60.000	*i
	1920x1080	28.125	50.000	*i
D-1080psf/30	1920x1080	33.750	60.000	

コンピュータシステムモード一覧 (つづき)

コンピュータの信号がデジタルのとき (つづき)

画面表示	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
D-1080psf/25	1920x1080	28.125	50.000
D-1080psf/24	1920x1080	27.000	48.000
D-1080p	1920x1080	33.750	30.000
	1920x1080	28.125	25.000
	1920x1080	27.000	24.000
	1920x1080	67.500	60.000
	1920x1080	56.250	50.000

※ 仕様は改善のため予告なしに変更する場合があります。

※ ドットクロックが 140MHz 以上のコンピュータの信号には対応していません。

※ ご使用のコンピュータによっては、D-WXGA 1～D-WXGA+ 1 の画像は正しく映らない場合があります。

※ SXGA を越える解像度の信号 (SXGA、WXGA、UXGA、MAC21、MAC、720p、1035i、1080i) を投射するときは、線や文字がオリジナルの画像と異なることがあります。

* i : インターレース信号

**1 : 「画面サイズ：リアル」には対応していません。

**2 : HDMI ケーブルを使用し、HDMI 端子に接続された信号のときのみ対応します。

コンピュータシステムモード一覧 (つづき)

ピクチャーインピクチャー 一覧表

○: P IN P (ピクチャーインピクチャー) が、可能な組み合わせ - : P IN P が、不可能な組み合わせ

メイン画面 サブ画面		インプット 1				インプット 2			インプット 3		
		RGB (PC アナログ)	RGB (Scart)	DVI	HDMI	Video	Y,Pb/ Cb,Pr/ Cr	RGB	Video	Y,Pb/ Cb,Pr/ Cr	S-video
イン プ ッ ト 1	RGB (PC アナログ)	/	-	○	○	○	○	○	○	○	○
	RGB (Scart)	-	/	○	○	-	○	○	-	○	-
	DVI	○	○	/	-	○	○	○	○	○	○
	HDMI	○	○	-	/	○	○	○	○	○	○
イン プ ッ ト 2	Video	○	-	○	○	/	-	-	-	-	-
	Y,Pb/Cb,Pr/Cr	○	○	○	○	-	/	-	○	○	○
	RGB	○	○	○	○	-	-	/	○	○	○
イン プ ッ ト 3	Video	○	-	○	○	-	○	○	/	-	-
	Y,Pb/Cb,Pr/Cr	○	○	○	○	-	○	○	-	/	○
	S-video	○	-	○	○	-	○	○	-	○	/

※ PC・ビデオの入力信号で、周波数や信号種類によっては解像度が下がったり、「×」が表示され、
 投映されないことがあります。

< 解像度を下げて投映 >

PC アナログ：100 ~ 160MHz まで

ビデオのアナログ：1080p

< 投映されず「×」が表示される >

PC アナログ：160MHz を越えるとき

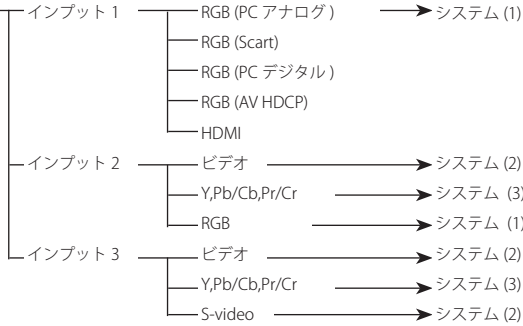
PC デジタル：100MHz を越えるとき

ビデオのデジタル：1080p

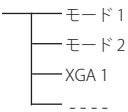
メニュー内容一覧



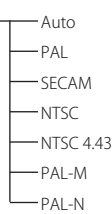
入力



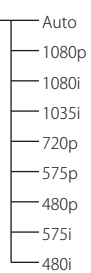
システム (1)



システム (2)



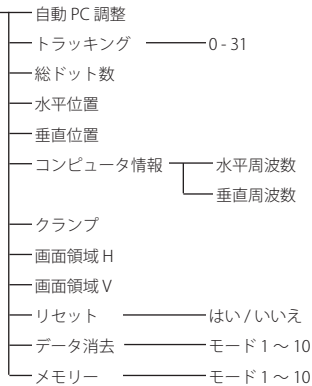
システム (3)



※ 表示される内容は入力された信号によって異なります。

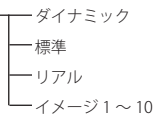


PC 調整



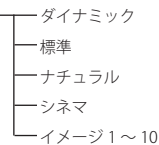
画質モード

(PC入力時)



画質モード

(ビデオ入力時)



メニュー内容一覧 (つづき)



画質調整

- コントラスト ———— 0 - 63
- 明るさ ———— 0 - 63
- 色の濃さ* ———— 0 - 63
- 色合い* ———— 0 - 63
- アイリス ———— オフ / オン
- 色温度 ———— 超低 / 低 / 中 / 高 / 調整中
- 赤 ———— 0 - 63
- 緑 ———— 0 - 63
- 青 ———— 0 - 63
- オフセット ———— 赤 / 緑 / 青
- 画質 ———— 0 - 31
- ガンマ補正 ———— 0 - 15
- ノイズリダクション* ———— オフ / オン
- プロGRESSIVE* ———— オフ / オン / フィルム
- リセット ———— はい / いいえ
- メモリー ———— イメージ 1 ~ 10

* ビデオ入力の時のみ表示

** PC 入力の時のみ表示



スクリーン

- ノーマル
- フル
- ワイド (16:9)
- ズーム
- リアル**
- ピッタリワイド*
- カスタム
- カスタム調整 ————
 - 水平スケール
 - 垂直スケール
 - H&V
 - 水平位置
 - 垂直位置
 - 共通
 - リセット
- デジタルズーム+**
- デジタルズーム-**
- キーストーン ————
 - 標準
 - コーナー補正
 - コーナーパターン ———— オフ / 赤 / 白 / 青
 - メモリー ———— メモリー / リセット
- 天吊り ———— オン / オフ
- リア投映 ———— オン / オフ
- スクリーンアスペクト ————
 - 初期設定 (16:10)
 - 16:9
 - 4:3
- リセット ———— はい / いいえ

メニュー内容一覧 (つづき)



サウンド

- 音量 ————— 0 - 63
- 内蔵スピーカー ——— オン/オフ
- 消音 ————— オン/オフ



設定

(第一画面)

- 言語 —————
 - 英語 ————— オランダ語
 - ドイツ語 ————— スウェーデン語
 - フランス語 ————— ロシア語
 - イタリア語 ————— 中国語
 - スペイン語 ————— 韓国語
 - ポルトガル語 ————— 日本語
- メニュー ————— ポジション / メニューサイズ
- インプットボタン ———
 - モード 1
 - モード 2
 - モード 3
- オンスクリーン表示 ——— オフ / カウントダウンオフ / オン
- バックグラウンド ————— 青 / ユーザー / 黒
- ロゴ —————
 - ロゴ選択 ————— オフ / 初期設定 / ユーザー
 - キャプチャ ————— はい / いいえ
 - ロゴ暗証番号ロック ——— オン / オフ
 - ロゴ暗証番号変更
- ピクチャーインピクチャー ———
 - ピクチャーインピクチャー ———
 - オフ / ユーザー 1 ~ 5
 - モード —————
 - P in P / P by P
 - メイン画面 —————
 - インプット / 入力信号 / サイズ / ポジション
 - サブ画面 —————
 - インプット / 入力信号 / サイズ / ポジション
 - フレームロック —————
 - メイン画面 / サブ画面
 - リセット
 - データ消去
 - メモリー
 - 戻る
- HDMI 設定 —————
 - イメージ ————— ノーマル / 拡張
 - サウンド ————— HDMI / AUDIO 1
- ランプコントロール ———
 - ランプコントロール ——— オート / ノーマル / エコ 1 / エコ 2
 - ランプ電源モード ——— モード 1 / モード 2
- フィルター制御 ————— はい / いいえ
- ファン制御 ————— ノーマル / 最大
- シンプルモード ————— オフ / オン
- リモコンコード ————— コード 1 ~ コード 8

メニュー内容一覧 (つづき)



設定

(第二画面)

- リモコン受光部 ———— すべて / 前&天面 / 天面&後 / 前&後 / 前 / 天面 / 後
- パワーマネージメント ———— オフ / 待機 / シャットダウン
 - タイマー ———— 分 (1 ~ 30分)
- スタンバイモード ———— エコ / ネットワーク
- ダイレクトオン ———— オフ / オン
- ポインタ ———— ドット / 矢印 / 指先
- プレゼンテーション ———— カウントアップ
- タイマー ———— カウントダウン
 - タイマー ———— 1 ~ 180 (分)
 - スタート (ストップ / 再スタート)
 - リセット
 - 終了
- セキュリティ ———— キーロック ———— オフ / プロジェクター / リモコン
 - 暗証番号ロック ———— オフ / オン 1 / オン 2
 - 暗証番号変更
- シャッター ———— 保護 ———— オフ / プロジェクター / リモコン / 両方
 - 解除キー ———— すべて / シャッター
 - マネージメント ———— 5 ~ 480 分
- クローズドキャプション ———— クローズドキャプション — オフ / CC1 ~ CC4
 - カラー ———— カラー / ホワイト
- 映像遅延制御 ———— オフ / 低 / 中 / 高
- フィルターカウンター ———— フィルターカウンター ——— 時間 (使用時間)
 - タイマー ———— オフ / 400 時間 / 700 時間 / 1000 時間
 - フィルターカウンターリセット ———— はい / いいえ
 - スクロール残回数 ———— (1 ~ 9) スクロール
 - スクロールカウンターリセット ———— はい / いいえ
- テストパターン ———— 8種類のパターン
- 初期設定 ———— はい / いいえ



インフォメーション

(第一画面)

- 入力
- システム
- 水平周波数
- 垂直周波数
- スクリーン
- 言語
- ランプ状態
- ランプカウンター
- フィルターカウンター
- パワーマネージメント

インフォメーション

(第二画面)

- キーロック
- 暗証番号ロック
- シャッター
 - マネージメント
 - 保護
- シンプルモード
- リモコンコード
- SERIAL NO.

プロジェクター本体

型名	LP-ZM5000
種類	液晶プロジェクター
表示方式	液晶パネル3枚3原色液晶シャッター方式
液晶パネル	サイズ:0.76型x3 アスペクト比 16:10 駆動方式:ポリシリコン TFT アクティブマトリクス 画素配列:ストライプ 画素数:2,304,000画素 (1,920 × 1,200) × 3枚、総画素数 6,912,000画素
レンズ	1.7倍ズームレンズ F=1.7 ~ 2.3 f=26.9 ~ 45.4mm
光源	330W NSHA ランプ
画面サイズ	最小40 ~ 最大400型 (1.4m ~ 24.4m)
ズーム/ フォーカス調整	電動 (電動式レンズの場合)
入出力	
INPUT 1	DVI入力 (1系統):DVI-D コネクター (24ピン) デジタル:TMDs (Transition Minimized Differential Signaling) アナログRGB入力 (1系統):ミニ D-sub_15ピン アナログRGB信号:0.7Vp-p、正極性、インピーダンス 75 Ω 水平・垂直同期:ITL レベル、負または正極性 (G信号中のコンポジット同期:0.3Vp-p、負極性、インピーダンス 75 Ω) HDMI映像 (1系統):ベローズタイプ 19ピン デジタル:TMDs(Transition Minimized Differential Signaling)
INPUT 2	アナログRGB入力:BNC x 5ピン 映像入力:BNCコネクター、1Vp-p、同期負、インピーダンス 75 Ω コンポーネント入力:セパレート Y Cb/Pb Cr/Pr 信号、BNC x 5ピン Y;1Vp-p、同期負、インピーダンス 75 Ω Cb/Pb;0.7Vp-p、インピーダンス 75 Ω Cr/Pr;0.7Vp-p、インピーダンス 75 Ω
INPUT 3	コンポーネント入力:ピンジャック Y Cb/Pb Cr/Pr 信号 Y;1Vp-p、同期負、インピーダンス 75 Ω Cb/Pb;0.7Vp-p、インピーダンス 75 Ω Cr/Pr;0.7Vp-p、インピーダンス 75 Ω 映像:ピンジャック、1Vp-p、同期負、インピーダンス 75 Ω S映像入力:セパレート YC 信号、ミニ DIN_4ピン Y;1Vp-p、同期負、インピーダンス 75 Ω C;0.286Vp-p (バースト信号)、インピーダンス 75 Ω
MONITOR OUT	アナログRGB出力 (出力1系統):ミニ D-sub 15ピン
音声	
AUDIO IN 1/2	ミニジャック (ステレオ)、400mVrms、インピーダンス 47K Ω以上
3	ピンジャック (ステレオ)、400mVrms、インピーダンス 47K Ω以上 (左モノ:右)

仕様 (つづき)

プロジェクター本体 (つづき)

AUDIO OUT	ミニジャック (ステレオ)、可変出力、インピーダンス 1K Ω以下
制御入出力、他	コントロールポート : D-sub 9ピン LAN 端子 : RJ-45 (100Base-TX / 10Base-T) USB 端子 : USB コネクタ (1 系統、シリーズ B) ワイヤードリモコン端子 : ミニジャック
音声出力	モノラル 10W (JEITA)
スピーカー	4cm 円形 1 個
入力対応 走査周波数	水平 15k ~ 120kHz、垂直 48 ~ 100Hz
カラーシステム	6 システム (NTSC/PAL/SECAM/NTSC4.43/PAL-M/PAL-N)
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力 待機中消費電力	519W 0.4W/24W (スタンバイモード : エコ/ネットワーク)
本体寸法	幅 489.5 × 高さ 164.0 × 奥行 434.8 mm (突起物、レンズを含む)
質量	9.8 Kg (レンズを含む)

リモコン

電源	DC3.0V 単 4 形アルカリ乾電池 2 本使用
到達距離	約 5m (受光部正面)
本体寸法	幅 48.0 × 高さ 27.0 × 奥行 145.0mm
質量	102g (電池を含む)

付属品

- リモコン (MXCE) 1 個
- リモコン用アルカリ乾電池 (単 4 形) 2 本
- 電源コード 1 本
- 電源プラグアダプタ 1 個
- コンピュータケーブル (D-sub 用) 1 本
- 取扱説明書 2 冊 (本書 + 別冊)
- 保証書
- 保証登録票 1 枚
- お客さまご相談窓口一覧 1 枚
- レンズキャップ 1 個
- レンズプロテクター 1 個
- PIN code lock シール 1 枚
- レンズ盗難防止ネジ 1 本

別売品

- | | |
|----------------------------|------------------|
| ■ 天吊金具用ベース金具 | 品番：POA-CHB-XM150 |
| ■ 高天井用天吊金具 | 品番：POA-CHL-PL01 |
| ■ 低天井用天吊金具 | 品番：POA-CHS-PS01 |
| ■ 標準レンズ | 品番：LNS-S20 |
| ■ 長焦点ズームレンズ | 品番：LNS-T20 |
| ■ 超長焦点ズームレンズ | 品番：LNS-T21 |
| ■ 短焦点ズームレンズ | 品番：LNS-W20 |
| ■ 固定・短焦点ズームレンズ | 品番：LNS-W21 |
| ■ PJ-Net Organizer plus II | 品番：POA-PN03A |

各プロジェクターによって色味が異なります。

各プロジェクターはそれぞれ異なる特性を持っています。複数台のプロジェクターを用いて同じスクリーン上、または隣り合わせて投映される場合、プロジェクターのホワイトバランスや色味の違いが感じられます。これは各プロジェクター固有の特性によるものでプロジェクターの故障ではありません。

※ 高調波電流規格 JIS C 61000-3-2:2005 適合品

※ 液晶パネルの有効画素数は 99.99 % 以上です。投映中 0.01 % 以下の点灯したままの点や、消灯したままの点が見られる場合があります。これは液晶パネルの特性で生じるもので故障ではありません。

※ HDCP とは、High-bandwidth Digital Contents Protection の略称で、DVI を經由して送られるデジタル映像の不正コピーを防止することを目的とした著作権保護用システムのことです。HDCP の規格は、Digital Content Protection, LLC という団体によって、策定・管理されています。本機の DVI-D 入力端子は、HDCP 技術を用いてコピープロテクトされたデジタル映像を再生、投映することができます。HDCP の規格変更等が行なわれた場合、これら HDCP 技術でコピープロテクトされたデジタル映像の DVI-D 端子での再生はできなくなる場合があります。

※このプロジェクターは日本国内用に設計されております。電源電圧が異なる外国ではお使いいただけません。

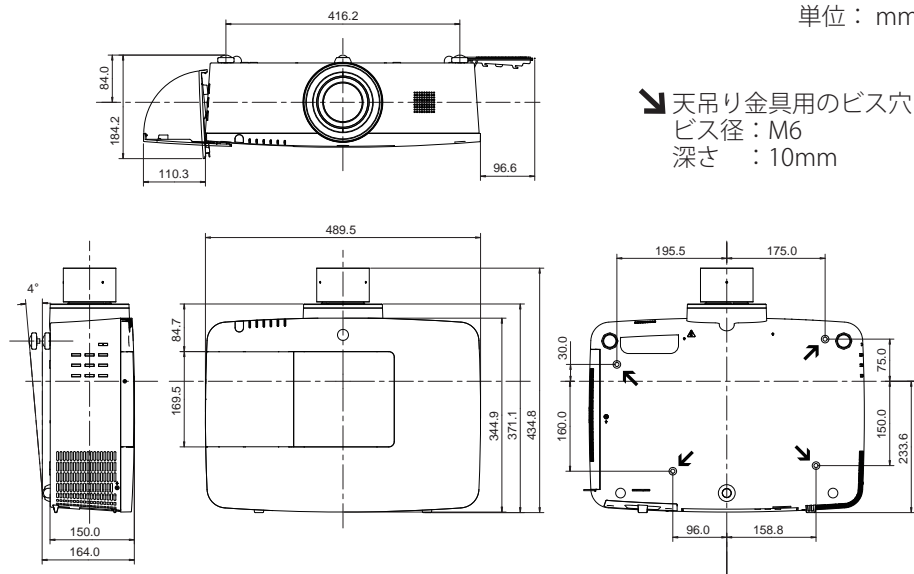
※仕様および外観は改善のため予告なく変更する場合があります。

※説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標です。

仕様 (つづき)

寸法図

単位：mm

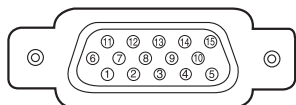


端子の仕様

ANALOG /ANALOG OUT (コンピュータ入力/モニター出力端子)

コンピュータ入力・モニター出力の入出力端子として動作します。接続には、コンピュータ接続ケーブル (D-sub 用) を使用します。

ミニ D-sub15 ピン



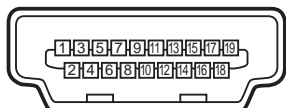
1	R/Cr 入出力	9	+5V パワー / 未接続
2	G/Y 入出力	10	接地 (垂直同期)
3	B/Cb 入出力	11	接地
4	未接続	12	DDC データ / 未接続
5	接地 (水平同期)	13	水平同期 入出力 (1ボット:水平垂直同期)
6	接地 (R)		
7	接地 (G)	14	垂直同期 入出力
8	接地 (B)	15	DDC クロック / 未接続

仕様 (つづき)

HDMI (HDMI 端子 Type A)

HDMI 出力端子を持つビデオ機器や DVD プレーヤ、ハイビジョン受信機などを接続する端子です。接続には HDMI 端子ケーブルをご使用ください。

HDMI 端子 19 ピン (Type A)



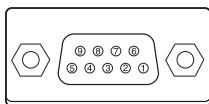
1	TMDS データ 2+ 入力	11	接地 (TMDS クロック)
2	接地 (TMDS データ 2)	12	TMDS クロック - 入力
3	TMDS データ 2- 入力	13	未接続
4	TMDS データ 1+ 入力	14	未接続
5	接地 (TMDS データ 1)	15	SCL
6	TMDS データ 1- 入力	16	SDA
7	TMDS データ 0+ 入力	17	接地 (DDC/CEC)
8	接地 (TMDS データ 0)	18	+5V 電源
9	TMDS データ 0- 入力	19	プラグ挿入検出
10	TMDS クロック + 入力		

HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LCC の商標または登録商標です。

CONTROL PORT (コントロールポート端子)

シリアルでコンピュータ機器からプロジェクターを操作するとき、コンピュータ機器との接続に使用する端子です。

D-sub 9 ピン

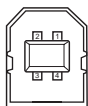


1	未接続	6	未接続
2	RXD	7	未接続
3	TXD	8	未接続
4	未接続	9	未接続
5	SG		

USB (ユニバーサルシリアルバス端子)

USB 規格対応の端子を持つコンピュータ機器との接続に使用する端子です。(シリーズ B)

USB コネクター (シリーズ B)



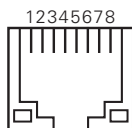
1	VCC(5V)	3	+ DATA
2	- DATA	4	接地

仕様 (つづき)

LAN (ネットワーク接続端子)

有線 LAN 端子 (ケーブル) を接続します。

LAN コネクター



1	TX +	5	未接続
2	TX -	6	RX -
3	RX +	7	未接続
4	未接続	8	未接続

暗証番号を忘れるとプロジェクターの操作ができなくなります

暗証番号を忘れると、プロジェクターの操作ができなくなります。以下の記入欄に登録した暗証番号を書き留めておくことをおすすめします。ただし、第三者に見られたり、持ち出されたりしないように、取扱説明書は大切に保管してください。暗証番号がわからなくなってしまったときは、お買い上げの販売店へご相談ください。

暗証番号ロック

の暗証番号

工場出荷時の暗証番号： 1 2 3 4*

ロゴ暗証番号ロック

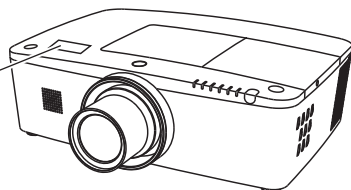
の暗証番号

工場出荷時の暗証番号： 4 3 2 1*

* 暗証番号を変更された場合は、工場出荷時の暗証番号は無効になります。

暗証番号が登録されていることをシールでわかるようにしましょう

暗証番号を登録し、暗証番号を有効にしているとき、付属のシールを本体の目立つところへ貼り付けます。



PJ Link について

このプロジェクターは JBMA (Japan Business Machine and Information System Industries Association : 社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会) の PJLink 標準定義の Class1 に準拠しています。このプロジェクターは、PJLink Class1 によって定義されたすべてのコマンドをサポートして、PJLink 標準定義 Class1 との適合を検証しています。

プロジェクターの入力名		PJ Link	
		入力名	パラメータ
INPUT 1	RGB (PC Analog)	RGB 1	11
	RGB (Scart)	RGB 2	12
	RGB (PC Digital)	DIGITAL 1	31
	RGB (AV HDCP)	DIGITAL 2	32
	HDMI	DIGITAL 3	33
INPUT 2	Video	VIDEO 1	21
	Y,Pb/Cb,Pr/Cr	VIDEO 2	22
	RGB	RGB 3	13
INPUT 3	Video	VIDEO 3	23
	Y,Pb/Cb,Pr/Cr	VIDEO 4	24
	S-video	VIDEO 5	25
INPUT 4	Network	NETWORK 1	51

PJ Link について

2003年9月、データプロジェクター部会の中に、PJLink 分科会が設立されました。この PJLink 分科会の第1期の活動において、プロジェクターの新たなインターフェース仕様として PJLink が規定されました。

PJLink はプロジェクターを操作・管理するための統一規格です。

メーカーを問わずに、プロジェクターの集中管理やコントローラからの操作を実現します。

今後主流となるネットワーク経由のプロジェクター監視・制御において、早期の体系化を JBMA による推進で実現し、ユーザの利便性をあげ、プロジェクターの普及促進を図ることを目的としています。

Class 1 : プロジェクタの基本機能の制御・監視仕様を標準化

基本的なプロジェクタ制御 : 電源制御、入力切り換えなど

プロジェクタの各種情報・状態を取得 : 電源状態、入力切り換え状態、エラー状態、ランプ使用時間など

JBMA : 社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会。

1960年に発足した日本事務機械工業会が、2002年4月1日より改称した団体です。

PJLink™

PJLink は JBMA の登録商標です。

PJLink サイト URL

<http://pjlink.jbma.or.jp>

シリアルコマンド一覧

RS-232C により、プロジェクターをパソコンから遠隔操作するための制御コマンドです。

接続の手順

- 1 RS-232C シリアルコントロールケーブルで、コンピュータのシリアルポートとプロジェクターの [CONTROL PORT] をつなぎます。
- 2 通信仕様を確認してください

項目	仕様
同期方式	調歩同期
通信速度	9600 / 19200
データ長	8 ビット
パリティチェック	なし
ストップビット	1
フロー制御	なし

※ 通信速度の初期状態は「19200」です。

※ 通信エラーが発生するときはシリアルポートと通信速度を変えてみてください。

- 3 プロジェクターを制御するためのコマンドを入力し、[Enter（エンター）] キーを押してください。

＜例＞入力を「インプット 2」に変えたいとき

“C” → “0” → “6” → [Enter]

※ コマンドを入力する英字はすべて大文字（A～Z）で、小文字は使用できません。

フォーマット

機能実行の場合

- 1 パソコンなどからプロジェクターへ以下のコマンドを送ります。

“C” [コマンド] [CR]

コマンド：2 文字（次ページの一覧を参照してください）

- 2 プロジェクターは受信コマンドを解析し、受信できる状態になると以下の結果を返します。

[ACK] [CR]

※ 受信したデータが解読不能な場合は、“?” [CR] を返します。

状態取得の場合

- 1 パソコンなどからプロジェクターへ以下のコマンドを送ります。

“C” [コマンド] [CR]

コマンド：1 文字（159 ページの一覧を参照してください）

- 2 プロジェクターは受信コマンドを解析し、解析結果を返します。

仕様 (つづき)

コマンド一覧表

以下の一覧表はプロジェクターを制御するためや、状態を取得するための一般的なコマンドリストです。詳細なリストが必要なときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

機能実行コマンド一覧表

コマンド	制御内容	コマンド	制御内容
C00	プロジェクター オン	C3A	ポイント右
C01	プロジェクター オフ (瞬間オフ)	C3B	ポイント左
C02	プロジェクター オフ	C3C	ポイント上
C05	インプットセレクト 1	C3D	ポイント下
C06	インプットセレクト 2	C3F	エンター
C07	インプットセレクト 3	C46	ズーム ダウン
C09	音量 +	C47	ズーム アップ
C0A	音量 -	C4A	フォーカス ダウン
C0B	音量 ミュート オン	C4B	フォーカス アップ
C0C	音量 ミュート オフ	C4F	インプットセレクト 1 HDMI
C0D	ビデオ ミュート オン	C50	インプットセレクト 1 (PC アナログ)
C0E	ビデオ ミュート オフ	C51	インプットセレクト 1 SCART
C0F	スクリーン 標準	C52	インプットセレクト 1 DVI (PC Digital)
C10	スクリーン フル	C53	インプットセレクト 1 DVI (AV HDCP)
C1C	メニューオン	C5D	レンズシフト 上
C1D	メニューオフ	C5E	レンズシフト 下
C20	明るさ アップ	C5F	レンズシフト 左
C21	明るさ ダウン	C60	レンズシフト 右
C23	インプットセレクト 2 ビデオ	C89	自動PC調整
C24	インプットセレクト 2 Y, Pb/Cb,Pr/Cr	C8E	キーストーン 上
C25	インプットセレクト 2 RGB	C8F	キーストーン 下
C28	ダイレクトオン オン	C90	キーストーン 右
C29	ダイレクトオン オフ	C91	キーストーン 左
C33	インプットセレクト 3 ビデオ		
C34	インプットセレクト 3 S-video		
C35	インプットセレクト 3 Y, Pb/Cb,Pr/Cr		

仕様 (つづき)

状態取得コマンド一覧表

コマンド	情報内容	戻り値	プロジェクターの状態
CR0	動作状況	00	パワーオン状態
		80	スタンバイ状態
		40	カウントダウン中
		20	クーリングダウン中
		10	電源異常状態
		28	温度異常でクーリングダウン中
		24	パワーセーブでクーリングダウン中
		04	パワーセーブ状態
		21	ランプ不灯でオフした場合のクーリングダウン中
		81	ランプ不灯でクーリングダウン後のスタンバイ状態
		88	温度異常でクーリングダウン後のスタンバイ状態
		2C	シャッターマネージメントでオフした場合のクーリングダウン中
8C	シャッターマネージメントでクーリングダウン後のスタンバイ状態		
CR6	温度状況	%1 %2 %3	<p>%1 = センサー 1 の温度 (°C) %2 = センサー 2 の温度 (°C) %3 = センサー 3 の温度 (°C) (例) %1 = 12.3 °C , %2 = 23.4 °C , %3 = 34.5°C のとき --> 表示は “□ 12.3 _□ 23.4 _□ 34.5” 各センサーの温度が □ XX.X と表示され各数値間に 1 スペース空いています、温度がプラスの時□はスペースとなり温度がマイナスの時□は (-) となります。</p>
		?	受信不能のとき

保証とアフターサービス

■この商品には保証書がついています

保証書は、お買い上げ販売店でお渡しします。お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめの上、内容をよくお読みになり大切に保管してください。

■保証期間

保証期間はお買い上げ日より、

本体・・・・・・・・・・3年間、またはご使用時間 5,000 時間のどちらか早い方

光源ランプ・・・・ランプ使用時間 1,000 時間

■保証期間中の修理

保証書の記載内容にしたがってお買い上げ販売店が修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

■保証期間の過ぎたあとの修理

お買い上げの販売店にご相談ください。お客様のご要望により有料修理いたします。

■修理を依頼される前に

「故障かなと思ったら」にそって故障かどうかお確かめください。それでもなおらない場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。

■修理を依頼されるときにご連絡いただきたいこと

- お客さまのお名前
- ご住所、お電話番号
- 商品の品番
- 故障の内容（できるだけ詳しく）

■補修用性能部品について

この商品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後 8 年保有しています。

ご転居やご贈答の際、そのほかアフターサービスについてご不明の点がございましたら、お買い上げ販売店または最寄りのお客さまご相談窓口にお問い合わせください。

愛情点検

● 長年ご使用の液晶プロジェクターの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には、安全性を損なって事故につながることもあります。



このような症状はありませんか

- 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- 映像が時々消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。
- 内部に水や異物が入った。
- その他異常や故障がある。



ご使用中止

故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

お客さまメモ

品番	LP-ZM5000
お買い上げ年月日	年 月 日
お買い上げ店名	☎
最寄りのお客さま ご相談窓口	☎

三洋電機株式会社

デジタルシステムカンパニー

プロジェクター事業部

商品統括部 国内販売部

〒574 - 8534 大阪府大東市三洋町1 - 1



この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

1LG6P1P0731-- (KH2C)